

ハンムラビ法典ノ研究

(約四千年前世界最古ノ法典)

教 授

遊 佐 慶 夫

1922

ハンムラビ法典ノ研究

遊 佐 慶 夫

内 容 表

第一章 緒 論

I. 法律ト文明——II. 文明ノ發祥——III. 本稿ノ範圍——IV. バビロン文化ノ要概——V. ハンムラビ法典ノ發見——VI. ハンムラビ王ト其時代——VII. 法典ノ建立——VIII. 石塔面ノ浮彫像——IX. 石塔面ノ法文——X. 法典ノ研究——

第二章 本 論

第一節 總 說

I. 法律史觀——II. ヘブリウ法トノ比較——III. ハンムラビ法典ノ宗教的基礎——IV. 解疑式規定——V. 認容式規定——VI. ハンムラビ以前ノ「バビロン」法——VII. ハンムラビ以後ノ影響——VIII. ハンムラビ法ノ総評

第二節 訴 訟

I. 裁判所——II. 證據裁判——III. 裁判ノ嚴正——IV. 神秘的斷罪——V. 強制執行

第三節 盜罪其他

I. 盜財——II. 準盜財——III. 遺失物回復——IV. 子供盜奪——V. 盜難者ノ保護——VI. 家宅侵入——VII. 火事場ノ盜賊——VIII. 刑ノ執行

第四節 奴隸ノ逃亡

I. 序言——II. 奴隸ノ逃亡助勢——III. 逃亡奴隸ノ逮捕——IV. 奴隸主ノ

調査——V 逮捕奴隸ノ隱匿及逃亡

第五節 官判及封建

I. 序言——II. 代人禁止——III. 私領回復——IV. 私領相續——V. 私領
荒廢ノ責任——VI. 軍人ニ對スル身上ノ保證——VII. 綱紀肅正——
VIII. 王有物處分ノ禁止——IX. 私領處分ノ制限——X. 私領處分ノ許容

第六節 不動產

I. 序言——II. 耕地ノ貸借——III. 不動產金融——IV. 治水ノ責任——
V. 牧畜——VI. 果樹園——VII. 住居ノ貸借

第七節 商取引

I. 序言——II. 給資——III. 清算——IV. 爭議ノ決裁

第八節 居酒屋

I. 序言——II. 支拂——III. 取締

第九節 寄託其他

I. 運送品ノ寄託——II. 穀物貯藏ノ寄託——III. 寄託ノ方式——IV. 寄託
物ノ盜難

第十節 債權ノ實行

I. 私力執行——II. 人的執行——III. 債權者ノ責任——IV. 債務奴ノ解放
——V. 保證制度

第十一節 婚姻

I. 婚姻ノ成立——II. 夫ノ失喪——III. 淫行其他——IV. 離婚——VII. 妻
ノ非行——VI. 繼妻——VII. 夫婦財產關係——VIII. 夫殺シ

第十二節 親族相姦

I. 序言——II. 父ト娘——III. 父ト嫁——IV. 母ト子——V. 繼母子

第十三節 婚姻解消ト婚資及嫁資

I. 序言——II. 婚約違背ト婚資——III. 妻ノ死亡ト其嫁資

第十四節 親子其他

I. 遺産分配——II. 未婚兒ノ保護——III. 繼子——IV. 子ノ勘當——V. 下女ノ子——VI. 妻ト子——VII. 奴隸ノ子——VIII. 身分——IX. 母ノ再婚——

第十五節 娘ノ嫁資

I. 序言——II. 兄弟ノ嫁資管理——III. 嫁資ナキ娘

第十六節 養 子

I. 序言——II. 養子離縁——III. 養子ノ取扱——IV. 養子及乳母ノ刑——

第十七節 傷 害 罪

I. 序言——II. 親ヲ毆打——III. 眼・齒ノ傷害——IV. 他人ヲ毆打——V. 喧嘩毆打——VI. 毆打流産致死——VII. 被害法益ト制裁(現代法ヲ考慮シテ)

第十八節 醫者・獸醫及理髮者

I. 序言——II. 醫者ノ報酬——III. 醫者ノ責任——IV. 獸醫ノ報酬ト責任——V. 理髮者ノ刑

第十九節 家 屋

I. 序言——II. 建築者ノ報酬——III. 崩壊ト刑罪——IV. 崩壊ト賠償

第二十節 船 舶

I. 序言——II. 船舶建造——III. 船夫ノ責任及報酬——IV. 船舶衝突

第二十一節 農業及牧畜

I. 序言——II. 牛ノ差押——III. 牛ノ貸借——IV. 牛ノ危害——V. 農夫ノ責任——VI. 野放盜難——VII. 牛羊ノ飼養

第二十二節 賃 料

I. 序言——II. 農夫及牧人ノ年給——III. 農事日傭——IV. 一般勞銀——V. 職人ノ賃銀——船ノ損料

第二十三節 奴隸ノ賣買其他

I. 奴隸ノ瑕疵——II. 奴隸ノ追奪——III. 奴隸ノ反抗——

第 三 章 法典(邦譯)

第一章 緒 論

I. 法律ト文明

法律ハ根柢アル人類文明ノ餘光デアリ、時代ノ勢力ト文化トノ表徵デアル。換言スレバ法律ハ人類ノ共同生活體ノ組織構成ト其作用ヲ取扱フ一種ノ「エネルギー」ノ表現デアリ、從テ人生ニ取ツテハ極メテ重要ナル文化的成分 (Kulturelement) デアル。故ニ今、或時代ノ法律ヲ考究スルトキハ、之ヲ通ジテ其時代ノ人文發達ノ大勢ヲ知ルコトガ出來ルデアロウ。文明史ヲ研究スル者ハ此重要ナル人類文化ノ成分ヲ遺脱シテハナラス。法律ハ文明ノ狀勢ヲ測量スル尺度デアリ、恰モ寒暖計ヲ通ジテ時ノ寒暖ヲ計ル様ニ法律ヲ通ジテ時代ノ文明概況ヲ測量スルコトモ出來ルデアロウ。

吾々ハ歴史ヲ尋ネ、殊ニ記錄ヲ探リ得ル限リノ過去ニハ、法律ノ存在セザル人類ノ共同生活體(社會)ト云フモノヲ、見出スコトハ出來ヌ。實ニ法律ハ人類社會ノ出現且ツ、其發達ト運命ヲ共ニシテ居ル。恰モ法律ト社會トハ車駕ノ兩輪ノ如キ不可分性ヲ有スル。從テ人類社會殊ニ人文ノ發祥ト法律ノ起源トハ常ニ相提携シテ居ルモノデアル。

II. 文明ノ發祥

凡ソ世界ニ文明ノ端緒ヲ發シタル地方ハ、世界歴史家モ說ク様ニ五ヶ處アル。即チ支那、印度、西「アジア」[メソポタミア]、「エ

ジプト¹、及ビ中央²アメリカ³デアル。中央⁴アメリカ⁵ノ文明ハ後世ニ至リテ始メテ、世ニ知ラレタモノデアツテ、其起源ヲ究メ難ク、文明ノ進展モ中絶シテ、現今ノ世界ニハ著シイ影響ヲモ及ボシテ居ラス。此他ノ四文明ハ何レモ幽遠ニシテ、一方ニ於テハ支那文明ト印度文明トガ融合シテ、東洋文明トナリ、他ノ一方ニ於テハ、西⁶アジア⁷文明ト⁸エジプト⁹文明ト混和シテ、西洋文明トナツテ、共ニ後世ニ傳ハソタ。今ヨリ數百年前マデノ東西兩文明ハ、殊ニ其思想文明ノ方面ニ於テハ、殆ント其優劣ヲ斷ジ難キ程ノ勢ヲ呈シテ居ツタ。然ルニ近世ニ於ケル西洋文明ノ發達ハ、全世界ノ大勢ヲ支配スルニ至リ、西洋文明ハ實ニ全世界ノ文明ヲ代表スルガ如キ結果ヲ呈スルニ至ツタ。

III. 本稿ノ範圍

茲ニハ此世界の大文明ノ源泉地タル¹⁰メソポタミア¹¹ノ法律、就中、本稿ノ主題トシテ、表示セルガ如ク、「バビロン」王¹²ハンムラビ¹³ノ立法ヲ考究シ、世界的法律文明研究ノ第一步トスルコトガ、其主要ナル目的デアリ、其他ノ法律文明ニ付テハ後日ヲ期スル。

IV. バビロン文化ノ要概

上古¹⁴バビロン¹⁵ノ歴史ハ頗ル明確ヲ缺クモノガ多イガ、其古風ノ文明ニ至リテハ、¹⁶エジプト¹⁷文明ナドニモ類似シ、天文、數學、土木、建築等ノ有形文明モ發達シ、更ニ他方ニ於テハ精神的ノ無形文明モ發達シテ居ツタ。當時楔形文字 (Cuneiform, Keilschrift) ナルモノガ行ハレ、之ヲ粘土板ニ焼付ケ、又ハ石ニ彫刻シ、其後

世ニ傳ハリ、現ニ博物館等ニ保存セラレテアルモノモ少クハナイ。而シテ其寫本ニモ上リ、解説モ加ヘラレテ、居ナガラニシテ研究資料ニ接シ得ルモノモ可ナリニ多イ。其〔バビロン〕文書、殊ニ其法律的文書ニシテ、西歐學者ノ譯解論議ヲ加ヘラレタモノハ、多量アレド、私ガ特ニ此研究ノ爲メニ、利用シタモノハ次ノ如キモノデアル。(其數ハ通ジテ三百種程ノ文書ニナル)。

Arthur Ungnad, Babylonische Briefe aus der Zeit der Hammurapi-Dynastie, Leipzig, 1914; Derselbe, Briefe König Hammurapis, Berlin, 1919, Kohler, Babylonische Briefe (Zeitschrift für vergleichende Rechtswissenschaft, XXXII. Bd. S. 502 ff.) und Spätbabylonische Urkunden (Z. f. vgl. Rw. XXXV Bd. S. 446 ff.)。

抑モ〔ユーフレト〕及ビ〔チグリス〕兩河ノ下流地ニハ如何ナル民族ガ、最先ニ殖民シテタモノカ、詳カデナイ。其北部地方(北緯三三度三〇分乃至三二度三〇分)ニ至テハ、考古學(Archäologie)上ノ研究ニ於テモ、殆ント、組織的ノ説明ハ與ヘラレテ居ヌ。故ニ吾々ノ〔バビロン〕史ナルモノハ其南部カラ始マツテ居ル。此地方ニハ既ニ紀元前四五千年頃ニ、一民族ノ殖民セル事實ヲ確ムルコトガ出來ル。サレド其民族ハ、人種的ニモ、言語的ニモ、當時又ハ其後ノ他ノ人種ト如何ナル交渉ト因果關係ガアツタモノカモ詳カデナイ。唯ダ此民族ノ住ンデ居ツタ、地景ハ Sumer (Schumer od Schmir,—Sinear) ト名ヅケラレテ居ツタカラ、吾々

ハ彼等ヲ、〔スメリア〕人 (Sumerer) ト名ヅケ、彼等ノ言語ヲ〔スメリ
ア〕語 (Sumerische Sprache) ト名ヅケテ居ル。然ルニ一部ノ學者
(Rawlinson, Hincks) ハ之ヲ Akkad トモ名ヅケテ居ル。此名ハ
舊約全書創世紀(十章) ニモ出テ居ル。其語源ハ高地人 (Highlan-
der) ト云フ意味ニ、基クモノデアツテ、多分〔カスピア〕海ノ南西
ニアル山國カラ來タ民族、ト云フコトニナルモノデアロウトモ
云ハレル (Sayce, — Evolution of Law Series I. p. 385)。尤モ〔ス
メリア〕語ト〔アツカド〕語トニハ、可ナリ方言的ナ差ハ多カツタ
(Brockhaus, Konversationslexikon, Art, „Sumerisch“) 。何レモ
其書方トシテハ楔形文字ヲ用キテ居ツタガ、發音ニ於テハ、〔ヘブ
リウ〕語ト〔アツカド〕語トハ、類似セル語ガ可ナリニアル。サレ
ド〔スメリア〕語ト〔アツカド〕語トニハ、殆ンド其類似ノ跡が見出
サレヌ。此發音ノ對照ハ Ungnad, Briefe König Hammurapis
(S. 6) ニ據ツタ。

何レ楔形文字ナルモノガ、〔バビロン〕地方ニ行ハレタノハ、〔ス
メリア〕人ガ蓋シ其發明ニ係ルモノト思ハレルモノヲ、其本國カ
ラ齎ラシテカラデアロウ (紀元前五千年頃?)。由來古代ノ文字
ハ、殆ント圖畫的文字 (Bilderschrift, picture-writing) ヲ以テ始マ
ツテ居ル。〔スメリア〕人ノ楔形文字モ亦タ、其筆跡ノ複雑ナ所カ
ラ見レバ、圖畫的文字デアツテ、各文字ニ名ヲ附ケテ之ヲ綴合セ
テ、書クコトハ、漸時後世ニ發達シタモノデアロウ。〔ハンムラ
ビ〕法典ニ現ハレタ楔形文字ハ、〔スメリア〕時代ノ其レニ比ブレ

バ、幾變化發達ヲ經タモノデアロウ。其讀方ハ左カラ右ニ横讀ニナツテ、發音式ノ文字ヲ以テ組立テラレテ居ル。其語ハ之ヲ今日吾々が「セム」語 (Semitischer od. akkadischer Sprache) ト稱ヘテ居ルモノデアル。

稍 明カニ歴史ニ表ハレタ、「メソポタミア」ノ政治ハ、紀元前凡ソ四千年ニ遡リ、「スメリア」人ノ「ラガシ」(Lagash) 帝國ニ始マル。次イテ紀元前三千年頃ノ「セム、バビロン」統治 (Semitisch-babylonische Herrschaft) ガ行ハレ、紀元前二千五百年頃カラ有名ナル「バビロン」王ガ相次イデ著ハレタ。ハンムラビ王ハ其六代王デアル。當時「バビロン」ハ軍備強大ニシテ、四周ノ民族ヲ征服シテ、掠奪ニ因テ著大ナル富ヲモ積ンダ。夙ニ交通モ開ケテ四圍ノ民ハ、此地ニ移住シ、河川ノ天恵ヲ得テ、農業ト商業モ發達シ、既ニ貨幣ト有價證券ノ取引モ行ハレ、銀行制度ノ端緒ヲモ開イテ居ツタ (Kohler, Allgemeine Rechtsgeschichte, S. 57)。

「バビロン」ニ於テ民衆ノ生活ヲ指導シ、社會ノ秩序ヲ整ヒ、政治團體ヲ組織スル精神上ノ基礎ハ、多クノ古代民族ノ例ニモ見ルガ如ク、全ク宗教的思想ノ外ニハ出デナカッタ。即チ社會制度ト國家の組織ノ精神上ノ原動力ハ、始尾一貫シテ、崇神ノ念慮ノ外ニハ出デナカッタ。此コトハ「ハンムラビ」法典ヲ通ジ、就中其序文ト結文トニ最モ正確ニ現ハレテ居ル(後段參照)。從テ國王ハ神ノ意思ヲ享ケテ民衆ヲ統治スルモノト信ゼラレ、獨裁專制ノ權能ヲ揮ツタ(後段詳述)。

V. ハンムラビ法典ノ發見

バビロン時代ニ至リテ一大立法ノ行ハレタコトハ、既ニ周知ノ事實デアル。殊ニ後段ニ述ブル其的確ナル證據物が、先年發見セラレル以前カラモ、一部ノ學者ハ之ヲ豫知シテ居ツタ。果セル哉「バビロン」ニ於ケル一大法典ノ記錄サレタ、最モ正確ナル紀念物が近年ニ發見サレタノデアル。即チ一九〇一年十二月カラ其翌月ニ互リテ、「ペルシア」ノ舊市「スサ」(Susa)ノ廢址ニ於テ、フランス政府カラ派遣サレタ、「モルガン」氏(M. de Morgan)ノ支配下ニアル探險隊ニ因テ、他ノ紀念物ト共ニ、其發見ガ遂ゲラレタ。是レ今日ノ所謂「ハンムラビ」法典ノ最モ有力ナル紀念物デアル。其紀念物ハ高サ二メートル四分ノ一、周圍二メートル大ノ塔形ノ暗緑石デアツテ、其發掘ニ際シテ三片ニ破壊サレタガ、容易ニ接合サレ、其彫刻ハ永遠ニ保存サレルコトガ出來タ。

此發見ニ先チ「マイスネル」(Meissner)、「バイゼル」(Peiser)及ビ「デリツチ」(Delitzsch)等ノ學者ハ近年「バビロン」「アッシリア」等ノ遺址カラ發見サレタ、粘土板ノ古記錄ヲ證據トシテ、此法典ノ存在ヲ豫想シテ居ツタ。然カモ「デリツチ」氏ノ如キハ、其論文ニ於テ、此法典ハ「ハンムラビ」王ノ編纂ニ係ルモノデアロウト云フ見地カラ、「ジュスチニアン」法典ヤ「ナポレオン」法典ナドノ例ニ倣ツテ、「ハンムラビ」法典ト云フ名前マデモ附ケテ、此法典ノ發見ヲ豫期シテ居ツタ(Beiträge zur Assyriologie IV. S. 78-87)。其豫想ノ的確ナリシコトハ誠ニ敬服ニ値ス可キモノデアロウ。

穂積陳重博士ハ其著法窓夜話ニ於テ之ヲ激賞シテ、^{〔ハンムラビ〕}法典ノ發見ノ法學ニ於ケルハ、海王星ノ發見ノ星學ニ於ケルト、其重要ナル點ニ於テ、毫モ異ナル所ガナイト言ハレテ居ル。

VI. ハンムラビ王ト其時代

ハンムラビ (Hammurabi, Khammurabi, Hammurapi, Ammurapi, Hammourabi, etc.) ハ上古^{〔バビロン〕}ノ第六代王デアツテ、一般ニハ舊約全書 (Genesis 14:1) ニアル^{〔シナル〕} (Shinar) ノ王^{〔アマムラベル〕} (Amraphel) ト同人デアルトモ言ハレル (See Dumme-low, Commentary on the Holy Bible, “General Introduction to the Bible” XVII)。王ハ武勇ニ富ミ、敬神ノ念深ク、四周ノ敵ヲ南北ニ擊退シテ、其民ノ平和ト安全ヲ計リ、一方、都市及ビ運河ヲ築キ、寺院ヲ建設復興シ、供物寄附ヲ行ヒ、祭祀ヲ重ンジ、民心ノ統制ニ努メタ。

彼レノ在世ト治世ノ年代ニ付テハ、歴史家ノ所說一定シナイガ、大約紀元前二千二百五十年頃ノ人ニシテ、約五十五年間治世ノ地位ニアツタモノト解スルノガ、最モ多數ノ學者ノ說ク所デアル。其他ノ諸說ニ依レバ、在世ノ年代ニ於テ數十年乃至二三百年、治世ノ年代ニ於テ約十年ノ相違ガアル。彼レノ法典ガ成立シタ年代ニ付テモ甚ダ明カデナイガ、王ノ事業ガ大略完成シタル晩年ニ成立シタモノデアルコトハ、其作ノ前文ト結文ニ互リ、言葉ヲ盡シテ彼レノ事業就中其勢力地區ヲ示シ、後世ノ民人ト其施政者ニ對スル遺訓ノ意味ヲ力說シテ居ル所カラ見ルモ、

殆ント疑ヲ容レル餘地ハナイ。

VII. 法典ノ建立

此法典ノ記録石塔ハ諸所ニ建立サレタモノデアロウト云フ推測ハ信ズ可キモノデアロウ。蓋シ先年發見サレタ石塔ノ外ニ、他ノ破片モ同ジク〔スサ〕ニ於テ發見サレタコトガアルカラデアル(Harper, Code of Hammurabi, Introduction; Johns, Babylonian and Assyrian Laws, p. 5, etc.)。加之此法典後文ノ記載スル所ニ依レバ、〔訴ヲ起サントスル虐ゲラレタ者ハ正義ノ王タル朕ノ肖像ノ前ニ來リ、朕ノ紀念塔ノ詞文ヲ讀ム可シ。然ルトキハ彼ハ事態ヲ明ラカニシ、事件ノ解決ヲ得可シ〕云々トイフ意味ノコトガアルカラ(後段參照)、同法典ノ碑文ハ〔ハンムラビ〕王ノ勢力地域ニハ廣ク配布サレ、諸所ニ同種ノ石塔ガ建立サレタモノカモ知レス。然ラバ〔スサ〕ニ於テ發見サレタ石塔ハ、此法典ノ原本ナルカ、復本ナルカ其邊ノコトハ不判明ノ點ガ多イガ〔シツバラ〕(Sippara)ニ於ケル日ノ神(Schamash, Samas)ヲ祭ツタ〔エバツバラ〕(Ebabbara)ノ神殿ニアツタモノデ、之ヲ〔エラム〕ノ王ガ戰利品トシテ奪取シ去ツタモノデアロウト云フノガ通說デアル(後段詳説)。

又タ此種ノ石塔ハ〔バビロン〕市ノ〔エサギラ〕(Esagila)ニ於ケル人間ノ祈ヲ天ニ傳達スルト云フ〔マルズツク〕(Marduk)神ヲ祭ツタ〔エサギラ〕神殿ニモ建立サレタ筈デアルガ、其行衛ハ後人ニハ不明デアル。

VIII. 石塔面ノ浮彫像

此石塔ノ表面頂上ニハ神祕的ノ意匠ニ成ルモノト思ハレル、
 圖畫ガ浮彫ニナツテ居ル。此圖面ノ解釋ニ付テハ色々ノ説明モ
 アル様ダガ、左側ニ直立セルハ「ハンムラビ」王ニシテ、右側ニ座席
 ニ着イテ居ルノハ日ノ神(Shamash, Samas)ヲ意味スルモノカ、
 或ハ「マルズック」(Marduk)神ヲ意味スルモノカデアロウ。法典
 ノ前文ト結文ノ趣旨カラ見レバ、兩說ノ起ルコトハ止ムヲ得ナ
 イ(後段參照)。サレド通説ハ日ノ神ヲ意味スルモノトナシ、王
 ガ日ノ神カラ、法典ヲ拜受スル圖デアルト解シテ居ル(Scheil,
 Ungnad, Harper, Kohler, etc.)。其光景ハ恰モ舊約全書ニアル、
 「モーゼ」(Moses)ガ「エホバ」神(Jahve, Jahwe)カラ、「シナイ」(Sinai)
 山ニ於テ二枚ノ石板ニ記サレタ、所謂十戒(Ten Commandments,
 Words of Moses)ナルモノヲ授ケラレタト言フ、物語ニ類似シテ
 居ル(Exodus 20, Deuteronomium 5.—Ungnad, Briefe Hammu-
 rabis, S. 37; Harper, Code of Hammurabi, Introduction.)。

IX. 石塔面ノ法文

尙ホ此石塔ニハ其圖面ノ下ニ十六欄ト、裏面ニ二十八欄、全體
 ニテ三千六百行ニ互リ、二百八十二個條ニ當ル法文ガ、例ノ楔形
 文字ヲ以テ彫刻サレテアル。尤モ其内、初メノ四欄半丈ケハ法
 典ノ前文(序言)トモ、見ル可キモノデアリ、最後ノ五欄餘ノ部分
 ハ、法典ノ結文(附則)トモ見ル可キモノニ當ル。而シテ法典中
 ノ六六條乃至九九條ニ當ル、五欄丈ケハ後人ニ依テ削除サレタ

モノラシク、缺文ニナツテ居ル。此缺文ノ分ハ其石塔ガ他ノ紀念物ト共ニ (Morris Jastrow, *Bildermappe zur Religion Babylo-niens und Assyriens*, Nrr. 5. 27-29. 36. 37. 47.) 「バビロン」ヲ征服シタ「エラム」(Elam, Susiana.) ノ王ナル、「スートルーク・ナフンテ」(Šutruk-Nahunte, about 1100 B.C.) ノ手ニ渡リ、當時「エラム」ノ首都デアツタ、「スサ」ニ移送サレタ際ニ、削除サレタモノデアロウト云フ説明ハ廣ク行ハレテ居ル (Scheil, Winckler, Ungnad, Johns, Harper 其他ノ諸氏同説)。

古代西「アジア」地方ニ於テハ記録カラ、國王ノ名前ヤ詞文ナドヲ、抹殺スルコトヲ好ム風習ガアツタ。現ニ「スサ」ニ於ケル「フランス」探檢隊ノ發見シタル他ノ紀念物ニハ、「バビロン」王ノ詞文ヲ抹殺シテ、「エラム」ノモノヲ挿入シタモノモアツタ (Johns, p 5)。故ニ或ハ前掲ノ缺文ニナツテ居ル所ノ、餘空部分ニハ、エラム王ノ名前カ詞文デモ挿入スル筈デアツタカモ知レヌ。斯様ナ推測ハ通説デアツテモ、異説デアツテモ、私ハ信ズルコトモ出來ヌシ、否定スル氣カモ無イ。

此缺文ハ前掲「フランス」探檢隊ニ從ツタ「シエイル」氏ヤ、前ニモ掲ゲタ「マイスネル」氏ナドガ、今ハ「ブリーテツシ・ミューゼアム」(在ロンドン) 等ニアル、「アツスールバニバル」王 (Assurbani-pal, 668-626 B.C.) ノ文庫ノモノトシテ、近年ニ發見サレタ後世「アツシリア」ノ、粘土板ノ古記録ニ徴シテ、前記ノ缺文中ノ三個條丈ケヲ補足シ、學界一般ノ承認ヲ得テ居ル。然シ尙ホ殘ル所

ノ三十一ヶ條ノ法文ハ未ダニ不明デアル。

X. 法典ノ研究

此世界的至寶タル「ハンムラビ」法典ノ石塔ハ、今ハ「ルーブル」博物館(在パリ)ニ保存サレテアル。「ブリーテツシ・ミューゼアム」ニハ其複寫物が保存サレテアル。「フランス」政府ハ此法典ヲ廣ク學界ニ配布センガ爲メニ、發見ノ年、其寫眞版ヲ作りテ、「シエイル」氏ヲシテ原文ヲ、「フランス」語ニ譯サシメテ出版シテ居ル (cf. Mémoires de la Délégation en Perse, Paris, 1902)。其後間モナク、同年秋ニ至リテ、「ヰキンクレル」(Winckler)氏ハ此法典ノ「ドイツ」譯ヲ出版シタ (H. Winckler, Die Gesetze Hammurabis Königs von Babylon um 2250 v. chr., Das älteste Gesetzbuch der Welt—Der alte Orient, IV. 4)。其後引續イテ、

Ungnad, Zur Syntax der Gesetze Hammurabis (Zeitschrift für Assyriologie, Nov. 1903. Bd. XVII 4); Müller, Die Gesetze Hammurabis, 1903 (Dez.); Kohler und Peiser, Hammurabis Gesetz 1904 (Jan.); Harper, The Code of Hammurabi, 1904; Johns, Babylonian and Assyrian Laws, Contracts and Letters, 1904; Davies, The Code of Hammurabi and Moses (with Copious Comments, index and Bible reference); Kohler und Ungnad, Hammurabis Gesetz, (1909-11) 等ノ譯書モ著ハレ、同時ニ其内容ノ研究モ進メラレテ來タ。此他「ハンムラビ」法典ヲ中心トスル「バビロン」、「アツシリア」ノ法律ノ研究ハ、歐米ニ於ケ

ル諸學者ノ注意ヲ惹起シテ、其著書論文等ハ、枚舉ニ遑アラザル程現ハレタ。蓋シ此研究ハ獨リ、法律學ノ爲メノミナラズ、實ニ史學、宗教學、言語學、人類學、社會學、政治學等ニモ著大ナル交渉ヲ有スルカラデアル。殊ニ法律學ノ方面ニ於テハ此新材料ヲ比較法學ノ爲メニ、利用スルコトニ付テハ、最モ多クノ注意ヲ集ムルモノデアロウ。就中歐米ニ於テハ、此法典ノ發見サレタ近年ハ、此研究ガ最モ盛ンデアツタ。今日ニ於テハ歐米人ノ研究ハ寧ロ冷却シカケテ居ル位ノモノデアアル。サレド、吾國ニハ至ツテ此研究ガ現ハレテ居ラス。既ニ發見後二十年モ經過シテ、珍ラシクモナイカモ知レス、此法典ノ一研究ヲ敢テ公ニスルニ至ツタ、私ノ動機ハ即チ此點ニモアツタ。

按ズルニ今日マデニ正確ニ發見サレタ、世界ノ立法中何レモ其年代等ニ付テハ論議アルモ、〔ローマ〕最古ノ法典ト云ハレル十二表法ヤ、〔ギリシア〕ノ〔ゴルチーン〕法(Gortyn)ナドハ、紀元前四百五十年頃ノモノデアロウシ、又タ〔ギリシア〕ノ七賢人ノ一人ナル、〔ソロン〕(Solon)ヤ〔アテネ〕ノ執政官ニシテ、有名ナル苛酷ノ立法家デアツタ、〔ドラコ〕(Draco)及ビ〔スバルタ〕ノ〔リクルグス〕(Lycurgus)ノ立法ナドハ、何レモ紀元前八九世紀ノモノデアロウ。又タ舊約全書ニ於テ有名ナル、〔モーゼ〕ノ十戒ノ如キモ紀元前十世紀内外ノモノデアツテ、其他ノ〔ヘブリウ〕立法ニ至リテハ、紀元前七世紀ヲ超ユルモノデアアルマイ。更ニ印度〔マヌー〕(Manu, Manou)ノ立法、支那古典等ニ至リテモ、何レモ紀元前十

世紀位ノモノデア(Wigmore, Evolution of Law Series I. p. 388; R. Daresté, Le Code Babylonien D'hammourabi—Nouvelle Revue Historique de Droit Française et Étranger XXVII^e p. 33)。

然ルニ〔ハンムラビ〕王ノ法典ニ至リテハ、紀元前二十餘世紀ニモ及ブモノデアリ、即チ今ヲ去ル四千年以上ノ古典デアルカラ、〔ウキグモア〕ノ言ヲ以テスレバ、比較法律史(Comparative Legal History)ノ學問ニ於テハ、〔バビロン〕人ハ〔エジプト〕人ト共ニ、キリスト紀元前ノ二大民族ト稱スルコトヲ得可ク(Wigmore, p. 388)、殊ニ〔エジプト〕ニ於テ〔ハンムラビ〕法典ニ對比ス可キモノノ發見ニ至ラザル間ハ、〔バビロン〕法・就中〔ハンムラビ〕法典ハ世界法律史ノ初頭ヲ飾ルモノトシテ、〔バビロン〕人ハ正ニ、文明史上ノ榮譽ヲ擔フ可キモノデアロウ。

第二章 本 論

第一節 總 說

I 法律史觀

惟フニ法律史ノ目的ハ一時代、一民族、一地方ノ單獨現象トシテノ法律ヲ研究スルコトデハナク、少クモ數多ノ時代ニ互リ、又タ進ンデハ數多ノ民族ニモ、數多ノ地方ニモ及ンデ、法律進化ノ大勢ヲ考究スルコトニ存シナケレバナルマイ。過去ニ於ケル一時代、一民族、一地方ノ單獨現象トシテノ法律ヲ研究スルコトハ、寧ロ法律史實トモ稱ス可キ學問ノ領域ニ入ルコトニナル。故ニ法律史ハ動的ノ法律學トスレバ、法律史實ハ靜的ノ法律學トモ見ルコトガ出來ル。又タ前者ト後者トノ間ニハ、學問的作用ノ上ニ於テ、主從ノ關係ヲ生ジ易イ。即チ法律史實ハ法律史ノ補助學科タル作用ヲ呈スルコトガ多イ。斯クテ法律學カラ、現代法學ト未來法學トヲ取除イタ殘リ、即チ過去法學ニハ上述ノ意味ニ於ケル、法律史ト法律史實トノ二大別ヲ認ムルコトガ出來ル(其細別ハ暫ク措ク)。

私ハ茲ニ〔ハンムラビ〕法典ヲ、法律史實的ニ攻究スルト云フヨリハ、寧ロ法律史的ニ考究シタイト思ツテ居ル。從テ時ノ關係ニ於テ、場所ノ關係ニ於テ、殊ニ民族的ノ關係ニ於テ、此法典ノ特質ヲ考慮シヨウト思フ。故ニ研究ノ方法ハ、勢ヒ比較法學的

ニナリ、人生觀ト世界觀ニ及ブ様ニナル。サレド今、斯クノ如キ見地カラノ、〔ハンムラビ〕法典ノ、法律史觀ヲ試ムルニ當テモ、無限ニ數多ノ時代ト民族ト地方トニ互リテ、一々考證ヲ重ネ、比較研究シヨウト言フノデハナイ。又タ斯様ナコトハ限リアル能力者ニハ不能デモアロウ。勢ヒ其範圍ハ近接ナル部面ニ限ルコトニシヨウ。

II. ヘブリウ法トノ比較

バビロン人モ、〔ヘブリウ〕人モ共ニ〔セミチツク〕族ノ一團ニ屬スルノデアアルカラ、人種的法律學 (Ethnologische Rechtswissenschaft) ノ立場カラ見テモ、兩族ノ法律ヲ比較研究スルコトハ、限リナキ興味ヲ覺ユルモノデアアル。法律ハ一面カラ見レバ、且ツ或程度迄ハ民族ノ特有ナル生活ト、特異ナル心意ノ表現デアアル。從テ各民族ハ、各特有ナル社會制度ト、國家組織トヲ持テ居ル。苟モ種類トカ、種屬トカラ構成スル限リハ、下級又ハ異様ナル生物ニモ、特異ナ共同生活ガ認メラレル。既ニ種類相類シ、地方近接セル兩民族ノ間ニ、類似セル社會ト法律ヲ見ルコトモ、道理アルコトデアロウ。

ヘブリウ法ハ今日ニ於テハ、殆ント其全部ガ、舊約全書ニ依テ傳ヘラレテ居ル。就中初メノ五卷 (Pentateuch) ガ最モ多クノ資料ヲ供給シテ居ル。此等ノ資料ハ幾度カ時代ヲ異ニシ、且ツ作者ヲ異ニシテ斷片的ニ、成立シタモノデアアルニハ相違ナイガ、多クハ〔モーゼ〕 (Moses) 一派ノ者ノ製作ニ係リ、且ツ後人ノ修補ヲ

經テ傳ハツテ居ルモノト思フ。從テ「ハンムラビ」法ト云フガ如ク、「モーゼ」法ト云フ名前ヲサヘモ唱ヘラレルノデアアル。其成立ノ年代等ニ付テモ、固ヨリ幾多ノ論議ガアルガ、「ハンムラビ」時代ナドヨリハ、遙カニ後世ノモノデアアルコトハ前ニモ述ベタ通りデアアル。

然ルニ此兩法ノ間ニハ、後段ニ分說セルガ如ク、類似ノ點ガ甚ダ多イコトハ、何人モ注意スル所デアロウ。其類似ノ理由ヲ説明スルニ付テハ、種々ナル見解ガ立テラレル。或ハ「バビロン」ノ文化モ、「ヘブリウ」ノ文化モ共ニ頗ル幽遠デアツテ、兩法律ノ淵源ハ結局「アラビア」古法ニ基ク爲メニ、斯克モ類似シテ居ルモノダト云フ共同法源說モアル。又タ或ハ「ヘブリウ」族ハ、「バビロン」族ノ法律ヲ繼受シタガ爲メデアルトモ云フ。即チ繼受說デアアル。更ニ或ハ斯克ノ如キ程度ノ類似ハ、偶然ノ一致デアツテ、獨リ此兩法ノ間ニノミ認メラレルモノデハナク、此他ノ古代法ノ比較研究ノ際ニモ、極メテ屢現ハレル結果デアルト云フ偶然一致說モアル。蓋シ法律ハ文化ノ發達ニ伴フモノデアツテ、文化ノ程度ガ同一階段ニアル民族又ハ地方ニハ、略同一ノ原則ガ行ハレ易イモノデアアルカラデアアル。

按ズルニ此問題ハ單ニ議論ヲ以テ、解決シ得可キ性質ノモノデハナイ。史上ノ事實ヲ精査シ、考古學ノ研究ヲ併セテ、法律發展ノ推論ニ待タナケレバナラス。今、此ヲ究ムルコトハ、本問題カラ見レバ、寧ロ傍道ニ入ルコトニモナル。別ニ企畫中ノ「ヘブ

リウ¹法ノ研究又ハ其次ノ研究ノ際迄、此問題ヲ留保シテ置カウ。

III. ハンムラビ法典ノ宗教的基礎

此法典ニ付テ第一ニ氣ノ付クコトハ、此法典ハ宗教的信念ヲ背景トシテ居ルコトデアル。即チ吾々ハ此法典ハ其記錄タル石塔ノ冒頭ニアル、浮彫ニモ表ハルルガ如ク、¹ハンムラビ¹王ガ、日ノ神¹シヤマツシ¹カラ、受領シタモノトシテ、法律ノ威力ト信用ヲ保ツコトヲ得タモノデアルコトヲ先ヅ注意スル。古代ノ法律ハ多ク、民衆ノ宗教心ヲ基礎トシテ行ハレタコトハ、獨リ¹ハンムラビ¹法典ニ於テノミ、見得ルコトデハナイ。前述ノ如ク、¹モーゼ¹ノ法律モ舊約全書ニアル様ニ¹シナイ¹山ニ於テ、彼ガ神¹エホバ¹カラ授與サレタモノト傳ヘラレテ居ル。又タ印度婆羅門教ノ經典兼法典トモ見ラレル¹マヌー¹(Manou)ノ法典ニ於テモ、此種ノ傳説ヲ生ジ、支那ニ於テモ神人法ヲ黃帝ニ授ケタト云フ傳説ガアル。其他¹エジプト¹、¹アラビア¹、¹ペルシア¹、¹ギリシア¹、¹ローマ¹等ニモ、屢此種ノ傳説ガ行ハレテ居ル。

又タ¹ハンムラビ¹法典ノ後文ニモ、所々ニ表ハレテ居ル様ニ、當時ノ裁判ハ王ガ神意ヲ承ケテ、是非曲直ヲ決裁スルモノト唱ヘラレテ居ソタコトハ、他ノ多クノ古代ノ裁判ノ例ニモ見ル¹ナモノデアル。更ニ裁判ノ内容ニ至ツテモ、罪ノ有無ヲ決スルニ付テ、被告人ヲ聖河ニ飛込マシメテ、其溺ル、ヤ否ヤニ依テ、裁判ヲ決シ (§ 2 132)、或ハ當事者間ノ爭議ヲ決スル爲メニ、神前ノ宣言誓約ヲ立テシメルコトナドハ (§§ 249 126 127)、何レモ古代

ノ裁判ニ見ル例デアル。

斯クノ如ク、法律ト裁判ノ、成立及效力ノ本源ヲ、神ノ力ニ歸スルコトハ、社會組織ト社會人心ノ發達ノ幼稚ナル時代ニ於テハ、爲政家ノ執ル可キ、手段又ハ口實デアツタカモ知レヌ。或ハ爲政家自身モ斯クノ如キ信念ヲ有シテ居ツタモノカモ知レヌ。獨リ古代ニ於テノミナラズ、中世記ニ至リテモ歐洲諸國ニ於テハ、^{〔キリスト〕}教ガ法律ニ影響シ、法律ノ研究ハ多ク宗教家ノ手ニ移リ、法律、國家、及ビ統治權等ノ觀念ハ悉ク神力ヲ基礎トシテ説明セラレタ。又タ現代ニ於テモ其思想ハ、決シテ消エテハ居ラヌ。君主ヲ神祕的ノモノトシ、裁判ノ形式ヲ壯嚴ニシ、祭事ヲ盛ンニシ、法律ヤ條約、布告等ノ前詞ニハ 神力ヲ利用スル言辭ヲ列ネルガ如キコト、——例ヘバ[〔]皇祖、皇宗ノ神靈ニ誥ケ白サク皇朕^レ天壤無窮ノ宏謨ニ循ヒ惟神ノ寶祚ヲ承繼シ[〕]云々トイフガ如キ詞ヲ置クノハ、獨リ吾國ニ於テノミデハナク、現代ノ所謂文化諸國ナルモノニモ屢見ル例デアル。少數ノ智人ガ衆愚ヲ指導スル手段ト口實ニハ、洋ノ東西、時ノ古今ニ共通ノモノガアツタモノダ。

學說トシテモ神ノ力ニ、其根據ヲ求メテ法律ノ觀念ヲ説明シタコトハ決シテ少クハナイ。[〔]アウグスティヌス[〕](Augustinus, 354-430) ハ所謂神政論(Theocracy)ヲ主唱シテ、元來人類ハ神定法(Lex divina)ニ依テ支配サル可キモノデアツテ、人定法(Lex humana)ニ依テ支配サレルノハ、畢竟神國完成ニ至ルマデノ假現

手段デアル、從テ神國完成ノ上ハ、人定法ハ消滅ス可キモノデア
ルト論ジタ。此說ハ古代ノ「ギリシア」及ビ「ローマ」ノ法律學者
ノ一派ヲ代表スル 論デアツタ。更ニ近世ニ至テモ、「スタール」
(Stahl, 1802-1861) ノ如キハ人定法ハ間接ニ神意ノ表現シタモ
ノニ外ナラスト斷ジタ。

古來宗教ト法律トハ、種々ナル機會ニ於テ、或ハ合一シ、或ハ
共同ノ根柢ヨリ出發シテ、相互作用ノ間ニ發達進化シ來ツタ史
例ハ、上ニ掲グル例證ノ外ニモ頗ル多イ。「ハンムラビ」法典ニ至
テモ其法律トシテノ、威力ト信用トガ神意ト神力ヲ、背景トシテ
認メラレ、之ニ因テ「バビロン」ノ社會モ治マリ、其王權モ認メラ
レ、又タ其國家モ纏マルコトヲ得タルモノデアアルコトハ、他ノ多
クノ史例ト類ヲ異ニスルモノデアアルマイ。唯ダ人心開明ニ向
ヒ、理智發達シ、傳統傳說ニ對シ、疑問ヲ懷キ、科學的ニ、合理的
ニ説明ヲ加フルコトナシニハ、如何ナル威力ニモ、如何ナル法則
ニモ服スルコトガ出來ヌ様ニナレバ、自然ニ法律ト宗教トノ間
ノ分界ガ明カナリ、斯クテ近世ノ法律ニ於テハ宗教的色彩ガ
薄クナツテ來タマデノコトデアアル。即チ原始法ハ信念ヲ基礎ト
シテ起リ、近世法ハ理智ヲ基礎トスル。換言スレバ、法律ノ思想
的基礎ハ信念カラ理念ニ向テ進化スル。然ルニ「ハンムラビ」法
ニ於テハ古イ丈ケニ、前述ノ如ク其信念的基礎ガ、濃厚デアツタ
コトヲ看取サレルデアアル。

IV. 解疑式規定

一般ノ觀察ニ從ヘバ、^{〔ハンムラビ〕}王ハ其法典ニ於テ、新ラタナル法則ヲ創定シタモノデハナイラシイ。寧ロ王ハ過去ノ裁判例ノ如キモノヲ編纂シタモノデアロウ。サレバ、^{〔ジョンズ〕}氏 (Johns) ハ^{〔ハンムラビ〕}法典ナドハ、Code ト云ツテモ、慣習法ヤ先例ノ集成デアルカラ、「フランス」民法典ヤ^{〔ドイツ〕}民法典ナドノ Code ト云フノトハ、其固有ノ意味ガ全ク違フノダト言ツテ居ルガ、私モ其通リダト思フ (Johns, Laws of Babylonia and Laws of Hebrew peoples, p. 14)。此法典ガ先例等ヲ編纂シタモノデアルコトハ、此法典ノ書キ方カラ見テモ明カデアル。即チ此法典ニハ想像ニ基ク様ナ規定ハナイ、——實際ノ生活ニ現ハレ、其決裁ヲ經タ過去ノ經驗ニ基ク法則デアルコトガ推量サレル。故ニ規定ノ文言ノ如キハ、多ク抽象的ノ觀念ヲ掲ゲズ、具體的ノ場合ヲ指定シテ、質疑ヲ解決スルガ如キ組立テニナツテ居ル。斯カル規定ヲ解疑式規定 (Kasuistische Bestimmung) ト言フコトガ出來ル。獨リ此法典ニ於テノミナラズ、古代ノ法典ノ特色トシテハ、想像的ナ抽象的ナ準備的ナ、豫定的ナ規定ハ甚ダ少ナイ。其ノ多クハ當時其社會ガ親シク經驗シタ實例ヲ、赤裸々ニ引證シテ、規定シテ居ルモノデアル。從テ古代ノ法典ハ其時代ノ生キタ社會ノ消息ヲ率直ニ傳ヘテ居ル。故ニ之ヲ通ジテ社會ノ真相ヲ知ルニ便利ナコトガ多イ。古代法ニハ近世ノ立法ニ見ルヤウナ、外國法ノ模寫的規定ヤ空想的規定ハ稀デアル。

固ヨリ解疑式法文ハ其規定トシテハ不完全タルヲ免レヌ。蓋

シ規定ノ文言ガ具體的ニ特定ノ場合ヲ指定シテ居ルカラ、類似ノ他ノ場合ガ、限リナク、遺脱サレ易イカラデアアル。サレド「ハンムラビ」時代ニハ、社會ノ生活モ其人心モ單調デアツタカラ、斯様ナ規定デモ間ニ合ツタノデアロウ。一方又タ法文ノ不備缺陷ハ、容易ニ裁判ニ因テ、調和補充サレ、當時ノ需要ニ應ズルコトヲ得タモノデアアル。蓋シ此法典ガ解疑式ニ出來テ居ルト云フコトハ、結局ハ例示式ノ規定ト云フ意味ニ解釋シテ、直接法文ノ字句ニハ適合シナクトモ、其精神ニ合體スル限リハ、法文ヲ極メテ廣ク解釋シ得タモノデアアル。サレバ當時既ニ殆ント極端ナ自由法論ガ行ハレテ居ツタ譯デアアル。近時、吾國ニ自由法論ヲ頻リニ提唱スル者モアルガ、斯カル說ハ別ニ新機ナル見解デハナイ。寧ロ古代ノ法制ニ於テハ、却テ盛シニ自由法論ガ行ハレテ居ツタノデアアル。而シテ當時裁判官ガ法律ヲ取扱フ態度ハ、中世紀ヤ近時ノ其レト比較スレバ、殆ント立法權ヲ有スルガ如キモノデアツタカモ知レヌ (Jolms, p. 68)。

V. 認容式規定

又タ此法典ノ規定ノ形式ハ命令的デモナク、積極的ノモノデモナク、寧ロ認容的、又ハ豫定的、若シクハ因果的ニ出來テ居ル。例ヘバ斯々ノ場合ニハ何々ノ「刑ニ處スルコトヲ得ル」トカ、何々ノ「刑ニ當ルデアロウ」トカ、又ハ何々ノ「刑ニ當ル可シ」ト云フ様ニ、科刑ヲ認容スルガ如ク、又ハ未來ノ結果(科刑)ヲ豫定スルガ如ク、若シクハ罪ト刑トノ因果ヲ示スガ如キ語調ヲ以テ、規定シ

テアル。蓋シ刑罰ノ如キモノデモ、法官ハ刑ヲ認定シテ、其執行ハ被害者又ハ一般民衆ニ委セラレタコトモ少クハナイカラ、規定ノ文言ガ認容的ニ現ハレルコトハ、尤モナコトデアロウ。又タ萬能ノ神ヤ、賢明ナル王ガ、將來ノ結果ヲ豫定シ、又ハ豫想スルト云フ様ナ意味ニ於テ、規定ノ文言ガ、豫定の又ハ豫想的ニ現ハレルコトモ、尤モナコトデアロウ。更ニ又タ事物ノ展開スル運命ヲ知り、其因果ヲ明ラカニスルト云フ意味ニ於テ、罪アレバ罰アルト云フガ如ク、規定ノ文言ガ因果的ニ現ハレルコトモ、尤モナコトデアロウ。斯クノ如キ形式ノ規定ハ、〔ヘブリウ〕立法ニモ屢見ル所デアル。稿末ノ法典譯文ニ、何々〔スベシ〕ト掲ゲタノハ、以上ノ如キ認容的、豫定の、豫想的、因果的ノ意味ヲ現ハス積リデアル。譯語ガ、ドウモ不徹底デアルコトハ、茲ニモ豫メ斷ツテ置カナケレバナラス。尤モ各條ニ付テノ解説ハ各部ニ於テ、稍詳カニ分說ショウト思フ。

VI. ハンムラビ以前ノバビロン法

ハンムラビ法典以前ニモ、〔バビロン〕人ニハ既ニ久シイ間、慣習法ガ行ハレテアツタコトハ、土板古記録等ノ遺 勿ニ徴シテ考證サレ得ル。又タ成文ノ法典モアツタラシイ。即チ紀元前七世紀ノ〔アツシリア〕大王 Assur-Bani-pal (668-626 v. Chr.) ノ圖書館及ビ〔バビロン〕寺院等ニ遺存セル寶物、古記録等ノ中ニハ、〔バビロン〕古代ノ法律ヲ物語ルモノモ、可ナリニ多イ。今ハ其等ノ大部分ハ〔ブリテツシ〕博物館ニ保存サレテアル(Kouyanjik Colle-

ctions of the British Museum)。其研究ニ付テハ Dr. Bezold's Catalogue, p. 2032.—British Museum Inscription of Western Asia——等ニ依ルコトガ便利デアロウ。又タ下ニ掲グル Haupt 又ハ Hommel ノ出版物ニモ其大部分ハ揚ゲラレテアル。

其時代ノ圖畫的記錄ノ中ニハ、財産ノ處分ニ關スル法則ヲ示スモノガアル。又タ「キシ」王「マニスタス」(Manistusu)ノ記念碑其他ノ記念物ニシテ土地ノ處分ニ關スル慣習ヲ推量セシムルモノモアル。更ニ小作料、奴隸、羊、牛等ノ取引ニ關スル慣習ノ記念物モアル。此等ノ研究ニ付テハ次ノ資料ガアル。

C. Bezold, Kurzgefasster Überblick über die babylonisch-assyrische Litteratur, 1887 ; P. Haupt, Keilschrifttexten ; F. Hommel, Sumerische Lesestücke ; B. Meissner, Zeitschrift für Assyriologie, Bd. VII. S. 16 ff. ; Delitzsch, Assyrische Lesestücke ; G. Reisner, Tempelurkunden aus Telloh ; Scheil, Mémoires de la Délégation en perse, 1900 ; H. Radau, Early Babylonian History.

此等ノ出版物ヲ資料トシテ、研究ヲ試ミタルモノト思ハレル、著書ニハ次ノ如キモノガアル。——

Meissner, Altbabylonisches Privatrecht ; Kohler und Peiser, Aus babylonischen Rechtsleben ; Oppert, Documents Juridiques.
今日マデニ的確ニ發見サレタ法典トシテハ、「ハンムラビ」法典ハ確カニ世界最古ノモノデアロウ。然シ「ハンムラビ」以前ニモ

「パピロン」ニハ、夙ニ多少ノ法典ガ制定サレタモノデアロウト云フ證據モアリ、屢斯道ノ専門家ノ説ク所デアル。即チ「ハンムラビ」法典ノ字句ヲ引用シタル當時ノ契約記錄アルガ如ク、其レヨリ遙カニ古イ契約記錄ガ、蓋シ當時ノ法文ヲ引用シタルモノト推量サレルコトハ、其一ツノ證據デアル。又タ「スメリア」人及ビ「セム」人ノ散文ヤ、「スメリア」時代ノ法律的記錄殊ニ Ana ittišunアルノ類集モ其證據ニ數ヘラレル。而シテ、「スメリア」時代ノ親族法様ノモノガアツタコトハ、略確實ニ説カレテ居ル(Delitzsch, a. a. O. S. 115; Johns, p. 41)。其レハ「スメリア」語ヲ以テ記サレタモノデアツテ、其法文ハ智識階級ノ者即チ僧侶等ニノミ解シ得ラレタモノラシイ(Ungnad Briefe König Hammurapis, S. 37-38)。然ルニ、「ハンムラビ」法典ガ、「セム」語(Semitischer od. akkadischer Sprache)ニテ記サレテアツタコトハ、ハ王ガ國民ノ實際ノ要求ニ適合シタル第一人者デアツタコトヲ想定セシムルモノデアロウ。

前ニモ述べタ様ニ「ハンムラビ」王ノ法律智識ナルモノハ、何レ過去ノ經驗ト慣習カラ得タモノデアロウ。從テ此法典以前ニモ、裁判官ハ慣習法ナリ、成文法ナリニ依テ、裁判ヲ爲シタモノデアロウ。從テ當時ノ裁判官ト雖モ、法律ノ創造者デハナク、單ニ法律ノ取扱者デアツタニ過ギナイ。法律以前ニ各個ノ場合ノ權利ヲ是認シタ起源ハ、更ニ遙カニ古代ニ遡ラナケレバ、知覺スルコトハ出來ヌデアロウ。

VII. ハンムラビ以後ノ影響

ハンムラビ法典ハ「バビロン」文明殊ニ其法律文明ノ、最モ發達シタル時代ニ、成立シタルモノデアリ、其文明ノ餘光ハ永ク、後世ニ傳ハリ、法律生活ヲ指導スル寶典デアツタ。「アツシリア」及ビ新「バビロン」ニ於ケル、種々ナル成文法ヤ一般ノ法律慣習ニ現レタ原則ニシテ、「ハンムラビ」法典ノ原則ト一致スルモノハ頗ル多イ。元來、「ハンムラビ」法典中ニハ、弱者(例、未亡人其他ノ婦人及ビ子供等)ヲ保護スル人道的規定 (humanitarian clauses) モ多ク、正義公平ヲ旨トスル規定(例、均分相續ノ原則)モ多ク、社會生活ノ安定ニ資スル物價、賃銀等ノ公定規定モ多ク、殊ニ古代ノ民心ニ投合スル敬神ノ思想モ多ク含有シテ居ツタ爲メカ、是ヲ以テ永ク幾世紀間ノ治平ヲ保ツコトヲ得タ様ニ思ハレル (Johns, p. 68)。

バビロン人ノ法律ハ彼等ノ商業ト共ニ深く、後世ニ影響ヲ遺シ、「ペルシア」、「アルメニア」ノ文明トモ融合シテ發達シタ。「バビロン」語ハ當時 其地方ノ通商語 トシテ日常ノ取引證書等ニモ用キラレ、其後世ニ傳ハツタモノモ多ク、恰モ中世紀ニ於テ取引證書ガ、「ラテン」語ニ認メラレタ様ナモノデアツタ。斯クノ如クシテ、「バビロン」ノ法律ハ「キロス」、「ダリウス」、「クセルクス」及ビ其子孫ノ諸帝王ヲ經テ保存サレ、後世ニ傳ハツタ。バビロン文書ハ紀元前八四年迄ノ「ギリシア」時代ニ至ルモノモ發見サレテアル。而シテ「バビロン」法ハ「ギリシア」法ニ於テ、精練サレテ永ク其

影響ヲ後世ニ傳へ、從テ西歐文明ノ有力ナル淵源トモナツテ居ル (Kohler, Allg. RG. S. 66)。

VIII. ハンムラビ法典ノ總評

此法典ノ各項目ニ付テハ、何レ後段ニ分説スルガ、茲ニハ此法典ニ現ハレタ、全般ノ原理ヲ極メテ大局カラ觀察シテ置カウト思フ。一言ニシテ云ハンニハ、此法典ハ古代法ト近世法トノ、極端ナ混合デアルトイフコトモ出來ヨウ (Johns, Laws of Babylonia and Laws of Hebrew Peoples, 1917, p. 6)。ハンムラビ法典ハ實ニ、古代文明ノ最モ發達シタル法律ヲ、代表スルモノデアロウ。〔バビロン〕ノ古代文明、殊ニ其法律文明ナルモノハ、〔ユダヤ〕、〔アラビア〕、〔インド〕、支那、〔ゲルマン〕及ビ〔ケルト〕等ノ祖先ノ文明カラ見レバ、遙カニ原始的ナ狀態ヲ脱シテ居ル。既ニ彼等ノ商業ト其法律トハ古代ノ〔エジプト〕ヲモ凌駕シテ居ルト云ハレ、更ニ或部面ニ於テハ〔ローマ〕ノ法律文明ヨリモ、發達シテ居ッタコトガ解ル。

〔バビロン〕ニ於テハ其商業ニ付テモ、内外人ヲ差別シテ待遇シテハ居ナカツタ。〔ハンムラビ〕法典モ内外人ノ權利能力ハ、之ヲ平等ニ認メテ居ル。諸般ノ取引ハ複雑デアリ、民衆ハ契約法理ヲ了解シ、常ニ證書ニ據ツテ契約ヲ締結シ、種々ナル典型ノ契約ガ行ハレ、殊ニ商業ノ發達ニ伴フ、組合、運送、及ビ倉庫等ニ關スル諸制度モ備ハツテ居ッタ。又タ當時既ニ土地ノ私有モ行ハレテ、共產ノ域ヲ脱シ、契約自由ノ原則モ可ナリ廣ク行ハレテ居ッ

タ。更ニ單婚制ノ原則モ認メラレ、多數ノ均分相続モ行ハレテ居ツタ。殊ニ子供ノ保護ニ付テハ周到ナル立法ガ試ミラレテ居ツタ。又タ近時ノ經濟立法ニ見ルガ如キ、物價及ビ賃率ナドノ公定ニ關スル規定モ甚ダ多カッタ。斯クノ如クシテ當時既ニ、近世文化ノ基調タル幾多ノ制度ガ開カレテ居ツタコトハ、此法典ヲ一瞥スル者ノ常ニ注意スル所デアロウ。

一方又タ此法典ハ、古風ノ文明ト原始的ナ生活ヲ代表シテ居ルコトモ、疑ヲ容レルコトガ出來ヌ。所謂反讐刑 (Retaliatory penalties, Talionstrafe) ヲ認メテ、生命ヲ以テ生命ヲ賠ヒ、眼ヲ以テ眼ヲ賠ヒ、齒ヲ以テ齒ヲ賠フト云フ様ナコトモ行ハレ、犯人ノ責任ガ其家庭ニモ及ビ (家庭責任)、債權ノ實行ガ債務者其他ノ者ノ身體ニ及ビ (人的執行)、殊ニ人間ヲ純然タル商品、財貨扱ニスル奴隸制度モ行ハレ、斷罪法トシテハ無理智ナ神祕的裁判モ行ハレテ居ツタ。此等ノ法則ハ單ニ古物學者ノ好奇心ヲ満足セシムル丈ケニ止マルモノデハナイ。此等ノ古風文明ト原始生活ト、其單調ナ法律組織トハ、近代ニ於テモ、現代ニ於テモ、其影響ヲ遺シテ居ル。又タ暫クハ今後ニ於テモ、或ハ將來永久ニモ其影響ガ及ブモノカモ知レヌ。蓋シ其程度ト其様式ニハ相違ヲ見ルカモ知レヌガ、人生ノ理解ノ上ニ於テハ、時ノ古今ヲ問ハズ、場所ノ東西ヲ問ハズ、又タ種族ノ異同ヲ辨ゼズトモ、必ズ一貫シ、共鳴シテ居ル思想ガアルニ相違ナイ。故ニ吾々ハ法律觀察ノ範圍ヲ擴メ、法律理解ヲ進メル爲メニハ、時ト場所ト種族トノ

廣イ舞臺ニ臨ンデ、色々ナ生活ノ様式ト、様々ナ法則トヲ考證シ
タイト思フ。其レ故私ハ「ハンムラビ」法典中ニ現ハレタ、古風文
明ト原始生活トヲ、單ニ古物的ナ好奇心ノ爲メノ觀察ニハ終リ
タクハナイト思フ。

第二節 訴 訟

I. 裁 判 所

古代「バビロン」ニ於ケル裁判ハ、或ハ寺院ニ於テ行ハレルモノ
モアリ、或ハ組合ノ長老ノ如キモノニ依テ行ハレルモノモアリ、
或ハ當事者ノ同僚ニ依テ行ハレル裁判 (Kollegiales Gericht) モ
アツタ。故ニ「バビロン」ノ訴訟法ハ「コーラー」ノ言ノ如ク、一部
ハ教會式 (Kirchlich) デアリ、又タ他ノ一部ハ世俗式 (Weltlich) デ
アツタ (Kohler, Allg. RG. S. 61)。サレド「ハンムラビ」時代ニ至
テハ裁判ハ總テ國家ニ依テ、管理サレテ居ツタ (Wigmore, Evo-
lution of Law Series, I p. 388)。故ニ其法典ニモ裁判所ノ區別
ナドニ關スル規定ハ掲ゲテナカツタ。

II. 證據裁判

訴ガ提起セラレルト、常ニ事件ハ證據ニ基イテ審理サレ、其證
據方法トシテハ、人證、書證、及ビ物證ハ其ニ許サレテ居ツタ。
證人ノ宣誓ハ特種ノ儀式ヲ以テ、寺院ナドニ於テ行ハレ、宣誓ノ
標識トシテ、神旗ヲ擔フト云フ様ナコトモ行ハレタ。是レ當事
者ト證人ニ、神力ニ對スル恐怖心ヲ生ゼシメテ、實體的眞實發見

ノ目的ヲ達シヨウトスルモノデアツテ、其由來ハ古來〔バビロン〕ニ行ハレタ傳說ニ基クモノノ様デアル(Kohler, S. 61)。證人ノ宣誓ノ際ニ多少ノ神祕的ナ儀禮ヲ加味スルコトハ、今日ノ所謂文化國ニ於テモ其例ガ多イノデアル。

又タ〔ハンムラビ〕法典ニハ、現代法制ニモ見ル様ナ證據ノ判斷ハ裁判官ノ自由心證ニ一任スルコトヲ明言スル規定モアリ、 (§ 9)、又タ極メテ機械的ナ神意式ナ古風ノ方法ニ依テ、事ノ眞否ヲ決セシムル規定ナドモアル (§ 2)。

III. 裁判ノ嚴正

裁判ヲ嚴正ナラシムルコトニ付テハ、〔ハンムラビ〕法典中ニモ、王ノ努力ノ形跡ハ明白ニ現ハレテ居ル。即チ告發人ニハ立證ノ責任ヲ負ハシメ、其責任ヲ盡サザル場合ニハ、彼ヲ死刑ニ處ス可キコトマデノ規定ヲ冒頭ニ掲ゲテ居ル (§§ 1.2.)。又タ審理中ノ事件ニ對シテ、僞證ヲ立テタリ、無責任ナ陳述ヲ爲シタ者ナドハ、嚴格ナ制裁ヲ受ケ、就中體刑 (Leibesstrafen) ニ處セラレタ様デアリ、若シ其事件ガ生命ニ關スルガ如キ、重大ナモノデアレバ、死刑ニ處ス可キコトハ、法典第三條ニ規定サレテアル。是ニ相當スル規定ハ、所謂〔モーゼ〕ノ法典ニモアル。即チ僞證ヲ爲シタ者ハ、僞證ニ因テ、他人ニ加ヘントシタル害ヲ、自ラ蒙ル可キモノト定メテアル (Deuteronomy 20 16-19)。

證據ヲ嚴正ナラシムル爲メニハ、收賄ヲ禁ジ、之ヲ犯ス者ノ損害賠償責任ヲモ規定シテ居ル (§4)。〔バビロン〕ニハ裁判官ガ收

賄ニ依テ、既ニ與ヘタ裁判ヲ變更スル習俗ガアツタモノト見エ、法典ハ特ニ之ヲ禁制スル爲メ、之ヲ犯ス裁判官ニハ、當該判決ニ掲ゲラレタ罰金ハ、裁判官ニ於テ、其十二倍ヲ支拂フ可キモノト定メ、更ニ裁判官ノ資格喪失ニ關スル規定ヲモ設ケテアル (§ 5)。裁判上ノ賄賂ヲ禁壓スル爲メニハ、〔ヘブリウ〕經典ニモ言辭ヲ盡シテ戒メテアル (Exodus 23:6-8 ; I Samuel 8.3 ; 12:3 ; Isaiah 1:23 ; Ezekiel 22:12 ; Amos 5:12)。

尙ホ〔ハ〕法典ニハ呪詛、魔術ニ對シテハ、特ニ警戒ヲ拂ツタ跡が見エル (§ 1.2.)。蓋シ古代〔バビロン〕ニ於テハ、呪詛、魔術ガ流行シ、人心ヲ脅カシ、之ガ爲メニ裁判ノ嚴正モ屢誤ラレタモノノ様デアル。蓋シ古代、人心幼稚ニシテ、迷信深キ人衆ノ中ニ、呪詛、魔術ノ流行ヲ見ルハ、獨リ〔バビロン〕ニ於テノミ見ル現象デハナイ。寧ロ廣ク原始民族ノ通有現象デアル。從テ〔ヘブリウ〕經典ノ如キモ、魔術ヲ行フ者ヲ死刑ニ處シ、人心ヲ安定セシムル爲メノ警戒ヲ加ヘテ居ル (Exodus 22:18 ; Leviticus 20:27 ; 19:26, 31.)。

IV. 神秘的斷罪

裁判ニ當テ被告人ヲシテ、或ハ熱鐵ヲ握ラシ、或ハ灼熱セル物ノ上ヲ歩マシメ、或ハ熱湯ニ手ヲ入レシメテ、其有傷ヲ有罪トシ、無傷ヲ無罪トスルガ如キ、神秘的ナ斷罪法 (Ordeal, Ordal.) ハ多クノ古代民族ノ間ニ行ハレテ居ツタ。古代吾國ニハ探湯 (クガタチ) ガ行ハレタコトハ、周知ノ史實デアル。又タ上古〔イギリ

ス¹ニ於テモ、此種ノ斷罪法ガ行ハレタト言フ (Davies, Evolution, I. p. 389)。此種ノ斷罪法ハ²ハンムラビ³當時ノ⁴バビロン⁵ニ於テハ、法典二條ニ明示サレテアル通り、被告人ヲ河ニ飛込マシメテ、其溺レルヤ否ヤニ因テ、罪ノ有無ヲ斷ジタ。其詳細ノ光景ニ付テハ、記録ノ徴ス可キモノガナイ。尙ホ此神意裁判 (Ordalien) ニ類スルコトヲ定メタ規定ハ、九條、一三一條等ニモアル (後段説述)。

此種ノ斷罪法ハ⁶ヘブリウ⁷民族ニモ行ハレタモノラシイガ史料ノ正確ナモノハ得ラレナイ。然シ同種ノ原則ハ舊約全書民數紀略 (Numbers 5:11-31) ニ述ベラレテアル、所謂猜忌ノ水 (Water of Jealousy) ヲ被告人ニ飲マシメテ、其反應ニ因テ罪ノ有無ヲ決スルト云フコトニモ表ハレテ居ル。或ハ又タ火ヲ以テ罪ノ有無ヲ判斷スルコトモアツタ (Proverbs 6: 27-29)。

V. 強制執行

⁸バビロン⁹ニ於ケル、強制執行ハ多クノ古代民族ノ法律ニ於テモ屢見ル様ニ、所謂人的執行 (Personalvollstreckung) デアツタ。人質及ビ人押ニ關シテハ法典 (§§ 114-119) ニモ其規定ガアル。債權者ハ辨濟ノ代償トシテ、債務者又ハ其妻子若シクハ奴隸ヲ引取り、之ニ勞務ヲ命ズルコトガ、¹⁰バビロン¹¹ノ慣習デアツタ。債權者ニ引取ラレタ者ハ、一定ノ期間、債務奴 (Schuld knecht) トシテ、債權者ノ家屋ニ居住シ、純然タル奴隸ノ役務ニ服スルモノデアツタ。此人的執行ノ制度ハ、後世ニ至テモ行ハレ、¹²アツシリ

ア¹及ビ新¹バビロン¹時代ニモ及ンデ居ル。而シテ同時ニ物的執行 (Sachvollstreckung) 又ハ實物差押 (Realpfändung) モ行ハレテ來タ (Kohler, S. 63. 64)。

第三節 盜 罪 其 他

I. 盜 財

法典六條ト八條トハ盜賊ニ對スル制裁ヲ規定シテ居ル。寺院又ハ宮殿ノ財物ヲ盜取シタル者、及ビ其贓品ノ隱匿者ハ共ニ死刑ニ處セラレ、其情狀ニ依テハ加害三十倍ノ賠償ヲ課セラレル。法文ニハ牛、羊、驢、豚又ハ船ヲ盜取シタ場合ニ限テ罰金ヲ科スルモノノ如ク、現ハレテ居ルガ、此點ハ前ニモ述ベタ様ニ、此法典ノ規定ハ屢起ル例ヲ標準ニシテ、規定シタマデノコトデアラカラ、此他ノ場合ト雖モ裁判官ノ裁量ニ依テハ、死刑ヲ科スルトモ、賠償ヲ課スルトモ、其選擇ハ自由デアツタラシイ (Ungnad, 39)。此種ノ盜賊ヲ死刑ニ處スルコトニ付テハ、舊約全書ニアル、¹「アカン」ノ受ケタ死刑ニ對比ス可キモノデアツタカモ知レヌ (Joshua 7:25)。

賠償額ニ付テハ寺院又ハ宮殿ノ物ヲ盜取シタル場合ト、其他ノ物ヲ盜取シタル場合トニ付テ、差等ヲ設ケテ、前者ニ付テハ三十倍、後者ニ付テハ十倍トシテ居ル。蓋シ¹「バビロン」ニ於テハ、寺院ニ供ヘタ物ハ凡テ神聖ノ物ト考ヘラレ、而シテ國王ハ神ノ直接ノ代表者ナルガ故ニ、其所有物モ亦タ神聖ノモノトシテ居

ツタカラ、斯クノ如キ刑ノ差等ヲ生ズルモノデアッタ (Davies p. 391)。賠償ノ割合ハ之ヲ〔ヘブリウ〕立法ニ比較スルトキハ、著シク其高率ナルコトヲ發見スル。即チ〔ヘブリウ〕ニ於テハ五頭ノ牛ヲ以テ一頭ノ牛ヲ賠ヒ、四頭ノ羊ヲ以テ一頭ノ羊ヲ賠ハシムル、尤モ盜物ヲ保有スルトキハ、之ヲ二倍ニシテ賠ヘバ宜イ (Exodus 22:1. 4)。此他四倍ノ賠償ハ〔ヘブリウ〕民族ニ行ハレタ原則デアル (II Samuel 12:6; Luke 19:8)。而シテ〔バビロン〕ニ於ル各種ノ場合ノ賠償ハ、之ヲ〔ヘブリウ〕立法及ビ其慣習ニ比較スレバ、著シク賠償割合ニ懸隔ノ存スルコトヲ發見スル。即チ〔バビロン〕ニ於ケル賠償ハ、三十倍カラ二倍マデニ及ンデ居ルガ (§§ 224 126)、〔ヘブリウ〕ニ於テハ七倍乃至二倍ニ及ンデ居ル丈ケダ (Proverbs 6 31; Exodus 22:4)。固ヨリ實損賠償ノ場合ハ兩法共ニ多少之ヲ認メテ居ル。

法典ハ上記ノ賠償ヲ支拂フコトガ出來ナケレバ、死刑ノ制裁ヲ加ヘル旨ヲ規定シテ居ルガ、此點ハ〔ヘブリウ〕ニ於テハ、盜人ヲ賣却ス可キコトヲ定メテ居ル。蓋シ其代金ヲ以テ賠償ニ充テルモノデアロウ。而シテ賣ラレタ者ハ奴隸トシテ服役ス可キモノデアロウ (Exodus 22:3)。

II. 準盜財

〔バビロン〕ニ於テハ重要ナル物ノ賣買等ハ、證文又ハ其他ノ證據ヲ立テテ行ハレル習慣ニナツテ居ツタカラ、此等ノ形式ヲ履マズニ、物ヲ買入レタリ、寄託ヲ受ケタリシタ者ハ、結局盜賊ト

シテ取扱ハレタ (Ungnad, S. 39)。殊ニ無責任ナ少年、不忠實ナ奴隸其他取引ニ通ゼザル者トノ取引ニ依テ、財物ヲ取得スル者ハ、盜賊トシテ死刑ニ處セラレルノデアツタ (§ 7)。又タ遺失物ノ賣主モ盜賊ト看倣サレテ死刑ニ處セラレタ。而シテ此場合ニハ遺失物ノ所有者ハ、無償ニ之ヲ回復シ、其代リ買主ハ先キニ支拂ツタ財産ヲ、賣主ノ財産カラ返還ヲ受ケルコトニナル (§ 9)。

遺失物ヲ買得シタリト主張シテモ、之ヲ立證スルコト能ハザルトキモ、盜賊トシテ死刑ニ處セラレル、而シテ遺失物ノ所有者ハ、其物ヲ回復スルコトヲ得ル (§ 10)。

以上ノ如ク、^{〔バビロン〕}ニ於ケル盜罪ノ觀念ハ頗ル廣ク、斯クノ如キ廣汎ナル觀念ハ、^{〔ヘブリウ〕}民族ニハ見ザル所デアル。又タ其制裁ニ至ツテモ、^{〔ヘブリウ〕}ヨリハ概シテ峻嚴デアツタ。蓋シ商業取引ノ發達ニ伴フ、盜賊横行ノ結果ナラムカ (Davies, p. 393)。

III. 遺失物回復

遺失物ノ所有者ガ、遺失物ヲ回復スルニハ、自己ノ所有物ト同一ナルコトノ立證責任ヲ負フ。若シ其立證ヲ爲スコトガ、出來ヌ場合ニハ、虛偽ヲ主張シ、誣告ヲ爲シタル者トシテ死刑ニ處セラレル (§ 11)。尤モ此立證ノ爲メニハ裁判上、六個月ノ猶豫期間ヲ與ヘラレル、而シテ其期間内ニ證據ヲ舉ゲナケレバ、虛言者トシテ罰金ノ制裁ヲ受ケル (§ 13)。遺失物ノ買主ハ賣主ノ死亡シタル場合ニハ、賣主ノ財産カラ損害ノ五倍ノ賠償ヲ受ケルコト

が出来ル (§ 12)。

IV. 子供盗奪

一般ニ盗人ヲ嚴罰シテ死刑ニ處スルコトハ、上ニ述べタ通りデアル。然ルニ法典ハ他人ノ子供ヲ盜取シタル者ヲモ、死刑ニ處スルコトニ付テ特ニ一個條ヲ設ケテ居ル (§ 14)。蓋シ當時^{〔バビロン〕}ニハ奴隸ノ賣買ガ行ハレ、從テ子供ノ盜奪モ流行シテ居ツタモノト見エル。法文ハ子供ノ場合ヲ例ニ引イテ規定シテ居ルガ、大人ヲ盜取シタ場合ニモ同罪ナルコトハ、法典ガ解疑式ノ規定ナル性質ニ照シテ明カデアロウ。此點ハ舊約全書中ニモ同様ニ死刑ノ制裁ヲ以テ、禁斷シテ居ル (Exodus 21:16 ; Deuteronomy 24:7)。其レニハ子供ノ場合ヲ例示セズ、抽象的ニ述ベタル。

V. 盜難者ノ保護

盜賊ハ逮捕サレタ場合ニハ直チニ死刑ニ處セラレ、而シテ盜難者ハ其盜賊ノ遺産カラ、賠償ヲ受ケルコトガ出来ル (§ 22)。サレド盜賊ガ逮捕サレザル場合ニハ、盜難者ハ神前ニ於テ、盜難ノ事實ヲ宣誓シテ、盜難地ヲ管轄スル役人ガ盜難者ノ被害ヲ賠償シナケレバナラヌ (§ 23)。若シ生命ノ被害アル場合ニハ、其役人ハ被害者ノ相續人ニ銀一^{〔ミナ〕}ヲ拂ハナケレバナラヌ (§ 24)。一^{〔ミナ〕} (Mina, Mana) ハ日本貨約六〇圓ニ當リ、之ヲ當時ノ日傭勞働者ノ賃銀ヲ五^{〔セ〕}トシテ換算スレバ、約四年半ノ賃銀ニ相當スル。又タ當時、婦人ヲ娶ル代金ハ一^{〔ミナ〕}位ノモノデアツタ。

[ヘブリウ]立法ニ於テハ、殺人犯人ノ知レザル場合ニハ、地方ノ長老等ハ謝罪ノ意味ニテ、牝牛ヲ犠牲ニ供スル儀式ヲ行フ可キコトヲ定メテアルガ、被害者ニ賠償ス可キコトヲ定メテハ居ラス (Deuteronomy 21:1-9)。サレド殺人犯人ノ知レザル場合ニ、其責任ヲ、地方團體又ハ國家ガ負擔スルモノトスル原則ハ、屢古代法ニ現ハレルコトデアル。例ヘバ[アラビア]法ニ於テハ、犯地ニ最モ近イ地方團體ニ責任ヲ負ハシメ、[イスラム]法ニ於テハ其事情ニ從テ、殺人罰金 (blood money) ハ國家カラ支拂フモノトシテアツタ (Davies, p. 396)。

VI. 家宅侵入

他人ノ家ニ亂入シタ者ハ、其場ニ於テ殺サレテ、其處ニ葬ラレルモノトシテアル (§21)。此レ當時[バビロン]ノ慣習ニ基クモノデアツテ、此種ノ慣習ハ中世紀、[ゲルマン]民族ニモ行ハレタ。其思想ノ根柢ハ其死者ノ遺靈ガ將來ノ侵害ヲ防衛ス可シトノ信念ニ由來スルモノデアロウ (Davies, p. 395)。又前ニ述ベタ[タリオ]刑ノ思想ニモ基クモノデアロウ。[ヘブリウ]立法ニ於テハ、夜中ノ家宅侵入ニ對シテノミ、死刑ヲ認メタルモ Exodus 22:2)、[バビロン]ニ於テハ上掲ノ如ク、法文ニハ晝夜ノ區別ヲ認メテナカツタ。サレド實際ニ於テハ、夜中ノ侵害ニ對シテ專ラ其制裁ヲ見タルモノナラム (Davies)

VII. 火事場ノ盜賊

他人ノ家ニ起ツタ火事ヲ消シニ來テ、其家ノ財物ヲ盜取シタ

者ハ、火刑ニ處セラレ。法文ニハ「其火中ニ投棄ス可キ」旨ヲ定メテ居ルガ、是レ實際ニ經驗シタ例ヲ引照シタノデアツテ、必ズシモ其火中タルコトヲ要シナカッタモノト解セラレ。即チ火災後ニ於テハ法文ノ示ス通りニハ、刑ヲ執行スルコトハ出來スカラデア。故ニ此法文ハ一般ニ火死ノ刑 (Feuertod) ヲ是認シテ居ルモノト見ル可キデアロウ (Ungnad, S. 40)。是レ亦タ例ノ解疑式ノ規定ナル所以デア。此種ノ規定ハ「モーゼ」ノ法律ニハ定メテナイ。蓋シ一般ノ盜賊ニ關スル規定ヲ以テ取扱フモノデアツタロウ。

VIII. 刑ノ執行

法典二一條ノ家宅侵入者及ビ二五條ノ火事盜賊ニ對スル死刑ハ、何レモ家屋ノ所有者ガ自ラ、執行ノ權能ヲ有シテ居ッタモノデアラシイ (Davies, 396)。即チ法官ノ宣言シタ刑ヲ、被害者又ハ一般公衆ニ於テ執行シタ例ハ、此外ノ場合ニモ屢アツタモノラシイ。法文ニハ其刑ノ執行者ガ、何人ナルカ不明ナ場合ガ多イノデ、之ヲ一々考證スルコトハ頗ル難事デア。一般公衆ガ刑ヲ執行スルノ例ハ「ヘブリウ」ニモアツタコトデ、其レハ又タ後段ニ述ブル積リデア。

第四節 奴 隸 逃 亡

I. 序 言

ハンムラビ法典ハ、比較的個人ノ自由ヲ尊重シテ居ツタケレ

ドモ、一方ニ於テハ奴隸ヲ認メ、之ヲ生業ノ基礎トシテ居ツタコトニ付テハ、古代民族ノ常例ニ洩レテ居ラヌ。^{〔バビロン〕}及^{〔ビ〕}ア^{〔ツシリア〕}ニ於ケル奴隸制度ハ、經濟上重要ナル意義ヲ有シ、從テ法典ニ於テモ此消息ハ十分ニ表ハレテ居ル (Ungnad, S. 39; Kohler, S. 58)。^{〔バビロン〕}ニ於ケル奴隸ノ起源ハ極メテ古ク、其時代ハ正確ニ之ヲ知ルコトガ出來ヌ (Johns, p. 169)。尙ホ一般ノ奴隸制度ノ研究ニ付テハ、次ノ著書ハ注目ス可キ資料デアロウ。

Oppert, La Condition des Esclaves à Babylone, Comptes rendues (1888); Meissner, De Servitute Babylonico-Assyriaca; Kohler und Peiser, Aus dem Babylonischen Rechtsleben.

II. 奴隸ノ逃亡助勢

^{〔バビロン〕}ニ於テハ奴隸ハ一種ノ重要ナル財貨デアツタカラ、其レガ貴族ノ所有ナルト、平民ノ所有ニ係ルトヲ問ハズ、且ツ奴隸ノ男女ヲ區別セズニ、等シク之ヲ逃亡セシメ、又ハ逃亡シタル奴隸ヲ庇護シタル者ハ、盜賊ト同様ニ死刑ニ處セラレルノデアツタ (§§15. 16)。然ルニ^{〔イスラエル〕}ニ於テハ、奴隸ノ逃亡ニ對シテハ、反對ニ寛仁ナル處置ヲ取テ居ルコトハ、博愛の經典ノ意ヲ空シクシナカツタ點デアロウ。即チ逃亡セル奴隸ハ之ヲ主ニ引渡スコトナク、奴隸ノ好ムガ儘ニ其運命ヲ決セシム可キコトヲ定メテ居ル (Deuteronomy 23:15. 16)。

III. 逃亡奴隸ノ逮捕

反之、逃亡セル奴隸ヲ逮捕シテ之ヲ其所有者ニ引渡ストキハ、所有者カラハ銀二〔シケル〕(Shekel)ノ賞與ヲ得ラレルノデアツタ (§17)。銀一〔シケル〕ハ日本貨ノ約一圓三十錢ニ當ル。此賞與ハ當時ノ〔バビロン〕ニ於テハ可ナリノ多額ノモノデアツタ。蓋シ當時、日傭労働者ノ賃銀ハ五〔セ〕(Se)内外ノモノニシテ、日本貨ニ換算スレバ、三錢六厘内外ノモノデアツタカラ、此種ノ労働者カラ見レバ、七十二日間餘ノ賃銀ニ相當スルノデアツタ。

IV. 奴隸主ノ調査

又タ法典ニハ逮捕サレタ奴隸ガ其所有主ヲ明ラカニセザルトキハ、之ヲ宮殿ニ送致シテ、奴隸ノ經歷ヲ調査シ、之ヲ所有者ニ返附ス可シトアリテ、奴隸主ノ保護ニ付テハ多クノ注意ガ拂ハレテ居ツタコトハ明カデアル (§ 18)。此種ノ慣習ハ〔イスラエル〕ニモアツタカト思ハレルガ (I. Kings 2:39-) 其詳細ノコトハ知ルヲ得ナイ。

V. 逮捕奴隸ノ隱匿及再逃亡

更ニ奴隸ヲ逮捕シタル者ガ之ヲ自己ノ家ニ隱匿シテ置クコトハ上ニ述ベタ逃亡セル奴隸ヲ庇護スル場合 (§ 16) ヨリハ其罪責ハ重ク、寧ロ奴隸ヲ盜奪シタルカ、又ハ誘拐シタルモノトシテ取扱ハレルコトニナツテ居ツタラシイ (§ 19)。然シ何レニシテモ其制裁ハ兩條共ニ死刑ト定メテ居ルカラ、其執行ノ方法ナドニ於テハ、輕重ノ區別ガアツタモノカト思ハレル。一旦逮捕サレタ奴隸ガ、逃亡シタル場合ニハ、逮捕者ハ其旨ヲ、奴隸所有者ニ

通告スレバ、逃亡ニ付テノ責任ヲ免レ得ルコトニ付テハ、法典ハ明文ヲ以テ之ヲ保證シテ居ル (§ 20)。

第五節 官制及封建

I. 序 言

法典二六條乃至四一條ニ於テハ、官制及封建制度ニ關スルコトヲ定メテ居ル。就中、平時ニ於テハ地方行政ノ職ニ任ジ、一朝、事アル場合ニ、國王ノ召集ニ應ジテ、軍務ニ服スル者ニ關スル規定ヲ置イテアル。今、其規定ヲ見ルニ付テモ、^{〔ハンムラビ〕}王ガ嚴格ナル官制ヲ組織シ、官吏ヲ優遇シ、之ニ必要ナル收入ヲ供給スル封地ヲ與へ、其妻子ノ生活費ヲ保證シ、更ニ軍人ノ身上ニハ特別ノ保護ヲ與ヘテ居ツタコトガ了解サレル (Kohler, S. 62)。

II. 代人禁止

國王ノ用務ニ服ス可キ職務ヲ有スル者ガ、其職ヲ空シクシテ、代人ヲシテ其職ニ當ラシメタル場合ニハ、死刑ニ處セラレルコトハ法典二六條ノ示ス所デアツテ、其官制ノ嚴格ナルコトガ解ル。然ルニ^{〔ヘブリウ〕}立法ニ於テハ、之ト正反對ニ頗ル寛容ナルコトヲ規定シテ居ル。即チ新タニ妻ヲ娶リタル者ニハ、軍務其他何等ノ職務ニ服セシムルコトナク、一年間家庭ニ親ムノ閑ヲ與フ可キコト、其他之ニ類スル寛容ナ制度ヲ認メテ居ル (Deuteronomy 24.5 ; 20:5-9)。

法典二六條以下ニ^{〔士官又ハ守衛〕}ト譯出セル役人ハ、如何ナ

職務ニ任ズル者デアツタカ、其詳細ヲ究メ難イ。サレド恐クハ國王ノ命ニ依テ、地方ニ派遣サレ、平時ハ其地方ノ行政ニ任ジ、戦時出征スル職業軍人ノ如キ者デアツタカト思ハレル (Ungnad, S. 40; Davies, p. 396)。

III. 私領回復

士官又ハ守衛ガ國王ノ用務ニ服スル爲メノ不在中ニ、其領地及ビ莊園ガ他人ニ取得サレタ場合ニハ、其歸來後ハ従前ノ如ク、其土地ヲ回復スルコトヲ得ル (§ 27)。本條以下ニ「領地及ビ莊園」ト譯出セル土地ハ、如何ナル性質ノモノヲ意味スルカ詳カデナイガ、國家ノ功臣ナドガ、國王ヨリ下賜サレタ私領地デアリ、其領主ハ其地ノ行政權ヲモ有スルモノデアツタラシイ。而シテ領主ハ其地ヲ他人ニ讓渡シ、又ハ質入スルコトハ一般ニ禁ゼラレ、僅カナル除外例トシテノミ、之ヲ許サレルノデアツタ。尙ホ後段ニ稍詳述ス可シ。此私領地ニ類スル制度ハ、「イスラエル」ニモアツタラシイガ、「ハンムラビ」法典ノ規定ト比較スル程ノ詳シイ法理ナドハ解ラナイ (I. Samuel 8:14; I Kings 21.7; Ezekiel 46:16-18)。

IV. 私領相續

士官又ハ守衛ガ國王ノ用務ニ服シタ場合ニ、其子ガ父ノ職務ヲ執リ得ルトキハ、子ハ父ノ領地及ビ莊園ヲ取得シ、父ノ職務ヲ代テ執行スルコトガ出來ル (§ 28)。而シテ若シ其子ガ、父ノ職務ヲ執ルニ堪ヘナケレバ、其領地及ビ莊園ノ三分ノ一ヲ、其母ニ與

ヘル、而シテ母ハ之ヲ以テ、子ノ養育資源トシナノレバナラス (§ 29)。ハヌムラビ王ガ官吏ノ保護ニ付テ、意ヲ用キタ證跡ハ即チ此規定ニモ明カデアアル。

V. 私領荒廢ノ責任

士官又ハ守衛ガ領地、莊園及ビ家屋ノ管理ヲ怠ツテ、之ヲ荒廢セシムルトキハ、他人ニ之ヲ管理セシメル。而シテ其管理ガ三年ニ及ブトキハ、前者ハ従前ノ管理權ヲ回復スルコトハ出來ス (§ 30)。尤モ前段ノ荒廢ガ一年間ニ止マル場合ハ、其回復ヲ許シテ居ル (§ 31)。此兩條ニ依レバ、管理ノ荒廢ガ三年ニ及バズ、一年ヲ超ユル場合ニハ回復權ヲ認メルモノカ否カハ明ラカデナイ。恐ラク其中間ノ場合ハ法官ノ參酌ニ依テ、處置セラレタモノデアロウ。

VI. 軍人ニ對スル身上ノ保證

國王ノ用務ニ服シテ居ル士官又ハ守衛ガ敵ニ逮捕サレタ場合ニ、他人カラ贖身サレテ、敵手カラ免脱スルコトヲ得タ者ハ、自ラ其贖身代金ヲ支拂ハナケレバナラス、サレド其支拂ヲ爲ス資力ガナケレバ、彼ノ所屬團體ノ寺院ニ於テ支拂ヒ、若シ其寺院ニモ其資力ガナケレバ、宮廷ニ於テ支拂フモノトシテアル。如何ナル場合ニ於テモ、被贖身者ノ領地、莊園家屋等ヲ以テ、支拂フコトハ禁ゼラレテアツタ (§ 32)。此レ王ガ官吏ノ身上ニ對シテ、特別ノ保證ヲ與ヘタ規定デアリ、官制ノ一端ヲ知ルニ適スル。

VII. 綱紀肅正

官吏又ハ公吏ハ賦役者ヲ私用シ、又ハ國王ノ用務ニ付テ、代人ヲ受授スレバ死刑ニ處セラレル (§ 33)。又タ官公吏ガ士官ノ財産ヲ取り、士官ヲ掠奪シ、之ヲ奴隸トシテ賃貸其他ノ處分ヲナシ士官ヲ暴君ノ裁判ニ附シ、又ハ國王ヨリ得タル士官ノ報酬ヲ取ル者モ、死刑ニ處セラレル (§ 34)。

VIII. 王有物處分ノ禁止

法典三五條ハ其文理ノミニテハ、其意義ヲ運ブニ足ラナイガ、國王ヨリ管理ヲ委託セラレタ動物ノ處分ヲ禁ジ、若シ之ヲ犯シテ賣買スレバ、其代金ヲ沒收スルト云フ規定デアロウ。蓋シ王有ノ羊又ハ牛ナドヲ士官ニ飼養セシムルコトハ、ハ王時代ニ於ケル〔バビロン〕ノ慣習デアツタ、是レ一種ノ管理信託 (Verwaltungstreuhanderschaft) ノ慣習デアツテ、此規定ハ背信處分ノ一法律效果ヲ規定シタモノデアル。〔ヘブリウ〕ニモ此種ノ慣習ハアツタ。然カモ土地、倉庫、動物其他ノ王有財産ニ付テ行ハレタコトハ、舊約全書中ニ表ハレテ居ルコトデモ明カデアル (I Chronicles 27:25-31)。

IX. 私領處分ノ制限

士官、守衛又ハ納貢者ノ領地、莊園及ビ家屋ハ賣却スルコトガ出來ヌ (§ 36)。是レ私領ノ處分ヲ原則トシテ禁ズルガ爲メノ規定デアル。從テ若シ此等ノ財産ヲ賣却スルコトガアツテモ、其賣買ハ無効デアリ、其契約ノ記録ナドハ破棄セラレ、代金ハ沒收サレ、領地、莊園又ハ家屋ハ其所有者ニ返還サレナケレバナラヌ

コトニナル (§ 37)。單ニ此等ノ財産ハ他人ニ之ヲ賣却スルコトヲ禁ズルノミナラズ、士官、守衛、又ハ納貢者ガ其妻又ハ娘ニ讓與スルコトヲモ禁ジ、更ニ負債ノ爲メニ之ヲ處分スルコトヲモ禁ジテ居ル (§ 38)。蓋シ此等ノ財産ハ單純ナル私有財産デハ無ク、國家ノ爲メニ之ヲ管掌ス可キ職責ヲ擔フモノデアリ、且ツ前述ノ如ク此等ノ財産ハ、通常、國王カラ無償ニ取得シタモノデアツタカラ、上述ノ如キ處分ノ制限ヲ受ケルコトハ當然デアロウ。此法典ハ常ニ例示式ノ文言ヲ以テ、規定シテアルカラ、三十八條ニ於テ妻又ハ娘ニ讓渡スルコトヲ禁ジテ居ル以上ハ、當然ニ息子ニ讓渡スルコトヲモ、禁ズルモノ、様ニモ思ハレル。サレド息子ニ 相續權ヲ認メ職務ノ世襲ヲモ、或程度ニ於テハ許シテアツタカラ、此法文ハ故意ニ息子ヲ除外シテ、規定シタモノデアロウ。是レ固ヨリ私一個ノ推測デハアルガ、¹「ダヴィス」ナドモ²「ハーパー」ノ譯文ヲ引照シテ、其レガ正當ナラバ、息子ノ相續權ガ認メ得ラレルト云フ様ナ、條件附ノ推論ヲ下シテ居ル (Harpur, 38 ; Davies, Evolution, p. 399)。

X. 私領處分ノ許容

尤モ彼等ガ反對給付ヲ支拂ツテ得タ領地、莊園又ハ家屋ナレバ、之ヲ妻又ハ娘ニ讓渡シ、若シクハ負債ノ爲メニ處分スルコトハ自由デアツタ (§ 39)。法文ニハ息子ニ讓渡シ得ルコトヲ掲ゲテ居ラスガ、其レハ勿論許シテアツタモノト思フ。蓋シ一定ノ場合ニハ、息子ガ父ノ財産ヲ相續シ、且ツ父ノ地位ヲ世襲スルコ

トヲ認ムル規定モアリ (§ 28)、其他ノ場合ニモ此法理ノ推論ヲ爲ス餘地ガアルカラ。〔ヘブリウ〕法ニ於テモ、或場合ニハ、娘ニ父ノ財産ノ相續權ヲ認メタ様デアル (Numbers 27:1-11)。

王室ノ役人又ハ國家ノ役人ニ對シテハ、領地、莊園又ハ家屋ヲ賣ルコトガ許サレテ居ツタ、而シテ其買人ハ其土地又ハ家屋ニ附隨スル事務ヲ處理スル責任ヲ負ハセラレルノデアル (§ 40)。此規定ノ譯文ニ付テハ多少見解ノ相違ガアル。其何レニ從フモ其意義ハ審ラカデナイ。殊ニ其買主ハ如何ナル職務ノ執行ニ付テ責任ヲ負フモノデアルカ不明デアル。假リニ法典三〇條ノ規定等カラ、推測スル所デハ、土地及家屋ヲ荒廢セシメヌ様ニ之ヲ管理ス可キ責任ヲ定メタモノカモ知レス。

士官、守衛又ハ納貢者ハ其不在ニ當リテハ、其領地、莊園又ハ家屋ナドヲ、有償ニ他人ニ讓與スルコトガ出來ル。而シテ其歸來シタ場合ニハ、勿論其土地モ家屋モ從來ノ如クニ、回復スルコトガ出來ル、サレド、先キニ讓受人カラ取得シタル反對給付ハ留保スルコトガ出來ル (§ 41)。

第六節　不　動　産

I. 序　　言

法典ノ四二條以下ニハ不動産ニ關スル法制ガ定メラレテアル。而シテ其六六條乃至九九條ノ規定ハ前ニモ述ベタ通り、缺文ニナツテ居ル爲メニ、不動産制度ノ全部ノ規定ヲ知ルコトハ

出來ヌカモ知レヌ。尤モ其缺文中三ヶ條丈ケハ近世ノ發見ニ因テ、補充サレルコトガ出來タケレドモ、其他ノ三十一ヶ條丈ケハ依然トシテ不明デアル。其中ノ全部ノ規定ガ、不動産ニ關スル規定デハナイラシイガ、其内ニハ不動産ニ關スル規定モアツタコト丈ケハ、缺文ノ前後ヲ通讀シテ見テモ略明カデアル。

今吾々が確知シ得ル丈ケノ規定ヲ點檢スレバ、耕地貸借、不動産金融、治水、牧畜、果樹園及ビ住居貸借等ニ關スル民事規定ヲ見出ス。〔バビロン〕ノ農業生活ノ概略ハ是等ノ規定ヲ通ジテ、最モ適切ニ了解スルコトヲ得ルデアロウ。尙ホ〔バビロン〕ノ農業生活ニ關スル民事規定ノ一連ハ、法典二四一條以下ニモアル。理論的分類トシテハ此等ノ規定ヲモ、綜合シテ茲ニ説明スルコトガ正當デアルカモ知レヌ、又タ便利デモアル。サレド理論ノ爲メニ且ツ便利ノ爲メニ、法典ノ分類ヲ變更スルコトハ、古代法ノ特色ヲ消ス憂ガアル。故ニ私ハ出來ル丈ケ、法典ノ眞ノ趣ヲ率直ニ現ハス爲メ、法典順ニ分類スルコトヲ努メタノデアル。即チ理論的分類ノ爲メニ古代法ノ特色ヲ犠牲ニスルコトヲ避ケル。此他ノ場合ニ於テモ此方針ヲ採ツタ。

元來、〔バビロン〕ニ於テハ土地ハ家族團體有トシテ認メラレテ居ツタ時代モアルガ、法律上夙ニ之ハ否定サレテ、個人取引ト個人處分トが行ハレテ居ツタ (Kohler. S. 53)。故ニ〔ハンムラビ〕法典ニ至リテハ、當然、土地ノ私有化の取引ノミヲ定メテ居ル。

古代〔バビロン〕ニ於テハ土地讓渡ノ方式トシテハ、*Bukannu*

ト云フ杖又ハ鈎ナドノ様ナモノヲ交付スルコトガ、一般ニ行ハレテ居ツタ。又タ *Kudurru* ト云フ神祕的ナ石ナドガ交付サレタコトモアル。此レ精神上ノ儀禮 (Geisterkult) カラ生ジタ象徵デアツテ、斯クノ如キコトハ他ノ法律史ニモ屢見ル例デアルガ、
[ハンムラビ] 時代ニハ此慣習ハ既ニ消滅シテ居ツタノデ其法典ニハ、之ニ關スル何等ノ規定モ掲ゲラレテナイ (Kohler, S, 60)。

III. 耕地ノ貸借

[バビロン]ニ於ケル耕地ノ貸借ニハ、賃貸借 (Zinspacht) ト收益分配貸借 (Teilpacht) トガアツタ。

耕地ノ賃貸借ニ於テハ賃借人ハ假令何等ノ收穫ヲ得ナカツタ場合デモ、又タ其收穫ノ皆無ハ耕作怠慢ノ結果ナルト、天然ノ結果ナルトヲ問ハズ、地主ニ對シテハ近隣地ノ收穫ニ比較シテ相當ノ借貸ヲ拂ハナケレバナラナカツタ (§ 42)。此借貸ナルモノハ、當時ノ慣習カラ推測スレバ、自然經濟ノ法則ニ從テ、穀物ヲ以テ、期間ノ終リニ於テ、拂ハレタコトハ疑ヲ容レヌ (Kohler, S. 60)。若シ借地人ガ耕作ヲ怠ツタ場合ニハ、隣人ガ收穫シタルト同量ノ穀物ヲ、地主ニ支拂ハナケレバナラヌ、且ツ其土地ニ耕作ヲ加ヘテ、之ヲ地主ニ返還シナケレバナラヌ (§ 43)。

[バビロン]ニ於ケル土地ノ賃貸借ハ、極メテ短期間ニ於テノミ行ハレ、通常ハ一年ヲ以テ滿期トシテ居ツタ (Kohler, S. 60)。サレド開墾ニ適スル荒地ハ通常三年ノ期間ヲ以テ、賃貸借ガ行ハレ、四年目ニハ賃借人ハ其土地ヲ開墾シ、且ツ之ニ耕作ヲ加ヘ

テ、地主ニ返還ス可キモノデアツタ、而シテ賃借人即チ小作人ハ、其賃借中ハ土地拾[ガン]¹(Gan)ニ對シテ、穀物十[グル]¹(Gur)ヲ拂フコトガ、其毎年ノ義務デアツタ (§ 44)。Johnsノ譯文ニ從ヘバ、土地一 Gan ニ對シテ、穀物拾 Gur ノ小作料ト解セラレテアルガ、私ハ Harper ヤ Davies ナドノ說ニ從テ、土地十 Gan ニ對スル、小作料ト解シタ。一 Gan ノ土地ト云フノハ、吾約八千百六十坪ニ當ル。而シテ一 Gur ノ穀物ハ、吾約一石六斗八合ニ當ル。故ニ吾國ニ於ケル今日ノ小作料ナドニ比ブレバ、餘程負擔ノ輕イモノデアルコトハ想像ニ餘リアル。

地主ハ既ニ一定ノ賃料ヲ受領シテ、耕地ヲ他人ニ貸付ケタ場合ニハ、小作人ハ風雨等ノ不可抗力ノ爲メニ收穫皆無ナルモ、其損失ヲ負擔シナケレバナラヌ (§45)。斯種ノ原則ト慣習ハ現代文化國ニモ屢見ル例デアリ、吾現行民法二七四條ニモ此原則ガ掲ゲラレテアル(尤モ民法六〇九條ハ異ナル)。Davies ハ此原則ハ貧者ニ對抗シテ、富者ノ利益ヲ保護スルモノデアルト評シテ居ル (Evolution of Law Series I. p. 400)。尤モ法典ハ此原則ヲ緩和スル爲メニ、收穫ノ損失ヲ理由トシテ、耕地ノ轉貸又ハ債務ノ延期ヲ許ス規定ヲモ設ケテアル。

[バビロン]ニ於テ行ハレタ收益分配付ノ耕地ノ賃借 (Teilpacht)ニ於テハ、地主ハ一定ノ賃料ヲ受領シナイデ、收穫ノ二分ノ一又ハ三分ノ一ヲ取得ス可キモノデアツタ (§ 46)。普通ハ地主ガ小作人ト共同ニ勞働スル場合ニハ收益ハ兩人ニ折半セラレ、

地主ガ全然勞務ヲ供セザルトキハ、三分ノ一ノ收益ヲ得タ様デアル(Kohler, S. 60)。

小作人ハ第一年目ノ耕作ニ於テ、收支相償ハザルトキハ、其小作地ヲ他人ニ轉貸スルコトハ自由デアツタ。而シテ地主ハ轉借人ニ依テ耕作サレテ得タル收益カラ、直接ニ穀物ノ分配ヲ受ケル權ヲガアル (§ 47)。

III 不動産金融

〔バビロン〕ニハ耕地ヲ擔保ニ供シ、其地カラ收穫シタル、穀物ヲ以テ、債權ノ辨濟ニ充テル方法ヲ以テ、債務ヲ負擔スル慣習ガ行ハレタ。故ニ法典ニハ此場合ノ法律關係ニ付テ、特別ノ規定ガ設ケラレテアル。

耕地ヲ擔保トシテ、利息附ノ債務ヲ負擔シタル者ハ、風雨ノ爲メニ又ハ水害ノ爲メニ、其耕地カラ收穫ヲ得ナカツタ場合ニハ、其年ハ假令、辨濟期デアツテモ、元本モ利息モ辨濟スルコトヲ要シナイ、單ニ契約書ヲ改メテ延期ノ手續ヲ採レバヨイ (§ 48)。是レ前ニモ述ベタ通り、契約法理ガ書面主義デアル結果デアル。元來〔バビロン〕ニハ種々ナル典型ノ契約ガ行ハレテ、契約ハ總テ記錄ニ因テ爲サレナケレバナラナカツタ (Wigmore, Evolution I. p 388)。法律手續ヲ慣用シ、契約觀念ノ發達セル〔バビロン〕人ニハ、其等ノ手續ハ誠實ニ履行セラレタモノト思ハレル。

〔バビロン〕ニ於ケル消費貸借ハ所謂更正貸借 (Rückstandsdarlehen) ノ方法ニ因テ行ハレタモノガ仲々ニ多イ。即チ直接ノ貸

付カラ生ジタ債務デナク、他ノ法律關係例ヘバ雇傭契約ナドカラ生ジタ債務ヲ、消費貸借上ノ債務ニ更正スルコトガ流行シテ居ツタ (Kohler, S. 61)。[バビロン] 人ガ法律生活ニ慣レテ居ッタント、竝ビニ其契約法理ニ精通シテ居ツタコトナドハ、此等ノ事實ニ照シテモ明カデアロウ。

法典ハ債務ノ擔保ニ供シタ耕地ニ付テ、收穫ヲ爲ス權利ハ依然トシテ、債務者ニ存スルコトヲ認メテ居ルカラ、此擔保物權ハ一種ノ抵當權デアルコトハ明カデアル。[アツシリア] 時代及ビ新[バビロン] 時代ニ至リテハ、債權者ニ用益權ヲ認ムル土地ノ用益質 (Nutzpfland) モ行ハレタガ (Kohler, S. 63. 64.)、[ハンムラビ] 法典ニハ用益質ニ關スル一般ノ規定ハナイ。唯ダ果樹園ヲ擔保ニ供シタ場合ニハ、債權者ヲシテ收穫ヲ採取セシメテ、辨濟ニ充當スルコトモ多少行ハレタラシイ。蓋シ果實ノ採取ハ至テ簡單ニ行ハレルカラデアッタロウ。然シ債權者ニ於テハ、之ヲ採取スル義務ハ無カッタ。債權者ガ之ヲ肯ゼザルトキハ、債務者ニ於テ採取シタル上、之ヲ以テ辨濟ヲ爲サナケレバナラス。元利ヲ辨濟シタル殘額ノ收益ハ、其地ノ所有者タル債務者ノ所得デアルコトハ勿論ノコトデアル (§ X)。ローマ法制ニ於テハ、抵當權ハ質權ノ後ニ發達シタノデアルガ、[バビロン] 法制ニ於テハ其レト正反對ニナツテ居ル様ダ (拙著民法概論物權篇三二四頁以下參照)。

耕地ヲ擔保ニ供シテ、債權者ヲシテ耕作セシメ、其收穫ヲ債權

者ニ與フル約束ヲシテモ、債權者ハ當然ニ其收穫ヲ取得スルコトハ出來ヌ。其收穫ハ一旦ハ耕地ノ所有者ニ歸スル。而シテ法典ハ其收穫ヲ以テ、元利ノ支拂及ビ小作人ノ給養ノ爲メニ充當ス可キコトヲ命ジテ居ル (§ 49)。當時利息ハ通貨ヲ以テ支拂ハレタコトモアレド、最モ普通ニハ、穀物、果實、又ハ野菜ナドニテ拂ハレタ。其利率ハ一割乃至二割位ノモノデアツタ (Davies, p. 401)。之ヲ「アッシリア」時代ノ利率ニ比ブレバ、不動的デアツテ且ツ低率ノモノデアツタ。即チ「アッシリア」時代ニ於テハ、「バビロン」古代トハ異ナリ、利息制度ニ屢變遷ヲ來シ、四割、五割、乃至八割、十割ニモ及ビ、穀物利子ノ如キハ五割ヲ通常トシテ居ツタ (Kohler, S. 63)。之ヲ「ヘブリウ」立法ノ無利息主義ニ比ブレバ兩社會制度ノ間ニハ、著大ナル相違ノアツタコトヲモ認メナケレバナラス (Exodus 22:25; Deuteronomy 23:19, 20)。兩民族間ノ類似ノ制度ニ付テハ、學者ノ多ク注意スル所ナルモ、其間ノ相違點モ同時ニ注意サレナクテハナラス。

法典ハ未耕作地ヲ擔保ニ供シタ場合デモ、既耕作ノ土地ヲ擔保ニ供シタ場合デモ、其收穫ハ常ニ土地ノ所有者ノ權利ナリトスル主義ヲ採用シテ居ル。從テ債務者ハ單ニ辨濟ノ責ニ任ズル丈ケデ、收益權ガ債權者ニ移轉スルコトハ、全然之ヲ認メナイノデアル (§ 50)。

債務ノ辨濟ハ貨幣ヲ以テス可キ場合ニ於テモ、債務者ガ之ヲ有セザルトキハ、市場ノ價格ヲ以テ、穀物、果實、野菜等ヲ以テ、

辨濟スルコトヲ許サレタ (§ 51)。又タ債務者ハ辨濟ニ充ツ可キ、貨幣モ穀物ヲモ有セザル場合ニハ、持合セノ財物ヲ以テ、辨濟スルコトヲ許サレ、代物辨濟ノ範圍ハ極メテ廣汎ニ亘ツテ居ッタ (§ 52)。之レ自然經濟ノ法則ニ適合スル規定デアリ、近世ノ如キ貨幣經濟ノ法則トハ全く正反對ノモノデアル。蓋シ近世ノ法理ニ於テハ、辨濟ハ物ヲ以テス可キ場合ニ於テモ、結局ハ貨幣ヲ以テスルコトガ出來ルカラ。

農作ノ天然的損失ノ場合ニハ債務ノ延期ヲ認メラレルケレドモ (§ 48)、小作人ガ耕作ヲ等閑ニ附シタ場合ニハ、假令收穫ハ皆無ナルニモセヨ、債務者ハ之ヲ理由トシテ、辨濟ノ延期ヲ得ルコトハ出來ナカッタ (§ 52)。

IV. 治水ノ責任

天然ノ水利ヲ得テ産業ノ發達ヲ遂ゲタ、〔バビロン〕ニ於テハ、治水ノ責任ニ關シテ、特ニ法律ノ發達ヲ見ルコトハ當然デモアロウ。

法典ハ河岸地ノ所有者ニハ、治水ノ責任ヲ負ハシメテ、彼ガ其地ノ堤防ノ管理ヲ怠ツテ、耕地ニ浸水セシメタルトキハ、彼ハ穀物ノ損害ニ對シテハ賠償ノ責任ヲ負フモノト定メタ (§ 53)。法文ハ穀物ノ損傷ノ場合ヲ規定シテ居ルガ、果實、野菜ナドノ損傷ノ場合ニモ、此規定ガ適用サレタコトニ付テハ、前段屢述ベタ通り、例示式規定ノ性質ニ徴シテモ明カデアル。若シ彼ガ賠償ノ責任ヲ果スコトガ出來ナケレバ、彼ハ奴隸トシテ賣拂ハレ、又タ

彼レノ財産モ賣拂ハレル、而シテ洪水ノ被害者ハ其賣上代價カラ、賠償ヲ得ルコトガ出來ル (§ 54)。

灌漑ノ爲メニ溝渠ヲ開設シタル者ハ、溢水セシメヌ様ニ、溝渠ヲ管理スルノ責任ガアル。若シ溢水シテ耕地ニ損害ヲ生ゼシムルトキハ、彼ハ耕作ノ損害ニ對シテハ、近隣地ノ收穫ヲ標準トシテ、穀物ノ賠償ヲ爲サナケレバナラス (§ 55)。尙ホ法典ニハ一般ニ、失水ニ因テ耕作ニ損害ヲ及ボシタル場合ノ賠償額ヲ規定シテ居ル。即チ耕地十 *Gan* (吾約、八萬千六百坪)ニ對シテ、穀物十 *Gur* (吾約、十六石〇八升)ノ割合ヲ以テ賠償ス可キモノト定メテ居ル (§ 56)。此換算及ビ割合ニ付テハ開墾地ノ小作料ニ付テ述ベタ所ト同ジ (§ 44)。〔ヘブリウ〕立法ニハ溝渠ニ關スル規定ナク、一般ニ土地ニ坑穴ヲ堀ツタ者及ビ失火者ノ責任ニ關スル規定ナドガアル (Exodus 21:33 ; 22:6)。

V. 牧　畜

牧畜ハ〔バビロン〕人ノ生業トシテハ、農業ニ附帶シテ頗ル重要ノモノデアツタ。從テ法典ニハ牧地ノ制限ニ關スル規定ヲ掲ゲテ、牧畜ノ爲メニ他人ノ農作ヲ損傷スルコトヲ避ケシメ、之ト同時ニ一定ノ條件ノ下ニ、他人ノ耕地ヲ使用スルコトヲ許シテアル。

成熟セル穀物アル他人ノ耕地ニ於テ、其地主ノ許諾ヲ得ズシテ、放牧シタル者ハ、土地十 *Gan* (吾約、八萬千六百坪)ニ付キ、穀物二十 *Gur* (吾約三十二石一斗六升)ノ賠償ヲ爲サナケレバナラ

ス。是レ地主ノ減收ヲ填補スル程度ノ賠償ナレド (§ 57)、反之地主ガ收穫ノ全部ヲ失ツタ場合ニハ、此三倍ノ賠償ヲ爲サナケレバナラス (§ 58)。此賠償ヲ條件トスレバ、他人ノ土地ニ放牧スルコトハ、法典ノ默認スル所デアツテ、別ニ刑罰的制裁ナドノナカッタコトハ、此法典トシテハ牧畜ノ保護ニ意ヲ用キタ證據デアロウ。他人ノ土地ニ放牧シタ者ノ賠償責任ニ付テハ、¹「ヘブリウ」立法ニモ之ト對比ス可キ、僅カナル規定ガアル (Exodus 22:5)。

前掲ノ法典五七條及ビ五八條ニ付テ、嘗テ中田薫博士ノ解説セラレタ所ニ依レバ、法典ハ晝間ト夜間トニ付テ、賠償ノ範圍ヲ異ニスルガ如クナルモ (史學雜誌二四篇二號四五頁)、私ノ參照シタ法文即チ、Davies, Harper, Johns 諸氏ノモノニハ、斯様ノ文句ヲ見出スコトハ出来ナカッタ。又タ賠償ノ割合ニ付テモ然リデアル。博士ハ果シテ如何ナル資料ニ據テ、斯カル解説ヲ加ヘラレタモノデアルカハ、遺憾ナガラ知ルヲ得ナイ。

VI. 果樹園

法典ハ耕作地ノ外ニ、果樹園ニ關スル特別ノ規定ヲ設ケテ居ル。其内容ハ主トシテ果樹園ノ所有者ト、此園ヲ借入レテ栽培スル園夫トノ間ノ法律關係ヲ定ムルモノデアル。

果樹園ノ樹木ヲ園主ニ無斷ニ伐截スルトキハ、銀半 *Mina* (吾約三十圓) ヲ拂ハナケレバナラス (§ 59)。此規定ハ伐截シタル樹木ノ數量ニ依テ賠償額ニ差等ヲ生ズルコトヲ禁ジタモノトハ思ハレヌ。前ニモ屢述ベタ様ニ古代ノ法典ハ、例示式ニ解疑式ニ

出來テ居ルカラ、之ヲ實際ニ運用スル場合ニハ、其例ニ從テ適宜ノ參酌ヲ加ヘラレタモノラシイ。又タ此法文ハ果樹園ノ樹木伐截ヲ禁ズル形式ニテ規定サレテアルガ、一般ニ樹木ノ亂伐ヲ禁ズル爲メノ規定デアツタカモ知レヌ。〔ヘブリウ〕ニ於テハ、戰時ノ樹木伐截ヲ戒ムル規定ガアル(Deuteronomy 20:19-20)。此モ亦タ一般ノ樹木濫伐ヲ戒ムル爲メノ規定デアロウガ、特ニ戰時ノ場合ヲ例ニ引イテ記述シタモノデアルカモ知レヌ?

果樹ヲ栽培スル目的ヲ以テスル土地ノ賃借ハ、通常四年ノ期間ヲ以テ行ハレ、其四年間ハ收穫無ク、五年目ニ至リテ初メテ收穫ヲ見タモノラシイ。而シテ第五年目ノ收穫ハ地主ト園夫トガ、平分シテ之ヲ採取ス可キモノデアツタ (§60)、果樹ノ收穫ヲ保護スル爲メニ、之ト同様ノ立法ハ〔ヘブリウ〕規定ニモアツタ。即チ其レニヨルト、果樹ヲ植付ケタ當初三年間ハ收穫ヲ禁ジ、四年目ニハ若干ノ果樹ヲ收取シテ、之ヲ〔エホバ〕神前ニ供ヘ、第五年目カラ自由ノ收穫ヲ許スト云フノデアツタ (Leviticus 19:23-25; Deuteronomy 26:2)。吾現行民法ハ果實分離ノ時期ニ付テハ、何等ノ制限ヲ定メテ居ラス。從テ元物ヲ非經濟的ニ利用シ、又ハ元物ノ性質ヲ損傷スルガ如キ時期ニ、果實ヲ分離スルコトモ許シテアルコトニナル。此點ニ於テハ數千年前ノ其等ノ立法ノ方ガ寧ロ細心ノ注意ガ拂ハレテアツタコトガ解ル。

第五年目ノ收穫ハ地主ト園夫トガ、折半シテ各自直接ニ收取スルコトヲ得ルノデアルガ、若シ園夫ガ其借入レタ土地ノ一部

ニ、栽培ヲ爲サズ、之ヲ荒廢セシメタルトキハ、其部分ノ收穫缺損ハ園夫ノ所得部分ニ算入サレル (§ 61)。

果樹園ニスル目的ヲ以テ借入レタ土地ガ、寧ロ穀物ノ耕作ニ適スル場合ニハ、園夫ハ其土地ヲ耕作地ニ仕上ゲテ、之ヲ地主ニ返還ス可キモノデアル。若シ其耕作ヲ怠ルトキハ、園夫ハ其近隣地ノ收穫ヲ標準トシテ、賠償ノ責任ヲ負ハナケレバナラス (§ 62)。未開拓地ヲ耕地ニ仕上ゲル園夫ノ報酬トシテハ、土地十 *Gan* (吾約、八萬千六百坪)ニ付テ、毎年十 *Gur* (吾約、十六石八升)ノ穀物ガ給與サレナケレバナラス (§ 63)。

既成ノ果樹園ノ貸借ハ、通常ハ一定ノ賃料ヲ約定セズシテ、收益分配ノ約束ヲ以テ行ハレタ。此場合ニハ園夫ハ全收益ノ三分ノ二ヲ地主ニ與ヘ、殘餘ノ三分ノ一丈ケヲ自己ノ所得トシタ (§ 64)。若シ園夫ガ固有ノ注意ヲ用キザル爲メニ、收穫ヲ損失シタルトキハ、園夫ハ近隣者ノ收穫ヲ標準トシテ、地主ニ賠償ヲ爲ス責任ヲ負フ (§ 65)。

VII. 住居ノ貸借

「バビロン」ニ於テハ各人ハ必ズシモ、其所有家屋ニ住居シタモノデハナカツタ。從テ住居ノ賃貸借ハ日常ノ慣行デモアツタ。殊ニ都會地ニ於テハ、利殖ノ目的ヲ以テ、貸家ヲ多數ニ築造スル者モアツタ。賃料ハ其一部ヲ期間ノ始ニ取立テ、殘賃ハ期間ノ滿了時ニ支拂ハレルノガ普通デアツタ。賃料計算方法ハ年割拂デアツタ。尤モ新「バビロン」時代ニハ半年拂ニナツタ。尙ホ祝

日ナドニハ所定ノ賃料ノ外ニ、借家人ガ特別ナ給付義務ヲ負ハセラレル慣例モアツタ。就中、宗教家ナドカラ、家屋ヲ賃借シタ場合ニ其例ガ多カッタラシイ (Kohler, S. 60. 65)。〔ハンムラビ〕時代ニ於テハ全期間ノ賃料ヲ前拂スル、住居ノ貸借モ流行シタモノト見エ、法典ニハ特ニ満期前ニ其住居ノ明渡ヲ要求スル家主ハ、賃料ノ割戻ヲシナケレバナラヌコトヲ定メテ居ル (§ Y)。尙ホ法典ニハ住居貸借ノ法律關係ヲ定ムル條文モアツタラシイガ、石塔法ニハ缺文ニナツテ居リ、未ダニ新規ノ發見モナイノデ、詳細ノ法理ハ遺憾ナガラ解ラナイ。

第七節 商 取 引

I. 序 言

〔バビロン〕ニ於ケル商業ノ發達、殊ニ行商ノ盛ンデアツタコトハ、此法典ニ徴シテモ明カデアル。法典ニハ大商人ト小商人就中行商人トノ法律關係ノ規定ガアル (§ §100-107)。缺文ニナツテ居ル九十九條以前ニモ商取引ニ關スル何等カノ規定ガアツタモノカモ知レヌガ、其レハ今日ノ所デハ解ラナイ。

II. 給 資

新〔バビロン〕時代ニ至テカラハ、商業上ノ資本ヲ供給スル者ト、之ヲ受ケテ行商ニ従事スル者トノ間ニハ、商益ヲ折半スル組織ノ下ニ、組合制度 (Institut der Kommenda) ガ行ハレテ居ツタ (Kohler, S. 64)。此制度ノ根柢ハ既ニ〔ハンムラビ〕法典ニモ存

スルコトヲ認メ得ル。——

小商人 (Handler) ハ大商人 (Groszkaufmann) カラ、商業資本ノ供給ヲ受ケタ場合ニハ、之ヲ後日ノ爲メニ記録シテ置カナケレバナラス。而シテ期限ノ到來シタ場合ニハ、利息ヲ附ケテ支拂ハナケレバナラス (§ 100)。新「バビロン」時代ニ至リテ、商業帳簿ノ制度ガ發達シテ居ツタコトハ、屢法律史家ノ説ク所デアルガ (Kohler, S. 64)、¹「ハンムラビ」時代ニモ複雑ナル商取引ヲ處理スル必要上、商業帳簿ノ制度ハ既ニ其端緒ヲ開イテ居ツタラシイ。

若シ小商人ガ行商ヲ試ミテ、失敗シタルトキハ、大商人カラ供給ヲ受ケタ資本ヲ、二倍ニシテ返還シナケレバナラス (§101)。又タ大商人カラ投資ヲ得タ小商人ハ、其旅行中ニ災厄ニ出會シタ場合ニハ、其得タル投資ノ額丈ケヲ、返還スレバ宜イ (§ 102)。即チ實損賠償主義ニ據ツタノデアル。又タ小商人ガ其旅行中ニ、携帶セル商品ニ付テ、盜難ニ罹ツタ場合ニハ、彼ハ神前ニ於テ其被害ヲ誓約シテ、大商人ニ對シテ免責サレルコトガ出來ル。此場合ニハ其損害ハ大商人ノ負擔ニ歸スル (§ 103)。

III. 清 算

大商人ト小商人トノ間ニ卸賣買ガ行ハレル場合ニハ、後日ノ爭議ヲ避ケル爲メニ、法典ハ互ニ證書ヲ交換シ置ク可キコトヲ命ジテ居ル。即チ法典ニハ小商人ハ貨物ノ受領證書ヲ交付シ、大商人ハ代價ノ受領證書ヲ交付ス可キコトヲ定メテアル (§104)。若シ小商人ガ其支拂ツタ代價ノ受領證書ヲ、取得スルコトヲ怠

レバ、其受領證書ヲ有セザル額ニ付テハ、清算カラ排除サレテ
結局二重拂ヲシナケレバナラスコトニナル (§ 105)。

IV. 爭議ノ決裁

商人間ノ貸借爭議ガ屢起リ、之ヲ決裁スルコトハ爲政者ノ苦心シタ所デアロウ。法典ハ大膽ニモ神意裁判ニ因テ、敗訴者ニハ懲罰的賠償責任ヲ負ハシメテ居ル。即チ小商人ガ大商人カラ、金錢ヲ借リテ、之ヲ爭フモノトスルトキハ、大商人ハ神ト證人ノ面前(公開法廷)ニ於テ訴求シ、其結果、小商人ガ敗訴スルトキハ、債務額ノ三倍ヲ支拂ハナケレバナラスト定メテアル (§ 106)。反之、大商人ガ既ニ辨濟ヲ受ケタルニ、之ヲ否認シテ二重ノ要求ヲ爲スモノトスルトキハ、小商人カラ前段ノ如キ訴ヲ起シ、而シテ大商人ガ敗訴スルトキハ、其要求シタル額ノ六倍ヲ、小商人ニ支拂ハナケレバナラス (§ 107)。

此等ノ規定モ屢述ベタ様ニ、法文ノ形式ハ大商人ト小商人トノ貸借爭議ノ規定デアルガ、其運用ハ更ニ汎ク行ハレタモノラシイ。

第八節 居酒屋

I. 序 言

「バビロン」ニハ居酒屋業 (Schankwirtschaft, tavern-keeper, beer-shop, wine-seller) ガ流行シテ居ツタ。其營業ハ多ク婦人ノ手ニ依テ經營サレテ居ツタ (Ungnad, S. 42)。「ヘブリウ」ニモ此

營業ガ行ハレ、屢風儀ヲ害スル行爲モ行ハレタラシイ (Joshua 2:1ff)。[バビロン]ニ於テモ其間ニ爭議ヲ生ジ、風儀ヲ亂シ、秩序ヲ破ル者モ頻出シタモノト見エ、法典ハ特ニ此等ノ點ニ留意シタル立法ヲ試ミテ居ル (§ 108-111)。

II. 支 拂

穀物ハ[バビロン]ニ於ケル最モ重要ナル生活資料デアリ、諸般ノ取引ヲ決済スルニハ、殆ント通貨トシテ、強制通用力ヲ有シテ居ツタ。從テ居酒屋ガ飲代トシテ支拂ハルル穀物ノ受領ヲ拒ミ、殊ニ銀ヲ要求シ、又ハ銀ノ價值ヲ穀物ノ價值ニ比ベテ甚ダシク低價ニ見積リタルトキハ、彼ハ水中ニ投棄セラレル (§ 108)。斯ノ嚴重ナ刑ヲ以テ禁ズルカラニハ、當時居酒屋ナルモノハ餘程ノ暴利ヲ貪ツテ居ツタモノデアロウ (Davies, *Evolution*, p. 408)。水刑ノ規定ハ此法典ニハ可ナリ多イ。即チ一二九條、一三三條、一四三條、一五五條等ニモアル。又タ水ニ據テ罪ノ有無ヲ決スルト云フ考ノ行ハレタコトモアルコトハ前ニモ述ベタ (§ 2)。水ノ影響ヲ受ケツ、發達シタル[バビロン]人ノ、法律生活トシテハ、サモアル可キコトデアロウ。

又タ[バビロン]ノ農民ニハ、收穫期ニ代價ノ支拂ヲ爲ス約束ヲ以テ、居酒屋カラ酒類ノ供給ヲ受ケル習慣ガアツタ。法典ハ此場合ノ代價ヲ公定スル爲メニ、一ノ標準規定ヲ設ケテ居ル。即チ[ウサ・カニ] (*Usa-kani*)、六十[カ] (*Ka*) ノ代價トシテハ、穀物五十[カ]ヲ支拂フ可キモノトシテ居ル (§ 111)。一 *Ka* ハ吾約五合

五勺餘ニ當ル。〔ウサ・カニ〕ト云フノハ、當時ノ極上〔ビール〕デア
ルトモ言ハレル (Davies, p. 408 ; Johns, p. 52)。

III. 取 締

居酒屋ニ暴徒ガ集合シタル場合ニハ、之ヲ逮捕シテ法官ニ引
渡スコトハ、居酒屋ノ責任デアッタ。之ヲ怠レバ居酒屋ハ死刑
ニ處セラレル (§109)。是レ頗ル嚴酷ノ制裁デアル。以テ如何ニ
當時ノ居酒屋ハ暴徒ノ集合所ト化シ易イモノデアツタカ、且ツ
〔ハンムラビ〕王ガ如何ニ之ヲ恐怖シ警戒シテ居ツタカト云フ様
ナ點ガ推量サレル。

尼寺 (*Mal-ge-a*) ニ居住セザル尼ガ、酒場ヲ開張シ、又ハ飲酒ノ
目的ヲ以テ、酒場ニ入ルトキハ燒殺セラレル (§ 110)。是レ尼ノ
品性ヲ崇高ナラシメル爲メノ立法デアッタロウ。社會風儀ヲ清
クスル爲メニ、燒殺刑ヲ用フルコトハ、〔イスラエル〕ニモ行ハレ
タコトデアル (Leviticus 20:14 ; 21:9)。

第九節 寄 託 其 他

I. 運送品ノ寄託

物品ノ運送ヲ委託サレタ者ガ、之ヲ誠實ニ運送セズ、私用ニ供
シタ場合ハ、法官ニ訴ヘラレテ、運送品ノ五倍ノ賠償ヲ爲サナケ
レバナラヌ (§112)。ヘブリウ立法ニ於テハ此種ノ場合ニハ、五
分ノ一ノ賠償ヲ附ケテ、原物ヲ返還ス可キ旨ヲ定メテ居ル (Lev-
iticus 6:2-5)。法典ニハ賠償ニ關スル規定ガ掲ゲラレテアル丈

ケダガ、實際ハ賠償ノ外ニ、刑罰モ科セラレタモノデハアルマイカト思ハレル。

II. 穀物貯藏ノ寄託

或人ガ他人ノ家屋内ニ自己ノ穀物ヲ貯藏スル場合ニ、穀物ノ損傷數量等ニ付テ、兩人ノ間ニ爭議ヲ生ズルコトガアル。此場合ニ穀物ノ所有者ガ、公開法廷ニ於テ宣誓シテ、穀物ノ要求ヲ爲ストキハ、家屋所有者ハ其穀物ノ二倍ヲ賠償シナケレバナラス (§ 120)。斯クノ如キ方法ニテ、果シテ眞實ニ合スル審判ヲ得ラレタモノデアルカ否カニ付テハ疑ハシイガ、古代民ハ案外ニ質朴デアツテ、神前ト心得ラレタ公開廷ニ於ケル宣誓ノ結果ハ、豫想外ニ眞實ノ發見ガ達セラレタモノカモ知レス。

他人ノ家屋内ニ穀物ヲ貯藏スル者ハ、年毎ニ穀物一 *Gur* (吾約一石六斗八合)ノ貯藏料トシテ、穀物五 *Ka* (吾約、二升七合五勺)ヲ拂ハナケレバナラヌ (§ 121)。

III. 寄託ノ方式

寄託契約ハ數人ノ證人ニ寄託品ヲ示シテ、證人立會ノ下ニ締結スルカ、又ハ寄託證文ヲ認メタ上ニ締結サル可キモノデアツタ (§ 122)。若シ其何レノ方式ニモ據ラズシテ契約ヲ締結シ、後日其契約ニ關シテ爭ヲ生ズルトキハ、寄託者ハ何等ノ訴權ヲモ有シナイ (§ 123)。

既ニ證人ノ面前ニ於テ寄託契約ヲ締結シタルニ、後日受託者ガ之ヲ否認スルトキハ、彼ハ法廷ニ於テ審問ヲ受ケナケレバナ

ラス。而シテ其有責ト決シタ場合ニハ、其否認シタル受託物ノ二倍ノ賠償ヲ爲サナケレバナラス (§ 124)。Davies ノ譯文ニ依レバ、此賠償額ハ原價丈ケトアルモ、私ハ Harper ヤ Johns ナドノ譯文ニ從テ二倍ノ賠償ト了解シタ。

IV. 寄託物ノ盜難

寄託物ガ盜難ニ罹ツタ場合ニハ、受寄者ハ盜難物ニ追及シテ、其發見ヲ努メ、之ヲ盜賊カラ取戻ス責任ガアル。受寄者ガ之ヲ取戻スコトガ出來ヌ場合ニハ、自ラ受寄物ノ全額ヲ賠償シナケレバナラス (§ 125)。^{〔ヘブリウ〕}立法ニ於テモ之ト類似ノ場合ヲ規定シテ居ル。唯ダ其規定ノ内容ニ至テハ、著シク相違シ、^{〔ヘブリウ〕}立法ハ盜人ノ現ハレタ場合ニハ、之ヲシテ二倍ノ賠償ヲ爲サシム可キコト、及ビ盜人ノ現ハレザル場合ニハ、受託者ニ付テ盜難ノ眞否ヲ確ムルコトナドノ規定ニカツテ居ル (Exodus 22: 7-8)。

何物ヲモ失ハザルニ失ヒタリトシテ訴ヲ起ス者ハ、請求額ノ二倍ヲ賠償シナケレバナラス (§ 126)。賠償額ノ二倍ナルコトニ付テハ、私ハ Harper ヤ Johns ナドノ譯文ニ從ツタノデアル。又タ之ト同様ノ規定ハ^{〔ヘブリウ〕}立法ニモアツテ、ヤハリ二倍ト云フコトニカツテ居ル (Exodus 22:9)。サレド Davies ハ 之ニ反對シテ、單ニ全額ノ賠償ヲ爲セバ宜イノダト解シテ居ル (Davies, Evolution, I. p. 412)。

第十節 債權ノ實行

I. 私力執行

前ニモ述べタ様ニ、^{〔バビロン〕}ニ於テハ、穀物ノ債權ハ勿論、銀錢債權ニモ、其辨濟ハ穀物ヲ以テスルノガ普通デアツタ。法典ハ此場合ノ私力執行ヲ禁ジテ居ル。即チ債權者ハ債務者ノ穀物倉又ハ納屋ニ臨ンデ、穀物ヲ取立テルコトハ許サレス。若シ之ニ反シテ取立テタ場合ハ、之ヲ返還ス可キハ勿論債權ヲモ喪失スル (§ 113)。此規定カラ見ルモ、當時、^{〔バビロン〕}ニ於テハ債權者ガ私力執行ヲ爲シテ、債務ヲ取立テルコトガ行ハレテ居ツタコトヲ推量シ得ル。唯ダ穀物ノ如キハ數量ニ付テ、爭議ヲ生ジ易イカラ、法典ハ其爭議ヲ絶ツ爲メニ、私力執行ヲ此事件ニ限ツテ、禁ジタモノデアロウ。此他ノ場合殊ニ債務者其他ノ者ノ身體ニ對シテハ、私力執行ハ公認サレテ居ツタ(後段參照)。

II. 人的執行

^{〔バビロン〕}ニハ辨償ノ代價トシテ、債務者又ハ其家族若シクハ奴隸ナドヲ、債務奴 (Schuldknecht) トシテ、債權者ニ引渡スコトガ行ハレタ。固ヨリ私力ヲ以テ受授セラレタモノデアロウ。又タ私力ヲ以テ勞務ニ服セシメラレタモノデアロウ。即チ多クノ古代民族ノ慣例ニ洩レズ、人的執行 (Personalvollstreckung) ガ行ハレタ。債權ヲ有セザル者ガ、此執行ヲ爲ストキハ、各事件ニ付テ罰トシテ銀三分ノ一 *Mina* (吾約二十圓) ヲ、支拂ハナケレバナ

ヲヌ (§ 114)。反之、實際債權ヲ有スル者ニ質人ニ取ラレテ、債權者ノ家ニ於テ勞役ニ服シ、其者ガ自然ニ死亡スルモ固ヨリ債權者ニハ何等ノ責任モナイ (§ 115)。勞務ニ服セシメテ、債務ヲ償却スル爲メニ、債權者ニ引渡サレテアル奴隸ハ、之ヲ債權者ニ於テ賣却シテモ、債務者ハ異議ヲ述ベルコトハ出來ヌ (§ 118)。

III. 債權者ノ責任

債權者ガ質人ニ凌辱ヲ加ヘ又ハ之ヲ虐待シテ死亡セシメタ場合ニハ、其質人ガ平民ノ子ナルトキハ、債權者ノ子ガ死刑ニ處セラレ、若シ其質人ガ奴隸ナルトキハ、奴隸主ニ銀三分ノ一 *Mina* (吾約二十圓)ヲ支拂ハナケレバナラナカツタ。且ツ債權者ハ其債權ヲ喪失スル (§ 116)。斯クノ如ク子ニ對スル罪ヲ子ニ讐ヒ、又ハ眼ニ對スル罪ヲ眼ニ讐ヒ、齒ニ對スル罪ヲ齒ニ讐ヒルトイフ様ナ反讐制 (Lex talionis, Talionsbestimmung) ハ古代民族ニハ宜ク行ハレタモノデアル。又タ家庭ノ一員ノ罪ガ家庭全員ノ責任ニ歸スルトイフ様ナ觀念モ、古代民族ニハ珍ラシイコトデハナイ (Davies, *Evolution of Law Series*, I p 409, Kohler, *Allgemeine Rechtsgeschichte*, S. 71)。サレド〔ヘブリウ〕ノ人道的ナ立法ニ於テハ、犯人以外ノ者ニ刑ノ及ブコト丈ケハ、之ヲ立派ニ禁ジテ居ル。即チ父ハ子ノ爲メニ殺サル可カラズ、子ハ父ノ爲メニ殺サル可カラズ、唯ダ各人ハ自己ノ罪ニ依リテノミ、殺サル可シ云々トアル (Deuteronomy 24:16)。

IV. 債務奴ノ解放

勞役ニ依テ債務ヲ償却スル爲メニ、債權者ニ引渡サレタ債務奴ハ、三年間債權者ノ家ニ於テ勞務ニ服スレバ、四年目ニハ解放サレル (§ 117)。[ヘブリウ]ニ於テハ六年間勞役ニ服シテ、七年目ニハ解放サル可キ旨ノ規定ニナツテ居ル (Exodus 21:2 ; Deuteronomy 15:12)。兩法ハ年數ニ相違アルノミニシテ、奴隸保護ノ精神ニ至ツテハ同一デアツタ。

若シ女ノ債務奴ガ服役中、子ヲ産ンダ場合ニハ、債務者ハ債務ヲ辨濟シテ、其奴隸ヲ身請シナケレバナラス (§ 119)。此規定ハ債權者ヲ保護スル爲メノ規定ト云フヨリハ、寧ロ債務奴及ビ其子ヲ保護スル爲メノ規定デアソタラシイ。債務奴ガ債權者ト通ジタ爲メニ子ヲ産ンダ場合ニハ此規定ハ適用サレナイ。其場合ニハ子ハ相續權モアル (後段參照)。

V. 保證制度

ハンムラビ法典ニハ債權ノ保證制度ニ關スル規定ハ現ハレテ居ラス。サレド古[バビロン]ニ於ケル保證制度ハ特異ノ發達ヲ遂ゲタモノデアツテ、法律家ノ興味ヲ深クスルモノガアル。即チ其保證制度ニハ大略三類ノ制度ガアツタ。第一類ノ保證制度ト見ル可キモノハ、保證人ハ債務者ニ代テ、一切ノ責任ヲ負擔スルモノデアツテ、從テ債務者ハ殆ント免責サレタ様ナ結果ヲ呈スルモノdeal (代位保證)。第二類ノ保證制度ニ至テハ、債務者ニ一定ノ時期ヲ定メテ責任ヲ負ハセ、債務者ガ其責任ヲ果ザル場合ニ、保證人ガ其責ニ任ズルコトニナル (満期保證)。更

ニ第三類ノ保證制度ニ至レバ、保證人が責任ヲ負フコトハ、債務者ヲ免責スルモノデハナク、債務者ニ附帶シテ責任ヲ負フモノデアリ、然シ債務者ニ代ヘテ責任ヲ負フモノデハナカツタ。即チ保證人ハ從タル責任ヲ負フモノニ外ナラヌガ、其内容ニ於テハ結局、債務者ト保證人トノ間ニ、責任ノ分擔ガ行ハレタ(附帶保證、分擔保證)。斯クノ如ク古「バビロン」ニ於テハ様々ノ保證制度ガ行ハレタガ、「アツシリア」時代ニ至テハ全く近世式ノ保證制度ニ進化シテ來タ(Kohler, S. 59)。

第十一節 婚 姻

I. 婚姻ノ成立

古代「バビロン」ニ於テハ一妻多夫制(Vielmannerei, Polygamie.)ノ行ハレタ遺跡モアレド、紀元前四千年ノ頃、「スメリア」文化ノ影響ヲ受ケテ、「ラガシ」帝國時代ニ既ニ禁斷サレテ居ツタ(Kohler, S. 57)。而シテ「ハンムラビ」法典ニ至テハ却テ正妻(Hauptfrau)ノ外ニ、權妻(Nebenfrau)ヲモ認メテ居リ、事實ニ於テハ、一夫多妻制ガ一部ノ社會ニ行ハレテ居ツタ。吾國ノ現在ニ於テモ一夫多妻ハ一部ノ社會ニハ事實上行ハレテ居ル、法律モ之ヲ默認スル様ニ出來テアルコトハ注意ス可キコトデアロウ。

結婚ノ風習ハ異族婚(Exogamy)デアツタカ、同族婚(Endogamy)デアツタカ明カナ痕跡ハ得ラレナイ(Wigmore, Evolution of Law Series, I.p.388)。唯ダ法典ニハ後段ニ述ブル様ニ、親族相

姦ヲ禁ジテ居ソタカラ、此民族ノ間ニ認メラレタ道德觀念カラ、推測スレバ、同族婚ハ嫌ハレタモノデアロウト思フ。

婚姻ハ〔スメリア〕文明ヲ經テ、〔バビロン〕文明ノ發達シタル後モ、依然トシテ婦人賣買 (Frauenkauf) ノ方法ヲ以テ行ハレタ。其婦人ノ代價 (*Hirhatu, Tirhatu*.) ナルモノハ、通常約一 *Mina* (吾約、六十圓) デアツテ、婦人ノ父ニ拂ハレルノデアツタ (Kohler, S. 58)。此價額ハ當時ノ物價、賃銀其他ノ經濟價值 (後段參照) カラ見レバ、餘程高價ノモノデアリ、三人位ノ奴隸ヲ買入レ得ル價額ノモノデアツタ様ニ思ハレル。

ハンムラビ法典ハ其古代ノ法律トシテハ、婦人ノ地位ヲ尊重シテ居ルモノデアル。從テ妻ノ自由意思ヲ害スル婚姻ノ結バレルコトヲ制スル爲メニ、法典ハ婦人トノ自由契約ヲ以テシナケレバ、之ヲ娶ツテモ正妻トスルコトハ出來ヌト云フ規定ヲ掲ゲテ居ル (§ 128)。此規定ハ〔ハンムラビ〕王ノ社會風儀改善ノ理想ヲ表明シタモノデアソタロウ。又タ婚姻ノ神聖ヲ侵ス者ヲ禁斷スル立法ノ目的カラ來タモノデモアロウ (Davies, p. 412)。

然シ當時ノ事情カラ推量スレバ、此規定ハ果シテ誠實ニ行ハレタモノデアルカ否カニ付テハ、疑フ可キ點が多イ。或ハ單ニ王ノ一理想ニ終ツタモノカモ知レス。

II. 夫ノ失喪

當時四周ノ民族ニハ尙ホ爭鬭絶エナカソタカラ、法典ニ於テモ其場合ヲ顧慮シタル規定ヲ各所ニ置イテアル。夫婦生活ノ保

護ニ付テモ、其點ニ注意ノ拂ハレタ規定ガアル。――

夫ガ敵手ノ捕虜トナツテモ、其留守家ニ、妻ガ生活スル丈ケノ食料其他ノ給養ノ資力アルトキハ、妻ハ不身持ナルコトヲシテハナラス、又タ他人ニ嫁スルコトモ出来ヌ、若シ之ニ違背スレバ其婦人ハ法律上姦通ノ場合ト同ジク、刑罰ニ處セラレ、水中ニ投棄セラレル (§ 133)。尤モ其留守家ニ食料ヲ得ル資源ガ無ケレバ、其婦人ハ他人ト婚姻スルコトヲ許サレル (§ 134)。

此再婚ヲ爲シタ場合ニ於テ、先夫ガ歸來スレバ、其婦人ハ先夫ノ妻トシテ從ハナケレバナラス、而シテ後夫トノ間ニ子供ヲ生ンデアル場合ハ、其子供ハ後夫ノ許ニ養ハレナケレバナラス (§ 135)。

夫ガ其故郷ヲ捨テ、逃亡スレバ、妻ハ他人ト結婚スルコトガ出来ル、而シテ後日先夫ガ歸來シテモ、其婦人ハ先夫ノ許ニ歸依スル義務ハナイ (§ 136)。

III. 淫行其他

妻ガ他人ト姦通シタルトキハ、其姦通シタル兩人ハ、捕縛シテ水中ニ投棄セラレル。尤モ其夫ガ妻ヲ宥恕シ又ハ國王ガ下男ノ姦通シタル場合ニ、之ヲ免赦スル場合ハ此限デハナイ (§ 129)。是レ一種ノ親告罪ノ思想ト見ルコトモ出来ヨウ。〔ヘブリウ〕立法ニハ夫ノ宥恕、王ノ赦免ニ關スル規定ハ無イ。唯ダ僅カナル事例ニハ夫ガ妻ヲ宥恕シタルコトモアル様ダ (Hosea 1-2)。〔ヘブリウ〕ニ於テモ姦通シタル兩人ヲ共ニ死刑ニ處スルコトニ於

テハ、此法典ト同一デアル (Leviticus 20:10 ; Deuteronomy 22:22)。

婚約ヲ結ンダ處女ヲ強姦シテ、其實行中ニ捕ハレタ者ハ、死刑ニ處セラレ、其女ハ放免サレル (§ 130)。^{〔ヘブリウ〕}法モ同様ニ婚約セル婦人ヲ強姦スレバ、其男ノミヲ死刑ニ處シ (Deuteronomy 22:25)、且ツ其男ハ女ノ父ニ銀五十^{〔シケル〕}ヲ支拂ツテ、其女ヲ娶リ之ヲ一生ノ妻トス可キ旨ヲ定メテ居ル (Deuteronomy 22:25, 28, 29.)。是等ノ規定ニ依テ見レバ、古代、是等ノ地方デハ少女ノ時カラ婚約ヲ結ブコトガ流行シタモノカモ知レス (Davies, *Evolution*, p. 413)。

夫カラ姦通ノ嫌疑ヲ受ケタ妻ガ其名譽ヲ回復スル爲メニハ、妻ハ其無實ヲ宣誓シテ、夫ト離縁シテ實家ニ歸ルコトガ出來ル (§ 131)。^{〔イスラエル〕}ニ於テハ此種ノ場合ニハ、夫ハ其罰トシテ銀百^{〔シケル〕}ヲ、其女ノ父ニ支拂ツテ其女ヲ一生ノ妻トシナケレバナラスコトアル (Deuteronomy 22:19)。

人ノ妻ガ他人ト姦通シタルコトノ風説ガ生ジタ場合ニハ、其妻ハ自分ノ無罪ヲ立證シ、夫ニ満足ヲ與フル爲メニハ、聖河ニ飛込ンデ河ノ裁判 (Justice of the river-god) ヲ受ケナケレバナラス (§ 132)。^{〔ヘブリウ〕}法ニ於テモ、之ニ類シタ裁判ヲ認メテ、所謂苦水 (Water of bitterness) ヲ婦人ニ飲マシメテ、其反應ニ因テ婦人行跡ヲ判斷ス可シト云フコトガアル (Numbers 5:14—)。

尼又ハ人ノ妻ニ對シテ姦通等ノ非行ヲ舉グル者ハ、法官ノ面

前ニ於テ之ヲ立證スルノ責任ガアル。若シ彼ガ其立證ヲ爲スコトガ出来ヌ場合ニハ、前額ニ烙印ヲ押サレル (§ 127)。此刑ノ執行ハ如何ニ行ハレタモノデアルカニ付テハ疑ガアル。〔前額ニ烙印ヲ押ス〕 (“branded on his forehead”) ト云フコトハ、單ニ〔眉毛ヲ剪ミ切ルコト〕 (“to shear the brow”) デアルトモ解セラレル (Davies, p. 412)。此他ノ場合ニモ “Brand” ハ屢 “Shave” (剃ル) ヲ意味スルモノノ様デアル。蓋シ毛髮ヲ短ク切ルコトハ奪位ノ徴表デアツタカラ、此刑ノ執行ハ或ハ斯様ナ方法デ行ハレタモノカモ知レヌ (Johns, p. 41)。

IV. 離 婚

妻ノ方カラ離婚スルコトハ法律ニ許サレテアル場合 (§§ 134-136, 131, 142, 其他) ニ限ルモ、夫ノ方カラ離婚スルコトハ極メテ自由デアツタ。即チ夫ハ何等ノ理由ナシ (妻ニ過責ナシ) ニモ、離婚スル權利ヲ有シテ居ツタ。唯ダ妻子ノ生活資料ヲ拂ハナケレバナラスト云フ様ナ制限ガ生ズル。――

夫ハ其子ヲ生ンダ妻ヲ離縁スル場合ニハ、妻ガ結婚ノ際ニ其父ノ家カラ持參セル嫁資 (*Seriktu*) ヲ返還シ、且ツ子供ヲ養育スルニ足リル丈ケノ財産ヲ與ヘナケレバナラスト。而シテ彼女ハ其財産ヲ以テ子供ヲ養育スル責任ガアル。其養育ヲ終リタル上ハ、彼女ハ子供ト共ニ其殘餘ノ財産ヲ分配シ、然ル後、他ノ男ヲ求め、之ト結婚スルコトガ出来ル (§ 137)。此原則ハ正妻ヲ離縁スル場合ト、權妻ヲ離縁スル場合トニ共通ニ適用サレタ (§ 137)。

又タ夫ガ其子供ヲ生マザル妻ヲ離縁スル場合ニハ、前掲場合ノ如クニ妻ノ嫁資ヲ返還スル外、結婚ノ際ニ妻タル可キ者ノ父ニ支拂ツタ、求婚資(*Hilchtu*)ト同額ノ財産ヲ、妻ニ給與シナケレバナラス (§ 138)。此規定ハ離婚原因トシテハ妻ノ不妊ナルコトヲ要件トスルモノト解スル者モアレド(Davies, p. 415)、私ハ此推論ニハ賛成シナイ。此法典ハ夫ガ妻ヲ離縁スルニ付テハ、何等ノ原因ヲ要メテ居ラス。自由ニ離縁スルコトヲ許シテ居ル。前條 (§ 137) モ、次條 (§ 139) モ亦タ斯様ニ規定サレテアル。唯ダ離縁ノ方法ニ付テ制限ヲ加ヘテアル丈ケダ。若シ求婚資(婦人代)ヲ支拂ハズニ爲サレタ結婚ナルトキハ、夫ハ銀一 *Mina* (吾約六十圓)ヲ妻ニ與ヘテ、離縁スルコトガ出來ル (§ 139)。尤モ夫ガ平民ナルトキハ、其額ハ三分ノ一ニテ足リル (§ 140)。

V. 妻ノ非行

夫ノ家ニ居住スル妻ガ其家ヲ去ルコトヲ決心シテ、浪費ヲ用キ、一家ヲ荒廢セシメ、夫ヲ愚弄スルガ如キコトアルトキハ、夫ハ嫁資ヲ返還スルコトモ要セズ且ツ何物ヲモ與フルコトヲ要セズシテ、無條件ニ其妻ヲ離縁スルコトヲ得ル。又タ夫ハ此場合ニハ他ノ妻ヲ娶リテ、前妻ヲ下女トシテ其家ニ服役セシムルコトモ出來ル (§ 141)。尙ホ法文ニハ此場合ニハ彼女ヲ告訴ス可キ旨ヲ定メテ居ルカラ、法官ハ如何ナル制裁カラ、其妻ニ加ヘタモノデアルカモ知レス。其制裁ノ内容ハ法官ノ自由裁量ヲ以テ決シタモノデアロウ。[ヘブリウ]法ニ於テモ此種ノ場合ニハ、夫

ハ無條件ニ離縁ヲ爲ス權利ヲ有スルコトヲ認メテ居ル。唯ダ其妻ニ再婚ヲ許ス爲メニカ、其場合ニハ夫ハ妻ニ離縁狀 (Bill of Divorcement) ヲ交付ス可キコトヲ定メテ居ル (Deuteronomy 24: 1ff)。〔ハンムラビ¹〕法典ニハ離縁狀ノコトハ規定シテナイ。而シテ再婚ヲ許ストモ、許サストモ規定シテナイ。尤モ法典ハ、他ノ場合ニ付テ、妻ノ再婚ハ法官ノ許可ヲ得テ爲ス可キ旨ノ原則ヲ掲ゲテ居ルカラ (§ 177 後段詳説)、或ハ其方法ニ據ツタモノカモ知レス。

妻ガ夫ト喧嘩シテ、同居ヲ拒ムトキハ、夫婦ノ平常ノ素行ヲ調査シテ、若シ妻ニ過責ナク、夫ガ諸所ヲ漂浪シ、妻ヲ愚弄シタル場合ニハ、妻ハ嫁資ヲ取テ、離縁ヲ爲シ、其實父ノ家ニ歸還スルコトガ出來ル (§ 142)。反之、若シ妻ガ思慮ナク、流浪シ、贅澤ヲナシ、夫ヲ愚弄シタル場合ニハ、妻ヲ水中ニ投棄ス可キコトニナル (§ 143)。〔スメリア〕時代ノ一立法ニ徴スレバ、妻ガ夫ヲ嫌ヒ、同居ヲ拒ムトキハ、妻ハ河ニ投ゼラレ、夫ガ妻ニ對シテ同一ノコトヲ爲セバ、銀半 Mina (吾約三十圓) ヲ支拂ハナケレバナラナカッタ (Johns, p. 42, V. VI.)。即チ規定ノ本旨ニ至テハ、〔ハンムラビ¹〕法ノ前身ナルガ如キ觀ガアル。而シテ何レニシテモ、夫ニ對スルト妻ニ對スルト、其制裁ニ於テ著シク懸隔アリ、如何ニモ夫權尊重ノ氣風ノ盛ンデアツタコトガ推量サレル。

VI. 權 妻

法典ニハ夫ニ權妻 (Nebenfrau, Concubine) ヲ娶ル權利ヲ認メ

テ居ル。〔バビロン〕ニ於テハ妻ハ入嫁ノ際ニ下女ヲ同伴シテ、之ヲ夫ノ權妻トスル習慣ガ、永年ノ間行ハレテ居ツタ。此習慣ハ〔イスラエル〕法ニモ明カデアル様ニ、古セム人ノ慣習(Altsemitischer Brauch) デアルト云フ(Kohler, Allgemeine Rechtsgeschichte, S. 59)。蓋シ〔セム〕人ニハ妻ノ不妊ノ爲メニ、子供ヲ得ラレヌコトハ、妻ヲ離縁スルニ付テ有力ナル理由デアツタカラ、妻ハ之ヲ憂慮シテ、夫ニ權妻ヲ與フル習慣モ生ジクモノデアロウ(Davies, Evolution of Law Series, I p.416)。

妻ガ子ヲ生マヌ爲メニ、夫ニ下女ヲ與ヘテ、子ヲ生マシメタ事件ノ光景ハ舊約全書中ニモ審ラカデアル(Genesis 16; 1ff. 30; 1ff.)。斯クノ如ク子供ガ重要視セラレル以上ハ、假令、子供ハ正妻ノモノデモ、權妻ノモノデモ、其間ニハ差別ガナイノハ當然デアツタ。又タ權妻モ子供ヲ生メバ正妻ト略同ジ地位ヲ得ラレル(後段参照)。

ハンムラビ法典ハ原則トシテハ多婚(Polygamie)ヲ禁ジ、子供ヲ生マシムル爲メノ權妻丈ケヲ認メタコトハ明白デアル。從テ既ニ子供ガ生マレタ場合ニハ、權妻ヲ娶ルコトヲ禁ジテ居ル (§ 144)。此規定ハ正妻ガ子供ヲ生ンダ場合デモ、正妻ガ與ヘク下女(權妻)ガ子供ヲ生ンダ場合デモ、同ジク適用サル可キモノデアツタラノイ。唯ダ此規定ガ果シテ勵行サレタカ否カハ、當時ノ事情カラ推セバ甚ダ疑ハシイ。

妻ガ子供ヲ生マザルコトヲ理由トシテ、權妻ヲ娶ツテモ、其權

妻ハ正妻ト同地位ヲ得ルコトハ出來ヌ (§ 145)。ナレド權妻ガ子供ヲ生メバ、正妻ト同地位ヲ得ル。從テ其權妻ハ假令正妻ガ下女トシテ夫ニ與ヘタル者デアツテモ、爾後、正妻ハ其下女ナル權妻ヲ賣却スルコトハ出來ナクナル。唯ダ之ヲ下女トシテ取扱フコトハ差支ハナカツタ (§ 146)。然レドモ其下女ガ子供ヲ生マヌ間ハ、正妻ハ之ヲ賣却スルコトハ自由デアツタ (§ 147)。下女ノ處分ニ付テハ、〔ヘブリウ〕法ハ外國人ニ賣拂フコトヲ禁ジテ居ルガ (Exodus 21・8)、〔バビロン〕ニハ斯カル制限ノアツタ證據ハ得ラレナイ。

又タ法典ハ妻ガ疾病ニ罹ツタ場合ニモ、夫ニ權妻ヲ娶ルコトヲ許シテ居ル。然シ其病妻ヲ離別スルコトヲ禁ジ、且ツ病妻ヲ夫ノ家ニ居住セシメ、之ニ休養ヲ與ヘルコトヲ命ジテ居ル (§ 148)。尤モ其病妻ガ夫ノ家ニ居住スルコトヲ好マザルトキハ、夫ハコレニ嫁資ヲ返還シテ、ソノ家ヲ去ラシメナケレバナラヌ (§ 149)。此兩規定ハ〔ハンムラビ〕王ノ人道的立法ノ要點デアロウ。

VII. 夫婦財産關係

相續權ハ子ニ認メラレタガ、夫ガ妻ニ不動産ノ遺贈ヲ爲スコト (*Nachummu*) ハ、古〔バビロン〕ノ習慣デアツタ。既ニ證書ヲ認メテ此遺贈ガ行ハレタトキハ、其遺贈部分ニ對シテハ子ハ何等ノ要求權ヲ有シナイ。而シテ母ハ其遺贈ヲ受ケタ財産ヲ、其欲スル所ノ子ニ自由ニ遺贈スルコトガ出來ル (§ 150)。

古[バビロン]ニハ債權ノ實行トシテ、人的執行ガ行ハレタコトハ前ニモ述ベタ。法典ハ人道的立場カラ、此執行ニ因テ夫婦生活ヲ破壊スルコトヲ防護シテ居ル。即チ夫又ハ妻ガ各、其婚姻前ニ負擔シタ債務ノ爲メニ、債權者カラ人的差押ヲ受クルトキハ、夫婦諸共ニ其苦痛ヲ蒙ルコトニナルカラ、法典ハ此差押ヲ禁ジテ居ル (§ 151)。

サレド、結婚後ニ夫又ハ妻ガ負擔シタ債務ニ付テハ、夫婦ハ共同ニ責任ヲ負擔シナケレバナラス。從テ前述ノ如ク夫ノ負擔シタル債務ニ付テ、妻ガ債務奴トナルコトモアリ (§ 117)、妻ガ負擔シタル債務ニ付テハ夫モ諸共ニ、責任ヲ負擔スルコトニモナル (§ 152)。此規定ハ妻ノ債務ニ付テ夫ヲ差押フルコトモ認ムルモノデアロウ。

VIII. 夫 殺 シ

妻ガ夫ヲ殺シタルトキハ杖刺(クヒザシ)ノ刑ヲ受ケル (§ 153)。法文ハ他人ヲ救フ目的ヲ以テ、犯シタ場合ヲ規定シテ居ル。然カモ多クハ妻ガ其情夫 (Liebhaber) ノ爲メニ、夫ヲ殺シタ場合ヲ規定シタモノラシイ (Ungnad S. 44)。然シ是ハ例示式規定ノ特色デアツテ、多クノ實例ニ適スル様ニ規定シタ丈ケノコトデアロウ。其他ノ目的ヲ以テ、犯シタ場合デモ、此規定ヲ適用シナイト云フ意味デナカツタコトハ疑ガ無イ。[ヘブリウ]立法ニハ夫殺シト云フ様ナ罪種ハナイ。從テ斯様ナ犯罪ハアソタトシテモ、極メテ稀ニ見ル所ノモノデアッタロウ。サレド[バビロン]ニハ

特ニ斯様ノ規定ヲ設ケテアル處カラ見レバ、此種ノ犯罪ハ屢行ハレタモノト思ハレル(Davies, 418)。又タ刑罰トシテモ「イスラエル」ニハ杖刺(Impaling)ヤ絞首(Hanging)ナドハ無カツタ。尤モ死體ガ樹ニ吊サレテアルト云フコトハ、屢古記録ナドニハ現ハレテ居ツテモ、其レハ殺害後ニ死體ヲ吊シタモノデアツタラシイ。サレド「アツシリア」ニ至テハ杖刺刑ハ屢行ハレテ居ツタ(Davies, p 418)。

第十二節 親族相姦

I. 序 言

親族相姦(Blutschande, Incest)ハ古今多クノ民族ニ、多少ハ行ハレタ。殊ニ趣味單調ニシテ獸の生活ニ近イ自然民ニハ、其種ノ風習ガ盛ンデアツタロウ。「ハンムラビ」王ガ「バビロン」ニ於ケル性慾生活(Geschlechtsleben)ヲ取締リ、此惡習ヲ禁斷ショウト努メタ形跡ハ、他ノ古代立法ニモ屢見ル様ニ、彼ガ法典ニモ明カニ現ハレテ居ル。——

II. 父ト娘

即チ法典ニハ父ガ其娘ト姦通シタルトキハ、彼ヲ其居住スル市カラ、放逐スベシトアル(§ 154)。

III. 父ト嫁

又タ法典ニハ父ガ其息子ノ爲メニ妻ヲ娶リテ、既ニ息子ガ其新婦ト通ジタル後ニ、父ガ其新婦ト姦通シテ現場ニ於テ捕ヘラ

レタ場合ニハ、彼ヲ縛リテ水中ニ投棄ス可シトアル (§ 155)。抑モ父ガ其子ノ爲ノニ妻ヲ選定スルコトハ、〔バビロン〕ヤ〔ヘブリウ〕ノ慣習デアッタ (Genesis 24:4; 38:6, II kings 14:9)。吾國ノ現在ニ於テハ婚姻ハ當事者間ノ合意ノ形式ニテ成立スル法理ニナツテ居ルガ、實際社會ノ慣行デハ永年ノ間、親ト親トノ間ニ行ハレテ居ル。〔ヘブリウ〕法ニ於テハ父ガ其子ノ妻ト姦通シタル場合ハ、相姦兩人ヲ殺ス可シトアル (Leviticus 20:12)。然シ〔バビロン〕ニ於テハ父ノミヲ殺スノデアソタ。尤モ前掲ノ法文ニテハ女ノ方ヲ罰スルガ如ク解セラレルケレドモ、是レハ法典自身ノ記錄ガ誤ツテ居ルノデアツテ、實ハ男ノ方丈ケヲ罰スル意味ノモノデアソタロウト解スルコトニ付テハ、Harper, Winckler, Lagrange 及ビ Scheil ナドノ諸學者ノ見解ハ一致シテ居ル様デアル。尤モ Johns ノ譯文デハ〔男ヲ殺シ、女ヲ水ニ投ズ〕可キモノトシテ居ル (that man shall be strangled and she shall be cast into the water)。原文ヲ直譯スレバ蓋シ Johns ノ見解ガ正シイモノト思ハレル。然シ〔ハンムラビ〕法典ノ主義トシテハ、此種ノ場合ニハ男ノミヲ罰シ、女ヲ罰セヌ筈デアルカラ (§ 130)、法典ノ真意ハ通説ノ如ク原文ノ終リノ “her” トアルノハ “him” ノ誤デアルト見ルノガ相當ノ様ニ思ハレル。又タ “her” ノ所ニ “him” ヲ代用セズ、 “them” ヲ代用シテ相姦兩人ヲ罰スルコトガ法典ノ真意デアソタト解スルコトモ一理アル。然シ此解釋ハ前述ノ如ク〔ヘブリウ〕ノ主義ニハ合スルガ、

ピロン¹ノ主義ニハ反スルコトニナル。

又タ父ガ其息子ノ爲メニ妻ヲ娶リテ、未ダ息子ガ其新婦ト通ゼザル間ニ、父ガ其新婦ト姦通シタル場合ハ、前段ノ場合トハ制裁ヲ異ニスル。此場合ニハ父ハ銀半 *Mina* (吾約三十圓)ノ罰ヲ支拂ヒ、且ツ新婦ガ其實父ノ家カラ持參セル總テノモノヲ返還シ、其婦ヲ解放シナケレバナラス。然ル上ハ其婦ハ他ノ男ト結婚スルコトガ出來ル (§ 156)。[ブヘリウ]立法ニハ此法文ニ相當スル規定ハナイ。唯ダ一般ニ未通女 (Virgin) ヲ侵シタ者ノ責任ニ關スル規定ガアル。即チ男ハ其場合ニハ代價ヲ拂ツテ其女ヲ一生ノ妻トシナケレバナラスコトニナル (Deuteronomy 22:28-29)。此ニ依テ見ルト、[イスラエル]ニ於テハ、[バビロン]ニ於ケルヨリハ遙カニ處女ヲ犯スコトノ責任ヲ重ク考ヘテ居ツタコトガ解ル。

IV. 母 ト 子

母ト子ガ姦通シタル場合ニハ、兩人ヲ燒殺ス可シタル (§ 157)。此法文ハ父ノ死後ヲ想像シテ、其ヲ例ニシテ規定シテアルガ、父ノ生存中ニ於テモ勿論刑ヲ異ニスル道理ハナカツタ。[イスラエル]ニ於テモ母子ノ通ズルコトヲ戒メタ規定ハアル (Deuteronomy 22:30; Leviticus 20:11-14)。燒刑 (Burning) ノ執行ノ模様ハ明カデナイガ、之ヲ[イスラエル]ニ於ケル模様ニ徵スレバ、石ナドヲ以テ一旦打殺シタ後ニ火ヲ附ケタモノカモ知レス (Joshua 7:25)。

V. 繼母子

繼母ト姦通シタル者ハ父ノ家カラ放逐サレル丈ケデアツタカラ、實母トノ姦通ニ比ベルト頗ル刑ノ輕イモノデアツタ (§ 158)。然ン「イスラエル」ニ於テハ、實母トノ姦通デモ、繼母 (stepmother, fostermother) トノ姦通デモ、共ニ死刑ヲ以テシタ (Leviticus 20: 11)。尙ホ「イスラエル」ニ於テハ廣ク親族相姦ヲ戒メテアツタ (Leviticus 18: 6ff. etc)。「ハンムラビ」法典ノ處罰トシテノ「父ノ家カラ放逐」ト云フコトハ、相續權ヲ失フト云フ結果ニナルモノラシイ (Davies p. 420)。

第十三節 婚姻解消ト婚資及嫁資

I. 序 言

新婦及ビ其關係者ニ新郎カラ、贈物ヲ爲シ、又ハ求婚資ヲ支拂フコトハ、西「アジア」ニ於テ擴ク行ハレタ慣習デアル (Davies, 420)。舊約全書ニモアル、女 Rebekah ヲ娶ル際ニ、彼女ト其母及兄ナドニ衣類、寶物等ヲ與ヘタト云フコトハ、當時ノ地方ノ風習ヲ現ハスモノデアロウ (Genesis, 24: 53ff)。

又タ結婚ノ際ニ妻ガ其實父ノ家カラ、財産ヲ持參シテ、嫁入スルコトハ古「バビロン」カラ新「バビロン」ニ通ジテ行ハレタ慣習デアツタ。殊ニ此持參財ノ慣習ハ、新バビロン時代ニ至テ賣買婚ガ廢レタ後モ、尙ホ盛ンデアツタ。其財産ノ種類ハ通貨ナルコトモアリ、日用品ナルコトモアツタ (Kohler, S. 65)。父ガ結婚

スル娘ニ嫁資ヲ與ヘル習慣ハ「イスラエル」ニモアツタト云フ觀察ヲ爲ス者(Cook)ガアル(Cavies, p. 415, Genesis 31.14-16)。賣買婚ガ廢ツテ、嫁資(持參財)ガ盛ンニナツタ變化ハ、漸時近世風ノ習慣ニ進ム階段ヲ看取スルコトガ出來ル。

II. 婚約違背ト婚資

婚姻豫約ノ效力ニ付テハ吾現行ノ法制ニ於テモ、規定ノ不備、判例ノ不正確ヲ免レナイガ、「ハンムラビ」法典ニハ既ニ比較的詳シイ明文ノ規定ガ設ケラレテアツタ。——

親婦タル可キ者ノ父ノ家ニ贈物、*Nulunn*—Schenkungen, Present, Gift)ヲ爲シ、且ツ求婚資(*Hirbatu*—Frauenpreis, Bride-price, Marriage settlement, Dowry)ヲ支拂ツテ婚約ヲ爲シタ者ガ、正當ノ理由ニ據ラズシテ其婚約ヲ破ルトキハ、其破約者タル新郎ハ前記ノ贈物及ビ求婚資ヲ失フコトニナル(§ 159)。反之、同様ノ場合ニ新婦タル可キ者ノ父ノ方カラ、破約スルトキハ、彼ハ先キニ收受シタル賜物及婚資ノ二倍ヲ、新郎ニ返還シナケレバナラヌ(§ 160)。此兩規定ニ現ハレタ原則ハ、吾民法ニ於ケル手附金ヲ拂ソテ結ンダ賣買(其他ノ有償契約)ノ解除ニ見ルガ如キ、所謂損倍戻¹ノ原則ト同様ニ定メラレテ居ル。尤モ Davies ノ解説ニ據レバ、百六十條ノ場合ノ返還ハ單ニ婚資ノ全額ニシテ、其二倍ニハ非ズトノ反對論モアル(Davies, Evolution, p. 420)。私ハ他ノ法條トノ關係カラ、Harper ヤ Johns ナドノ譯文及ビ Un-gnad (Büfefe Hammurapis, S. 45) ノ見解ノ二倍説ニ從ツタ。

破約ノ原因ニ付テハ、求婚男カラ破約スル場合ニハ彼ガ他ノ婦人ヲ見付ケタ様ナ場合ヲ指シテ居ルガ、要スルニ正當ナ理由ナキ破約ノ場合ニ適用サレル規定デアツタコトハ、例示式ノ規定ニ徴シテ明カデアル。反之婦ノ父カラ破約スル場合ニ付テハ、法典百六十條ニハ何等ノ例示ナク、從テ通常如何ナル原因カラ、其破約ガ行ハレタモノカ、當時ノ慣習ヲ察シ難イ。ザレド其次條ニ於テ略其説明ガ與ヘラレテ居ル様ニ思ハル。即チ婦ノ父カラ破約スル場合ハ、求婚男ノ友人等ガ其婦ヲ欲望シテ、求婚者ヲ誹譏シ、婦ノ父ガ之ヲ信ジタ様ナ場合ガ多カノタモノト思ハレル。而シテ法典ハ此誹譏者ト問題ノ婦トノ結婚ハ之ヲ禁ジテ居ル (§ 161)。

III. 妻ノ死亡ト其嫁資

妻ガ其家カラ持參セル嫁資 (*Serültü, Sereñlen, Mitgift* Aussteuer, *Maniage-portion, Dowry*) ハ夫ノ用益ニ供セラレルケレドモ、妻ノ特有財産タルコトニ付テハ、法律ノ保證モ得ラレタ (*Köhler, S. 58*)。從テ離婚ノ場合ニハ一定ノ條件ノ下ニ (§ 137 138) 夫ノ手カラ之ヲ回收シ得ルコトニ付テハ、既ニ述ベタ。然レモ妻ガ死亡シタ場合ニハ其遺産タル嫁資ハ、子供ニ相續サレル。此場合ニハ法典ハ里方ノ要求ヲ禁ジテ居ル (§ 162)。若シ子供ナクシテ死亡シタル場合ニハ、其嫁資ハ里方ノ父ニ返還サレナケレバナラス。而シテ此場合ニハ里方ノ父ハ先キニ受取ツタ一切ノ婚資 (贈物及求婚資) ヲ夫ニ返還シナケレバナラス (§ 163)。若

シ里方ノ父ガ此婚資ヲ返還セザルトキハ、夫ハ亡妻ノ嫁資カラ其婚資ノ價額ヲ控除シテ、其殘額ヲ亡妻ノ父ニ交付スレバ宜イ (§ 164)。妻ガ子ナクシテ死亡セル場合ニ、其嫁資ガ里方ニ復歸ス可キコトノ慣習ハ、永ク「バビロン」ニ行ハレ、後世ノ立法ニモ散見スル所デアル (Johns, Babylonian and Assyrian Laws, Contracts and Letters, p. 7. Law F)。

第十四節　親子其他

I. 遺産分配

父ノ死亡後ニ於テハ、其遺産ヲ子供等ガ平等ニ分配スルノガ、法典ノ原則デアツタ。唯ダ娘ニハ通常、嫁資ヲ與ヘル爲メニ、其相續權ハ認メラレナカツタ。唯ダ父ガ嫁資ヲ與ヘナカツタ場合ニハ、娘ニモ相續權ガ生ズル (§ 180)。尙ホ娘ノコトニ付テハ次節ニ説ク。茲ニハ息子ノコトヲ述ベル。法典ハ斯クノ如ク、諸子平等ノ原則ヲ立テタガ、父ガ生存中、其特ニ愛スル子ニ原野、庭園又ハ家屋ナドヲ、證書ヲ認メテ贈與スル習慣モアツタカラ、法典ハ此場合ニハ其愛兒ハ遺産分配外ニ、其贈與部分ヲ取得シ得ルコトヲ認メテ居ル (§ 165)。「ヘブリウ」ニモ愛兒ニ特別ナ恩惠ヲ與ヘル慣習ハアツタ (Genesis 48:19 ; I Kings 1:11-13)。而シテ長子相續 (Primogeniture) ノ思想ヲ加味シテ、長子ハ何レノ妻ノ子ナルヲ問ハズ、他ノ子ノ二倍ノ相續分ヲ有スルノデアツタ (Deuteronomy 21:15-17)。

II. 未婚兒ノ保護

子供ガ父ノ遺産ヲ平等ニ分配スルコトノ原則ニ付テハ例外ガアル。即チ父ガ成長シタル子ノ爲メニ妻ヲ娶リタル場合ニハ、其既婚子ハ先ヅ弟ナル未婚子ノ爲メニ、其婚資ヲ分配シテ、尙ホ殘餘ノ遺産アル場合ニノミ、之レガ分配ニ與カルコトガ出來ル (§ 166)。是レト同種ノ立法ハ姉妹ノ間ニモ認メラレテアル (§184)。兄弟姉妹ノ成人ニ付テ相互ニ援助ス可キコトヲ命ジタ、人道的立法ノ特色ハ茲ニモ現ハレテ居ル。

III. 繼 子

子ハ前妻ノ子ナルト、後妻ノ子ナルトヲ問ハズ、父ノ遺産ヲ分配スルニ付テハ全ク平等ナ地位ニアル。唯ダ母ノ遺産(嫁資)ヲ分配スルニ付テハ、子供ハ各其實母ノ遺産ヲ分配シ、繼母ノ遺産ニ付テハ何等ノ權利ハナイ (§ 167)。是レ自然ノ情義ヲ立法ノ標準トシタ規定デアアル。尤モ後世ノ立法ニ於テハ夫ニ死別シタ妻ガ再婚シタル場合ニ新夫ノ子即チ妻ノ繼子ハ、先夫トノ間ノ實子ト共ニ嫁資ノ相續權ヲ有スルコトヲ認メテ居ル (Johns, p. 73, Law H)。

父ノ遺産ノ相續ハ後世ニ至テハ、平等ノ原則ガ破レテ、先妻ノ子ニハ三分ノ二、後妻ノ子ニハ三分ノ一ノ割合ヲ以テ認メラレタ。是レ先ヲ尊ビ、後ヲ輕ンズル思想ノ結果デアツタロウ。此場合ハ遺贈部分ヲ控除シタ殘額ニ付テ、計算サレルノデアツタ (Johns, p. 72 ff. Law D Law K.)。

IV. 子ノ勸當

子ヲ勸當シテ其相續權ヲ排除スルコトハ、重大ナル人道問題デアルカラ、法典ハ法官ノ審判ヲ受ケタ上デナケレバ、之ヲ許サヌコトニシテアル (§ 168)。是レ親權ノ濫用ヲ制限シ子ノ前途ヲ誤ラシメヌ様ニショウトスル、〔ハンムラビ〕王ノ正義ト人道ノ思想カラ試ミタ立法デアリ、近世ノ法理トモ其骨子ハ同一デアル。

此事件ヲ審理スル法官ハ、子ガ果シテ父ニ對シテ放逐サレル丈ケノ不孝ヲ演ジタカ否カヲ調査シ、假令是アルヲ認メタトキデモ、第一回目丈ケハ警告附ニ之ヲ放免シ、第二回目ノ不孝ヲ演ジタルトキニ於テ、初メテ放逐シ、相續權ノ排除ヲ命ズ可キモノトシテ居ル (§ 169)。親不孝者ノ處分ニ付テハ〔ヘブリウ〕法ノ規定ハ、餘程趣ヲ異ニシテ居ル。即チ父母ガ不孝兒ヲ市ノ長老ニ訴ヘルトキハ、其兒ハ市民カラ石ヲ以テ打殺サレルト云フノデアツタ (Deuteronomy 21.18 ff.)。兩法ノ内容ニハ差アルモ共ニ不孝兒ノ處分ニ付テ、立法者ガ意ヲ用キタ形跡ニ至テハ同一デアル。即チ前者ハ改善手段ノ立法デアリ、後者ハ寧ロ威嚇手段ノ立法デアツタ。

茲ニ〔スメリア〕時代ニ於ケル不孝子ニ對スル制裁ノ法則ヲ掲ゲテ、史的比較ノ資料ニ供ショウ (Johns, p. 41-)。

§ 1. 子ガ其父ニ對シテ〔汝ハ自分ノ父デナイ〕ト云ヘバ、父ハ子ニ烙印ヲ押シ、束縛ヲ加ヘ且ツ之ヲ賣却スルコトガ出來ル。

§ 2. 子ガ其母ニ對シテ「汝ハ自分ノ母デナイ」ト云ヘバ、子ノ額ニ烙印ヲ押シ、彼ヲ市外ニ放逐シ且ツ屋外ニ放置ス可シ。

§ 3 父ガ其子ニ對シテ、「汝ハ自分ノ子デナイ」ト云ヘバ、子ハ其ノ家及ビ構内ニ退去サセラレル。

§ 4 母ガ其子ニ對シテ、「汝ハ自分ノ子テナイ」ト云ヘバ、子ハ其家ト財産トヲ失ハセラレル。

上記ノ制裁權ハ家又ハ市ノ長ナドガ有シタノデ、親自身ガ有シタモノデハナイ。烙印刑ト云フノハ實ハ奴隸扱ニスル斷髮刑ニ過ギナカツタラシイ。屋外放置ト云フノハ親友、親族ト斷絶サレルコトデ、自由ヲ失フモノデハナカツタラシイ。

V. 下女ノ子

下女ガ主人ノ子ヲ生メル場合ニ、主人ガ平素其子ヲ自分ノ子トシテ呼ンデ居ソメ場合ニハ(私生兒認知)其下女ノ子モ正妻ノ子ト同シク父ノ遺産ニ付テ相續權ヲ有スル。尤モ遺産ノ分配ニ當リテ正妻ノ子ト下女ノ子トノ間ニ爭アルトキハ、正妻ノ子ハ第一ノ選擇權ヲ有スルモノノ如シ § 176)。此法文ノ末尾ノ句ノ意義ハ稍不明瞭デアルガ、上述ノ如ク解シテ初メテ理義通ズルコトヲ得ル様ニ思ハレル (Davies, p. 422)。若シ主人ガ生涯中、其下女ノ生メル子ヲ自分ノ子ト呼バナカツタ場合ハ、其子ハ父ノ認知ヲ受ケザル子デアルカラ。正妻ノ子ト共ニ相續權ヲ得ルコトハ出來ス。サレド主人ノ死後ハ其下女モ其私生兒モ自由ヲ享受シ、奴隸ノ身分ヲ脱スルカラ、正妻モ其子モ彼等ヲ勞役ニ

服セシムルコトハナラヌ (§ 171 I)。

〔ヘブリウ〕法ニ於テハ相續權ハ正妻ノ子ノミニ認メ、權妻ノ子ハ父ノ遺産ヲ相續スル權利ヲ有シナカツタラシイ (Genesis 24:36; Judge 11:2)。從テ父ハ其生存中ニ權妻ノ子ニ多少ノ財産ヲ贈與スル習慣モアツタノデアロウ (Genesis 25:6)。

VI. 妻 ト 子

正妻ハ夫ノ死後ニ於テモ、嫁資ト夫カラ證書ヲ認メテ贈與サレタ丈ケノ財産(遺産)トヲ、特有財産トシテ保有シ、其生涯中故夫ノ家ニ居住スル權利ヲ有スル。サレド其遺産ハ自由ニ之ヲ處分スルコトハ出來ヌ、其死後ニ於テハ子供ニ相續サセナケレバナラヌ (§ 171 II)。

若シ未亡人ガ夫カラ遺贈ヲ受ケナカツタ場合ハ、彼女ハ嫁資ノ外ニ其ノ子ト均等ノ相續分ヲ取得スル。而シテ其未亡人ガ子供カラ迫害ヲ受ケル場合ニハ、法官ノ救濟ヲ求メテ、子供ノ有責ナル限リハ故夫ノ家ヲ去ルニ及バヌ。サレド未亡人ガ自分カラ其家ヲ立去ル場合ニハ、彼女ハ故夫カラ得タ贈與ナリ、相續分ナリノ全部ヲ其家ニ遺シ(子供ニ分配シ)、單ニ嫁資ノミヲ持ち去ルコトガ出來ル、且ツ再婚ヲ許サレル (§ 172)。

再婚婦ガ死亡シタルトキハ、前後兩婚ノ子供ハ總テ、其母ノ嫁資ニ付テ平等ノ相續權ヲ有スル (§ 173)。若シ其婦ガ後ノ婚姻ニ於テ子ヲ生マナカツタ場合ニハ、前ノ婚姻ノ子ノミカ其相續權ヲ有スル (§ 174)。

夫ニ死別シタ妻ヲ保護スル「ハンムラビ」法典ノ精神ハ永ク後世ニ傳ハリ、同様ノ立法ハ後世ニモアツタ。即チ其未亡人ハ其嫁資ト夫カラノ遺贈ヲ受領シテ餘生ヲ送ルコトヲ得ルモ、若シ嫁資モ遺贈モナカツタ場合ニハ、法官ハ亡夫ノ遺産ヲ調査シテ其中カラ、其資力ニ相當スル丈ケノ財産ヲ、其未亡人ニ與ヘルコトニシテアル。尤モ未亡人ガ子供ヲ有スルトキハ、遺産ハ子供ノ相續分トナリ、斯クノ如キ法官ノ處分ニヨル救済ヲ得ルコトハ出來ナカツタ (Johns, p. 72, Law G.)。

VII. 奴隸ノ子

奴隸ノ子ハ依然トシテ、奴隸デアリ、從テ親ノ所有主ニ服スルモノデアルガ、兩親ノ一方ガ奴隸デアツテモ、他方ガ自由人ナル場合ニ付テハ、法典ハ適宜ノ處置ヲ試ミテ居ル。——奴隸男ガ自由女ト結婚シテ其間ニ生レタ子ハ、父ノ所有主ノ勞役ニハ服サナイ、即チ父ガ奴隸デアツテモ、母ガ自由婦ナルトキハ、子ハ自由人ナリト云フコトニナル (§ 175 I)。

此場合ニ奴隸男ナル父ガ死亡スレバ、夫婦ガ家ヲ構ヘル前カラ其奴隸ノ有セシ財産ハ、奴隸主ノ所得トナルモ、其後ニ取得サレタ財産ハ之ヲ折半シテ其一部ヲ奴隸主ガ取得シ、他ノ一部ヲ未亡人ガ其子ノ爲メニ取得スル。未亡人ノ嫁資及ビ其特有財産ニ對シテハ固ヨリ奴隸主ノ干涉ヲ許サス (§ 175 II)。若シ未亡人ニ嫁資ガ無カツタ場合ハ、結婚後夫婦ニ於テ取得シタル一切ノ財産ヲ折半シテ、奴隸ノ所有者ガ其一半ヲ取り、未亡人ハ其子

ノ爲メニ他ノ一半ヲ取得スル (§ 176)。此規定ノ意味ハ結局前條二項ノ一部ト重複スル様ニ思フ。元來、此法典ガ判例集ノ様ナモノデアルト云フ觀察ノ生ズルノモ、斯カル規定アルガ爲メデアル。

「イスラエル」ニ於テモ奴隸又ハ下人ガ自由婦ト結婚スルコトヲ許シテ居ツヌ (Chronicles 2.35)。殊ニ「モーゼ」法 (Mosaic Law) ハ人道的立場カラ、奴隸ニ對シテハ、當時ノ「セム」人ノ法律中ニ於テハ最も寛大ナ態度ヲ採ソタモノテアロウ (Davies, Evolution, p. 423)。

VIII. 身 分

ハンムラビ時代ニ於ケル「バビロン」ノ社會階級ニハ大略三位アル。第一位ハ貴族 (*Adum*) トモ稱ス可キモノデ、家主其他ノ有産上流階級ノ者ガ此部類ニ入ル。上ノ原語ヲ直譯スレバ、Man, Person or Gentleman ナドトイフ意味ニモナル。第二位ハ平民 (*Muskēnum*) トモ稱ス可キモノデ、社會ノ中堅ヲ形成スル階級デアソタ。彼等ノ地位ハ財産ト奴隸トヲ領有スルコトヲ得ル自由人 (freeman) デアソタガ、原語ノ意味ハ poor ト云フコトデ、貧民又ハ細民 (pauper, poor man)、或ハ土民 (serf) トカ家來 (retainer) ナドト譯シテ宜イノデアル。サレド其社會的地位ヲ考慮ンテ譯語ヲ選擇スレバ、平民ト云フ位ガ適當ト思フ。第三位ハ奴隸 (*Wardum-amum*) トモ稱ス可キ階級デアル。尙ホ奴隸ニモ幾多ノ階級別ガアソタラシイ。法文ニ屢現ハレル奴隸 (-lave) ト下人

(servant) トノ明白ナル區別ハ解ラナイ (Harper, Code of Hammurabi, Introduction; Davies, Evolution of Law Series, I. p. 423; Johns, Laws of Babylonian and Laws of Hebrew People, p. 7.)。〔ハンムラビ〕法典ハ平等主義ノ立法カラ出來テ居ルカラ、階級の特權ト云フモノニ關シタ規定ハ割合ニ少イ。故ニ以上ノ階級別ハ法律的階級トシテ見ルヨリモ寧ロ社會的階級ト見ル方が實益ガ多イ。

IX. 母ノ再婚

少年ノ子ヲ有スル未亡人ガ再婚フルニハ、法官ノ許可ヲ得ナケレバナラフ。法官ガ此許可ヲ與フルニハ先夫ノ遺産ヲ調査シ、之ヲ新夫婦ニ信託シテ、其財産目錄ヲ彼等ニ交付シナケレバナラス。彼等ハ其信託財産ヲ管理シテ、亡夫ノ子ヲ養育スル責任ガアル。管理財産中ノ家財ヲ賣拂フコトハ禁ゼラレル。假令之ヲ賣拂フトモ、其行爲ハ背信處分ニシテ、法律上無効デアル。從テ亡夫ノ子ハ其物ノ所有ヲ失フモノデナイ。此場合ノ買主ハ却テ代金ヲ失フコトニナル (§ 177)。是レ近世式ノ信託法理トモ多少ノ類似ヲ見ル所ノモノデアル。而シテ法典ガ如何ニ少年ノ保護ニ付テ意ヲ用キタカハ此精詳ナノ法理ヲ通ジテモ了得スルコトガ出來ル。

後世ノ立法ニ於テハ子ヲ有スル未亡人デモ、法官ノ許可ナドヲ要セスシテ自由ニ再婚シ得ル様ニナツタ (Johns, Babylonian and Assyrian Laws, Contracts and Letters, p 73 Law H.)。

第十五節 娘ノ嫁資

I. 序 言

古代「バビロン」ニ於テハ、未婚婦ニシテ宗教上ノ職務ニ從ヒ、寺院ニ奉仕スル者ガ多カッタ (Ungnad, S. 46)。而シテ法典ニ徴スルモ、寺院ノ用務ニ服スル婦人ニハ、數種ノ階級別ガ認メラレテ居ツタラシイ (§§ 110. 178. 181 ; Davies, p. 425)。又タ此等ノ婦人中ニハ結婚ヲ許サレル者ト、禁ゼラレル者トガアツタ様ダ (§ 180)。此等ノ婦人モ其父カラ嫁資ヲ得テ、結婚スルカ、又ハ之ヲ其生涯ノ資源ニ供スルノガ一般ノ慣習デアリ、而シテ父ガ娘ニ嫁資ヲ贈與スルニハ、證書モ認メラレテ居ツタ。「ハンムラビ」法典ハ父ノ死後ニ於ケル娘ノ嫁資ニ付テ、以下説明スル所ノ規定ヲ設ケテ居ル。――

II. 兄弟ノ嫁資管理

父ガ娘ニ嫁資ヲ贈與スル證文中ニ、明カニ娘ガ嫁資ヲ自由ニ處分シ得ル權能ヲ有スルコトヲ掲ゲナカッタ場合ハ、父ノ死後ハ彼女ノ兄弟ガ其財産ヲ管理シ、娘ハ單ニ其收益ヲ受ク可キモノデアツタ。當時嫁資ハ土地ヲ以テ與ヘラレルコトガ多ク、從テ法典ハ其收穫トシテ穀物、油、及羊毛等ヲ彼女ニ與フ可キ旨ヲ定メテ居ル。若シ兄弟等ガ斯クノ如クシテ彼女ヲ満足セシメザルトキハ、彼女ハ自分デ農夫ヲ選ミ、之ニ其土地ヲ貸付ケテ、收益ヲ計ルコトガ出來ル。サレド、彼女ハ依然トシテ其土地ヲ他

人ニ賣却シ又ハ讓與スルコトヲ禁ゼラレル。又タ彼女ハ既ニ嫁資ヲ得タル以上ハ、父ノ遺産ヲ相續スルコトハ出來ヌ。彼女ノ相續部分ハ兄弟ノ所屬トナル (§§ 178. 183.)。

若シ父ノ嫁資贈與證書中ニ明カニ、娘ガ嫁資ヲ自由ニ處分シ得ル權能ヲ有スルコトヲ掲ゲテアル場合ニハ、上ノ様ナ兄弟ノ干涉ハ許サレヌ (§ 179)。

III. 嫁資ナキ娘

父ガ其娘ニ嫁資ヲ與ヘズシテ、死亡シタルトキハ、彼女ハ父ノ遺産ニ付テハ兄弟等ト同ジ持分デ、相續權ヲ有スル。而シテ彼女ノ死後ハ其財産ハ兄弟等ノ所得トナル (§ 180)。

又タ父ガ其娘ヲ寺院女中 (Templemaid, Votary) 又ハ寺院處女 (Temple-virgin, NU, PAR.) トシテ、寺院ノ用務ニ從事セシメ、嫁資ヲ與ヘズシテ死亡シタル場合ハ、其娘ハ父ノ遺産ニ付テハ、兄弟ノ一人ノ持分ノ三分ノ一ノ相續分丈ケヲ受ケルコトガ出來ル。而シテ彼女ノ死後ハ其財産ハ兄弟等ノ所得ニナル (§ 181)。
サレド彼女ガ若シ「マルズツク」神ノ信者ナルトキハ、其財産ヲ自由ニ處分シ、必ズシモ其兄弟ノ爲メニ遺スコトヲ要セザル特典ガ與ヘラレタ (§ 182)。

權妻ノ娘ハ父カラ嫁資ヲ與ヘラレヌ場合デモ、父ノ遺産ニ付テ相續權ヲ有セス。唯ダ兄弟等ハ相當ノ嫁資ヲ彼女ニ與ヘテ、結婚セシムル責任アルニ過ギヌ (§ 184)。

第十六節　養　子

I. 序　　言

養子ノ慣習ハ「バビロン」以前ノ「スメリア」文明以來アツテ、養子ノ扶養義務ヲ明カニシ、養子ガ離縁セントスルトキハ、之ヲ奴隷トシテ賣拂ヒ、之ニ奴隷票 (Sklavennmarke) ヲ附スルコトガ出來ルト云フ様ナ制度モアツタ。養子ノ原因ニハ様々アツタ様デアアルガ、或場合ニハ寺院ノ勞務ニ服セシムル爲メノ養子ナドモ行ハレタコトガアツタ。殊ニ不純ナル目的ノ爲メノ養子ガ行ハレタコトモアツテ、寺院ノ僧侶ガ之ニ雞姦ヲ行ヒ風儀ヲ亂スコトナドモアツタ様ダ (Kohler, S. 58)。

「ヘブリウ」ニモ養子ノ行ハレタ證據ハアルモ (Exodus 2 10; I kings 11:20; Esther 2 7)、其等ノ證據ハ何レモ特別ナ場合ノ例デアツテ、一般ニ養子ノ慣習ヲ立證スルニハ不十分デアアル。資料ノ不十分ナ處カラ見レバ、或ハ「イスラエル」ノ養子ハ「バビロン」ニ於ケルガ如ク、盛ンナモノデハ無カッタモノカモ知レス (Davies, p 426)。

II. 養子離縁

養子ガ成長シタル後ハ之ガ返還ノ要求ハ許サレナイ (§ 185)。其未成年ノ間ハ比較的簡易ニ養子ノ返還要求ガ許サレタモノカモ知レスガ、其間ノ法律運用ノ模様ハ甚ダ審カデナイ。

養子ガ養父又ハ養母ニ對シテ不孝ヲ爲ス場合ニハ、制裁トシ

テ離縁サレ、養子ハ其實父ノ家ニ歸ラナケレバナラス (§ 186)。

宮廷ニ奉仕スル愛人(Ner-se-ga)ノ息子又ハ信者(votary, devotee, prostitute)ノ息子ハ成長シタルト否トニ拘ハラズ、之ガ返還ヲ要求スルコトヲ許サヌ (§ 187)。“Ner-se-ga” トハ果シテ如何ナル役人デアルカ不問ニシテ、唯ダ宮廷ニ奉仕セル者ニ附シタ名稱デアロウト云フ (Davies, p. 426)。Johns ノ譯文ニテハ之ニ宮廷愛人(Royal favorite)ナル譯語ヲ附シテ居ル。以下暫ク此譯語ニ從フコトニスル。

職人ガ養子ヲ取リテ之ニ技術ヲ教ヘタ場合ニモ、其返還要求ヲ許サヌ (§ 188)。是レー八五條ト精神ノ同ジ規定デアル。若シ其養子ガ技術ノ教ヲ受ケナカツタ場合ニハ、彼ハ自由ニ其實父ノ家ニ歸還スルコトガ出來ル (§ 189)。

III. 養子ノ取扱

養親ハ養子ヲ實子ノ如ク取扱ハナケレバナラス。然ラザルトキハ養子ハ其實父ノ家ニ歸還スル自由ヲ有スル (§ 190)。養親ガ養子ヲ得タル後ニ、實子ヲ得テ、養子ヲ逐出サウトシテモ、養子ハ空シク立去ル義務ハナイ。此場合ニハ養父ハ其實子ノ三分ノ一ノ財産(相續分)ヲ養子ニ與ヘナケレバナラス。サレド不動産ヲ以テ與ヘテハナラス。蓋シ不動産ハ其家ニ專屬ス可キモノトスル見解カラデアロウ (§ 191)。

IV. 養子及乳母ノ刑

養子ガ養親ニ向テ、反抗スレバ其舌ヲ切取り (§ 192)、殊ニ養

親ヲ嫌忌シテ、實家ヲ戀慕シテ、實家ニ歸還スルトキハ、其眼ヲ引抜カレルト云フ様ナ刑ガアツタ (§ 193)。此種ノ刑ハ〔イスラエル〕ニモ行ハレタ (Numbers 16:14; II kings 25:7)。

上ノ兩規定ハ宮廷愛人又ハ信者ノ子ニ付テノ制裁デアルガ、一般ノ養子、又タ時ニハ實子ニ對シテモ、之ニ準ジタ制裁ガ行ハレタモノト思ハレル。

乳兒ヲ養育スル婦人が、其手許ニ於テ乳兒ヲ死亡セシメタ場合ニ、彼女ガ其過責ヲ覆ハンガ爲メニ、死兒ノ兩親ニ無斷ニテ他ノ乳兒ト差代ヘテ置イタトキハ、彼女ハ乳房ヲ切斷サレル (§ 194)。

前掲三個條ニ現ハレタ所ノ刑ハ何レモ、古代民族ノ單調ナル感情の制裁ヲ物語ルモノデアロウ。又タ其報仇觀念ガ發揮サレテ居ル點ハ、例ノ〔タリオ〕制 (Talionsbestimmung) ノ意味モ加ハツテ居ルコトハ明カデアロウ (後段詳述)。

第十七節　傷　害　罪

I. 序　　言

法典一九五條乃至二一四條ニハ身體ノ傷害ヲ爲シタ者ニ對スル一連ノ刑罰規定ガアル。此等ノ刑罰ニ付テ感ズルコトハ、其刑ガ著シク、復讐思想ト威嚇觀念トニ滿タサレテ居ルコトダ。元來、古代ノ民族ハ心情ガ單調ニシテ、質朴デアル。犯罪ニ因テ加ヘラレタ丈ケノ損害ハ、必ズ加害者ニモ加ヘナケレバ、氣ガ濟

マスト云フノガ一般ノ民情デアツタ。殊ニ被害者ノ受ケタト同種ノ危害ヲ、加害者ニ蒙ラシメテ心ノ満足ヲ得ヨウトスル様ニナル。其結果ハ生命ノ加害ニ對シテハ生命ノ刑ヲ以テシ、眼ノ加害者ニ對シテハ眼ノ刑ヲ加へ、齒ノ加害ニ對シテハ齒ニ刑ヲ科スルト云フガ如キ反讐制 (Jus talionis, Recht der Wiedervergeltung) 其他ノ有形的代償制 (Sinnbildsühne) ハ此民情ニ適合シテ發達シタルモノデアル。

反讐刑(タリオ刑)ハ「イスラエル」ニモ盛ンニ行ハレタモノデアリ (Exodus 21:24, 25; Leviticus 24:20; Deuteronomy 19:21)、寧ロ廣ク「セム」人ノ慣用シタ制度デアツタロウ (Davies, p. 428)。

斯クノ如キ制度ノ下ニ於テハ勢ヒ、被害法益ノ差等、殊ニ被害者ノ身分如何ニ因テ刑罰及ビ賠償ニモ差等ヲ生ズル。以下各法條ニ付テ解説ショウ。――

II. 親ヲ毆打

親ヲ毆打シタル子ハ其手ヲ切斷セラレル (§ 195)。Harper ハ指ノ切斷ト解シテ居ルガ、私ハ Davies ヤ Johns ナドノ譯文ニ從テ、手ノ切斷ト解シタ。「ヘブリウ」法ハ親ヲ毆打シタリ、之ヲ罵ツタリ、若シクハ親ヲ呪咀シタリ、又ハ之ニ反抗スル者ニハ、死刑ヲ科シテ居ルカラ、之ニ比ブレバ「バビロン」ノ刑ハ寛大ナモノデアツタ (Exodus 21:15, 17, Leviticus 20:9; Deuteronomy 21:18ff.)。尤モ「バビロン」ニ於テモ毆打ノ結果、傷害ヲ與ヘタ場合ニハ、其傷害ノ程度ニ從テ(後段參照)、更ニ重ク罰セラレタモ

ノラシイ。

III. 眼、齒等ノ傷害

他人ノ眼ヲ傷害シタル者ハ眼ノ傷害刑ヲ受ケ (§ 196)、人ノ骨ヲ傷害スレバ、骨ノ傷害刑ヲ受ケル (§ 197)。此等ノ被害者ガ、若シ平民ナルトキハ、銀一 *Mina* (吾約六十圓) ヲ、又タ奴隸ナルトキハ其半額ヲ、被害者又ハ奴隸主ニ支拂ヘバ免責サレル (§§ 198, 199)。蓋シ奴隸、下人ヲ物的視スル社會ノ法律トシテハ、往往斯クノ如キ規定ヲ見ルノデアル。〔ヘブリウ〕立法ニ於テハ奴隸ニ對スル傷害ノ制裁ニハ減免ノ規定ガアル (Exodus 21・26)。

自分ト同地位ニアル者ノ齒ヲ打ち出シタル者ハ、齒ヲ打出サレル (§ 200)。平民ノ齒ヲ打出シタルトキハ、銀三分ノ一 *Mina* (吾約二十圓) ヲ支拂ハナケレバナラス (§ 201)。

IV. 他人ノ毆打

自分ヨリモ高位ニアル者ヲ毆打シタル者ニハ、公衆ノ面前ニ於テ牛皮鞭ヲ以テ、六十ノ打刑ヲ加ヘル (§ 202)。此種ノ公衆的打刑 (public whipping) ハ〔イスラエル〕ニモ慣用サレタ (Deuteronomy 22 18, 21・21)。尤モ自分ト同位ニアル者ヲ毆打シタル者ハ、銀一 *Mina* (吾約六十圓)、平民ヲ毆打シタル平民ハ銀十 *Schekels* (吾約十三圓) ヲ支拂ヘバ免責サレル (§§ 203, 204)。若シ奴隸ガ平民ヲ毆打シタル場合ハ、其奴隸ハ耳ヲ切斷サレル (§ 205)。

V. 喧嘩毆打

喧嘩ニ際シ毆打、傷害ヲ加ヘタ者ハ、被害者ノ醫料ヲ賠償シナケレバナラヌ (§ 206)。此種ノ事件ニ付テハ、〔モーゼ〕ノ立法ニ於テハ、死ニ至ラザル程度ノ傷害ノ場合ニハ、加害者ハ被害者ガ其生業ヲ休ンダ爲メノ損失ヲ賠償ス可シトアル (Exodus 21:18, 19)。此規定ニハ醫料ノ賠償ノコトヲ明示シテ居ラヌガ、規定ノ精神ニ於テハ醫料ノ賠償責任ヲモ認メテ居ツタモノト解スルコトニ付テハ殆ント疑ガナイ (Davies p. 429)。固ヨリ〔イスラエル〕ニモ治療ヲ專業トスル醫者ガアリ、從テ神ニ頼ラズシテ醫者ニ頼ツタト云フ例モアル位ダ (II Chronicles 16:12)。殊ニ〔キリスト〕時代ニ至リテハ多數ノ醫者ガアツタコトハ明カデアル (Luke 8:43)。

若シ被害者ガ死亡スレバ、加害者ハ銀半 Mina (吾約三十圓)、尤モ被害者ガ平民ナルトキハ銀三分ノ一 Mita (吾約二十圓)ヲ支拂ハナケレバナラヌ (§ 207)。〔ヘブリウ〕法ハ人生ヲ尊重シテ、此場合ニハ死刑ヲ科シタ (Exodus 21:12)。〔ハンムラビ〕法典ハ他ノ犯罪 (例、盜罪、姦淫罪等)ニ對スル刑ノ例ニ似ズ、傷害罪ノ刑ヲ輕ク規定シテ居ル。生命ヲ尊崇スル念慮ガ稀薄デアツタモノカ、又タ或ハ喧嘩ナド多クシテ到底一々極刑ヲ執行スルノ違ガナカッタモノカ、更ニ或ハ喧嘩ナドハ双方ノ責任ニ分擔セシメ、殊ニ故意ノ加害ニ非ラザル旨ノ宣誓 (§ 206—)ニ信賴ト同情ヲ拂ツタ爲メカモ知レス。

VI. 毆打流産致死

平民ノ婦人ヲ毆打シテ流産セシメタ者ハ、其胎兒ノ喪失ニ對シテハ銀十 Schekel (吾約十三圓) ヲ支拂ヒ (§ 209) 以テ其婦人ヲ死ニ致シタルトキハ、加害者ノ娘ヲ死刑ニ處スル (§ 210)。ヘブリウ法ハ毆打墮胎ノ罪ハ、被害者ノ夫ノ要求ニ基テ法官ガ認ムル所ノ刑ヲ科シ、若シ其婦人ヲ死ニ致シタ場合ニハ例ノ「タリオ」刑ニ從テ加害者ヲ死刑ニ處シタ (Exodus 21:22,23)。サレド「バビロン」ニ於ケルガ如ク無罪ノ娘ニ刑ヲ加フルコトヲ認メナカツタ。

尙ホ加害者ハ流産ノ被害婦ニ對スル責任トシテハ、銀五 Schekel (吾約六圓五十錢) ヲ支拂ヒ、若ノ其加害ノ爲メニ其婦人ガ死亡スレバ、銀半 Mina (吾約三十圓) ヲ支拂ハナケレバナラヌ (§ 211,212)。而シテ、下女ヲ毆打シテ流産セシメタ場合ハ銀二 Schekels (吾約二圓六十錢) ヲ支拂ヒ、若シ其死亡セル場合ハ銀三分ノ一 Mina (吾約二十圓) ヲ支拂ハナケレバナラヌ (§ 213, 214)。

VII. 被害法益ト制裁 (現代法ヲ考慮シテ)

被害者ノ身分ニ從テ加害者ノ責任ニ差等ヲ生ズルコトハ、被害者ノ受ケタ丈ケノ損害ヲ加害者ニ反響スルト云フ所謂 talio ノ思想カラ來タ責任制度デアルコトハ先キニモ述ベタ通りデアル。現代ノ文化國ニ於テモ程度ニ差等アル丈ケデ、此思想ガ行ハレテ居ルコトハ爭フコトガ出來ヌ。尤モ現代人ハ反響思想ヨリモ實損賠償思想ヲ以テ上述ノ差等ヲ認メテ居ルガ、其結果ニ

至テハ同一ニ歸スルデアロウ。又タ現代人ノ刑罰ニ於テモ、被害法益ニ因テ差等ヲ生ズルコトガ多イ。其理論的基礎ハ反響思想ヲ離レテ、寧ロ社會防衛思想又ハ犯人ノ改善思想ニ向テ居ル。サレド犯人ニ歸スル責任ノ結果ニ於テハ「タリオ」刑ヲ受ケタト同ジクナル。

又タ此法典ハ他ノ多クノ古代法ノ例ニ見ル如ク、刑事責任ト民事責任トヲ混ジテ居ル。被害者ニ對スル賠償ヲ以テ刑ヲ免カレタリ、實損ノ幾倍カラ賠償スル民事罰様ノモノガ科セラレルコトナドハ、何レモ民事責任ト刑事責任トノ混同ヲ表明スルモノデアロウ。

第十八節 醫者、獸醫及理髮者

I. 序 言

法典二一五條乃至二二七條ニハ人醫、獸醫、及ビ理髮者ノ報酬責任ニ關スル規定ガアル。法文ニ烙印者(“*Gallabum*,” Brander)ト掲ゲテアルノハ (§§ 226—227)、單ニ原文ノ通説ノ直譯語ニ過ギナイノデ、其實ハ理髮者位ノ意味ニ了解ス可キモノデアロウ。

然ルニ *Gallabum* ト云フノハ Winckler ナドノ譯ニ從ヘバ、理髮者ト云フコトニ當ルモノダトモ云フ。[ヘブリウ]語ニ於テモ *Gallab* ト云フノハ其意味ニナルカラ、或ハ此見解ノ方ガ直譯トシテモ正シイモノカモ知レス。サレド直譯語ノ當否ニ付テハ、更ニ考究ノ餘地モ多イ様デアルカラ、定見ヲ得ルニ至ラザル

自分ハ、假リニ通説ノ直譯語ニ從テ置ク。[バビロン]ニ於テハ烙印者即チ理髮者ハ簡易ナル、外科的手術ヲ營ンダモノラシイ。從テ[ハナムラビ]法典モ醫者ヤ獸醫ナドノ規定ニ列ネテ理髮者ノ規定ヲモ設ケタモノデアロウ。

II. 醫者ノ報酬

醫者ガ患者ノ重傷ヲ手術シテ生命又ハ眼ヲ救済スレバ、銀十 Schekel (吾約十三圓)ノ報酬ヲ得ラレル (§ 215)。若シ其患者ガ平民ナルトキハ、彼ノ報酬ハ其半額トナル (§ 216)。又タ其患者ガ奴隸ナルトキハ、奴隸主ハ銀二 Schekel (吾約二圓六十錢)ヲ支拂ヘバ宜イ (§ 217)。

又タ醫者ガ傷廢セル四肢ヲ回復シ、又ハ病腸ヲ治癒シタルトキハ、患者ハ銀五 Schekel (吾約六圓五十錢)、尤モ彼ガ平民ナルトキハ銀三 Schekel (吾約三圓九十錢)、其奴隸ナルトキハ奴隸主カラ、銀二 Schekel (吾約二圓六十錢)ヲ、醫者ニ支拂ハナケレバナラヌ (§ 221—223)。

III. 醫者ノ責任

醫者ガ手術ニ失敗ンテ患者ヲ殺シ、又ハ眼ノ附近ニ於ケル膿腫ヲ切開シテ、患者ヲ失明セシムルトキハ、醫者ノ手ハ切斷サレル (§ 218)。[ヘブリウ]ニ於テモ或特種ナル加害ニ對シテ、手ノ切斷刑ガ認メラレテ居ル (Deuteronomy 25·12)。

醫者ガ手術ニ失敗シテ、奴隸ヲ殺シタ場合ニハ、醫者ハ奴隸主ニ同價值アル他ノ奴隸ヲ賠償シナケレバナラヌ (§ 219)。若シ

單ニ奴隸ヲ失明セシメタ場合ニハ、奴隸ノ價值ノ半額ヲ賠償スレバ宜イ (§ 220)。

IV. 獸醫ノ報酬ト責任

牛醫又ハ驢醫ガ重傷ヲ負ヘル牛又ハ驢ヲ取扱ヒ、之ヲ治療シタルトキハ、其動物所有者ハ醫者ニ銀六分ノ一 Schekel (吾約二十一錢) ノ報酬ヲ支拂フ可シ (§ 224)。サレド醫者ガ其治療ヲ誤リ其動物ヲ殺シタルトキハ、其所有者ニ動物ノ價額ノ四分ノ一ノ賠償ヲ支拂ハナケレバナラス (§ 225)。

V. 理髮者(其他)ノ刑

理髮者(烙印者)ガ奴隸主ニ無斷ニテ、奴隸ヲ賣却シ得ザル旨ノ標識ヲ奴隸ニ附シタルトキハ、理髮者ノ手ハ切斷セラレル (§ 226)。是レ理髮者ノ職務ニ不忠實ナル行爲ヲ禁斷スル爲メノ制裁デアル。Harper ノ譯文ニテハ、指ノ切斷刑ト解セラレルガ、私ハ前ニモ述ベタ通り假リニ多數ノ解說ニ從ツタ。奴隸ノ標識ヲ附スルト云フ其實際ノ模様ハ審カデナイガ、Johns ナドノ推測カラスレバ、文身ヲ行ツタモノカトモ思ハレル。

理髮者ヲ欺イテ上ノ標識ヲ奴隸ニ附セシメタ者ハ死刑ニ處セラレル。理髮者ハ此場合ニ故意ニ行ソタモノデナイト云フコトヲ宣誓スレバ放免セラレル (§ 227)。

第十九節 家屋建築

I. 序 言

法典二二八條乃至二三三條ニハ家屋建築者ノ報酬額ト、彼ガ家屋ノ堅固ヲ保證ス可キ責任ニ關スル一連ノ規定ガアル。即チ請負契約ニ關スル一制度デアル。――

II. 建築者ノ報酬

家屋建築者ノ報酬ハ築造家屋ノ面積一 *Sar* (吾約四坪半) ニ付テ、銀二 *Shekel* (吾約二圓六十錢) ト定メラレテ居ツタ (§ 228)。此規定ハ大體ノ標準相場ヲ示シタモノデアルカラ、實際上ノ運用ニ於テハ固ヨリ報酬額ノ増減ヲ見タコトハ勿論デアル。サレド、當時、建築ノ様式等ハ單調デアツテ、建築場所ノ關係カラデモ無ケレバ、建築費ノ變動ハ少ナカツタモノラシイ。

III. 崩壊ト刑罰

建築者ハ自分ノ築造シタル家屋ガ堅固ナラザル爲メニ崩壊シテ、其所有者ヲ殺シタルトキハ、死刑ニ處セラレル (§ 229)。〔ヘブリウ〕立法ニハ是ニ相當スル規定ハナイガ、唯ダ建築ノ心得ニ關シテハ僅カナル規定ガアル (*Deuteronomy* 22.8)。上ノ場合ニ於テ家屋所有者ノ息子が殺サレタトキハ、建築者ノ息子が死刑ニ處セラレルノデアツタ (§ 230)。子ヲ以テ子ニ償フト云フ〔タリオ〕刑ハ前述セル如ク、一一六條ニモ、二一〇條ニモアル。此種ノ〔タリオ〕ハ〔ヘブリウ〕立法ノ明カニ禁ズル所デアツタコトモ前述シタ通りデアル。

IV. 崩壊ト賠償

又タ上ノ崩壊家屋ガ其所有者ノ奴隸ヲ殺シタ場合ハ、建築者

ハ他ノ奴隸ヲ給付シテ、其賠償ヲ爲サナケレバナラヌ (§ 231)。
尙ホ建築者ハ其崩壊ニ因テ或財産ヲ破壊セシメタ場合ニハ、之
ガ一切ノ損害ヲ賠償シ、且ツ自分ノ費用ヲ以テ、同家屋ヲ再築シ
ナケレバナラヌ (§ 232)。

建築者ガ家屋ノ築造ニ當テ工事ヲ誠實ニ完了セザル爲メニ、
壁ガ崩壊シタルトキハ、建築者ハ其費用ヲ以テ其壁ヲ修理シナ
ケレバナラヌ (§ 233)。

第二十節 船 舶

I. 序 言

法典二三四條乃至二四〇條ニハ船舶建造、船夫ノ責任、報酬及
ビ船舶衝突等ニ關スル規定ヲ納メテアル。其中ニハ近世ノ海法
ニ見ルガ如キ規定モアル。——

II. 船舶建造

船舶ノ建造ヲ請負ツタ者ノ報酬ニ付テモ、家屋ノ場合ニ於ケ
ルガ如ク、法典ニハ一定ノ標準規定ガアル。即チ其建造船ノ容
積六十 Gur (吾約九十六石餘) ニ付テ、銀二 Schekels (吾約二圓六
十錢) ノ割合ヲ以テ、報酬ガ支拂ハル可キモノデアツタ (§ 234)。
若シ其建造船ガ航海ニ適セズ、殊ニ出來ノ年、航海ニ上リテ損傷
ヲ受ケタ場合ニハ、彼ハ自分ノ費用ヲ以テ之ヲ堅固ナルモノニ
改造シテ引渡ス義務ガアル (§ 225)。

III. 船夫ノ責任及報酬

船夫ガ船主カラ船ヲ借受ケ、不注意ニ因テ船ヲ破損シ又ハ沈没セシメタルトキハ、彼ハ賠償トシテ船主ニ他ノ完全ナ船ヲ給付シナケレバナラス (§ 236)。

又タ或人ガ、船夫ト其船ヲ傭入レ、之ニ穀物、羊毛、油、^{〔ナツメジロ〕}等ヲ積ミタルニ、船夫ノ不注意ニ因テ船ヲ破損シ、荷物ヲ損傷シタルトキハ、船夫ハ船及ビ荷物ノ損害ヲ賠償シナケレバナラス (§ 237)。

船夫ハ他人ノ船ヲ沈没セシメテモ、之ヲ再ビ浮揚セシムルトキハ銀ヲ以テ其船價ノ半額ヲ賠償スレバ宜イ (§ 288)。

傭入レタ船夫ノ報酬ハ年額穀物六 ^{Gm.} (吾九石六斗餘)ヲ以テ法律上ノ標準トシテ居ル (§ 239)。此報酬ハ農夫又ハ牧人ノ八 ^{Gm.} 牛方ノ六 ^{Gur.} ト云フ様ナ報酬(後段詳述)ニ比ベルト、上述ノ如クニ船又ハ荷物ニ對シテ負擔スル責任ノ重イ割ニハ、少額ノモノデアツタ様ニ思ハレル。

IV. 船舶衝突

或船ガ投錨中ノ他船ニ衝突シテ之ヲ沈没セシメタ場合ニハ、沈没セシメタ船ノ所有者ハ、沈没セル船ノ所有者ガ神前(公開法廷)ニ於テ、宣誓シテ立證シタ丈ケノ損害ヲ賠償シナケレバナラス (§ 240)。

第二十一節 農業及牧畜

I. 序 言

バビロン人ノ生業トシテ最モ重要ナルモノハ、農業ト牧畜トデアツタ。法典二四一條以下ニハ是等ノ生業カラ生ズル一連ノ民事規定ガ掲ゲラレテアル。尙ホ法典四二條以下ニモ其レニ關スル一連ノ規定ガアル。前者ニ付テハ此節ニ於テ説明スルガ、後者ニ付テハ既ニ「第六節、不動産」中ニ説イタ。

兩者、其内容ニ於テ直接ニ交渉ハナイガ、相關連スルコトハ勿論デアル。法典ノ組織ハ彼ト此トヲ全ク別離シテ規定ヲ設ケタレド、研究者ハ之ヲ通讀スルコトガ必要デアル。斯クノ如クシテ「バビロン」人ノ農業生活ヲ推量シ得ルコトモ多イデアロウ。

II. 牛ノ差押

牛ハ「バビロン」人ノ農業ニハ缺ク可カラザル必要ノモノデアツタ。之ヲ失フトキハ、農民ハ日々ノ生活ニ支障ヲ來スノデアツタ。故ニ法典ハ債權者ガ勞働牛ヲ差押ヘルニハ銀三分ノ一 Mina (吾約二十圓) ヲ支拂フコトヲ要スルモノトナシ、成ル可ク其差押ヲ制限シテ居ソタ (§ 241)。斯クノ如キ社會政策的立法ハ近世法ニハ勿論、「ヘブリウ」古法ニモアツタ。即チ質物ヲ制限シタリ、質物ハ之ヲ日没前ニ返還ス可キコトナドヲ命ズル類ノ規定ガアツタ (Deuteronomy 24 6-12ff)。

III. 牛ノ貸借

勞働牛一頭ノ借貸ハ年ニ穀物四 Gur (吾約六石四斗三升二合)、乳牛一頭ノ借貸ハ年ニ穀物三 Gur (吾約四石八斗二升四合) ト定メラレテアル (§ 241-243)。尤モ乳牛 (Milk-cow) ナル語ハ

Johns ノ譯文ニ從ツタノデアルガ Harper ナドハ單ニ牛(Ox)ト譯シ、Davies ナドハ牧牛(an Ox of the herd)ト譯シテ居ル。

賃借中ノ牛又ハ驢ガ原野ニ於テ獅子ニ殺サレタ場合ハ、其損失ハ天運ノ然ラシムル所トシテ所有者ニ歸ス可キモノデアツタ。從テ賃借人ハ賠償ノ責任ヲ負ハナイ (§ 244)。同様ノ規定ハ「ヘブリウ」立法ニモアル(Exodus 22:13)。サレド賃借人ガ其動物ノ飼養ヲ怠リ、又ハ之ヲ虐待シテ殺シタ場合ニハ、彼ハ其レト同價值ノ動物ヲ以テ所有者ニ賠償シナケレバナラヌ (§ 245)。此法文ハ牛ノ場合ヲ標準トシテ規定シテ居ルガ、牛以外ノ動物(例、驢)ノ場合デモ同様デアルコトハ、其前條トノ關係カラ見テモ明カデアリ、且ツ例示式規定ノ特色カラ見テモ、斯クノ如ク解釋ス可キデアル。以下數條ノ法文ニ於テモ同様デアル。

牛ヲ賃借セル者ガ牛ノ脚ヲ挫キ又ハ其首筋ヲ切り取ルトキハ、彼ハ之ト同價值ノ他ノ牛ヲ以テ所有者ニ賠償シナケレバナラヌ (§ 246)。又タ法典ニハ賃借牛ノ眼ヲ失明セシメタ場合ニハ、其牛ノ價額ノ半分ヲ、角又ハ尾ヲ切斷シ若シクハ鼻孔ヲ損傷シタル場合ニハ、牛ノ價額ノ四分ノ一ノ賠償ヲ爲ス可キモノト定メテアル (§§ 247. 248)。

賃借牛ガ自然ニ死亡シタル場合ニハ(神ノ打殺)、賃借人ハ其不注意ニ基イタモノニ非ラザルコトヲ、神前(公開廷)ニ於テ宣誓立證スレバ免責サレル (§ 249)。

IV. 牛ノ危害

法典ハ牛ガ市中ヲ通行スル際ニ人ヲ衝イテ殺シテモ、天運ノ然ラシムル所デアツテ、何人ニモ責任ハ無イモノトシテ居ル (§ 250)。サレド〔イスラエル〕ニ於テハ、〔バビロン〕ニ於ケルヨリハ人生ト云フモノヲ尊重シテ居ツタカラ、斯カル場合ニハ牛ヲ殺サナケレバナラナカツタ。即チ〔牛ヲ石ニテ打殺シ、其肉ヲ食フ可カラズ、牛ノ所有者ニハ責任ナシ〕ナドト定メテアル (Exodus 21:28)。

尤モ〔バビロン〕ニ於テモ牛ガ人ヲ衝ク常習アツテ、所有者ハ世人カラ其コトヲ注意サレテ居ツタニモ拘ハラズ、牛ノ角ヲ防護スルコトヲ爲サズ、又タ之ヲ監禁モセズニ置イタ様ナ場合ハ、所有者ニ責任ヲ生ズルモノトシテ居ル。即チ其牛ガ平民ノ子ヲ衝イテ殺シタ場合ニハ、銀半 Mina (吾均三十圓)、奴隸ヲ殺シタ場合ニハ、銀三分ノ一 Mina (吾約二十圓) ヲ賠償シナケレバナラヌ (§§ 251. 252)。此種ノ場合ハ〔イスラエル〕ニ於テハ單純ナ賠償責任位デハ濟マナカツタ。貴重ナル人命ノ侵害デアルカラ、嚴重ナル刑罰ト賠償が行ハレタ。即チ牛ガ人ヲ衝ク性質ヲ有シ、世人カラ其レニ付テ注意ヲ受ケタルニ拘ハラズ、所有者之ヲ守ラズシテ、遂ニ其牛ガ人ヲ衝キ殺サバ、牛モ其所有者モ殺サレル。又タ被害者ノ男女ヲ區別セズシテ、求メラルルガ儘ニ其生命ノ賠償ヲ爲ス可ク、唯ダ被害者ガ奴隸又ハ下人ナル場合ニハ其主ニ銀三十 Schekel (吾約三十九圓) ヲ支拂ヘバ宜イ。何レニシテモ牛ハ常ニ石ニテ打殺サレルト云フノデアツタ (Exodus

21:29-32)。

V. 農夫ノ責任

土地耕作ノ爲メニ傭ハレタ農夫ガ種子ヲ收穫ヲ横領シテ 發見サレタ場合ニハ彼ノ手ハ切斷サレル (§ 253)。Harper ノ譯文ニテハ一九五條ノ場合ノ如ク、[指]ノ切斷ト解シテ居ルガ、私ハ前ノ通り Davies ヤ Johns ナドノ譯文ニ從ツテ[手]ノ切斷ト解シテ置ク。

尙ホ農夫ガ地主カラ受取ツタ種子ヲ横領シタリ、又タ地主カラ委頼サレタ牛ヲ過勞セシメタルトキハ、其損害ヲ賠償シナケレバナラス (§ 254)。Winckler ヤ Davies ナドノ見解ニ依ルト、原文ハ牛ヲ過勞セシムルコトデハナク、却テ牛ヲ使役セザル場合ノ規定デアルト云フ。私ハ法文ノ理義ヲ通ゼシムル爲メニ、假リニ Johns ヤ Harper ナドノ譯文ニ從テ上述ノ如ク説イタノデアルガ、何レガ果シテ法文ノ眞意デアソタカニ付テハ疑ニ滿チテ居ル。

若シ農夫ガ預カツタ牛ヲ他人ニ轉貸シ又ハ種子穀ヲ横領シテ、土地ノ耕作ヲ怠ルトキハ、法官ニ訴ヘラレテ、土地十 Gan (吾約八萬一千六百坪)ニ付テ、穀物六十 Gur (吾約九十六石四斗八升)ノ賠償ヲ爲サナケレバナラス。尤モ Winckler ハ百 Gan ト譯シ、Johns ハ一 Gan ト譯シテ居ル。Harper 及ビ Davies ナドノ譯文ニテハ上述ノ如ク十 Gan トアル。何レニ從テモ當時此地ノ耕農ハ大規模ノモノデアツタコトガ推量サレル。

若シ農夫ガ此賠償義務ヲ果スコトガ出来ナケレバ、彼ハ家畜ト共ニ原野ニ遺棄サレル (§ 256)。此制裁ノ意味ハ曖昧デアルガ、Johns ノ見解ニ從ヘバ〔牛ヲ以テ肉片ニ引キ裂ク〕(be torn in pieces by the oxen) コトデアルト云フ。又タ Winckler ナドノ解説デハ賠償責任ハ、此場合ニハ結局、團體ニ轉嫁スルコトヲ意味スルノダトモ云フ。原文ニ精通セザル自分ハ此問題ヲ暫ク後日ノ爲メニ留保スルコトニスル。

VI. 野外盜難

野外ニ於テ水車ヲ盜取シタ者ハ其所有者ニ銀五 Shekels (吾約六圓五十錢)、水桶又ハ鋤ヲ盜取シタルトキハ銀三 Shekels (吾約三圓九十錢) ヲ賠償シナケレバナラス。此賠償額ハ罰金ノ意味ニ於テ實損ノ幾倍カニ當ル額デアルコトハ、當時ノ事情ニ徴シ且ツ法典ノ主義ニ鑑ミテ疑ハナイ。法典八條ナドノ例ニ徴スレバ、實價ノ十倍位ニ當ル額ヲ標準トシタモノカト思ハル。

VII. 牛羊ノ飼養

當時〔バビロン〕ニハ牛又ハ羊ヲ牧人ニ寄託シテ飼養セシムル習慣ガアツタ。其習慣ハ〔イスラエル〕ニモアツタコトハ〔モーゼ〕法ニモ明カデアル。

牛又ハ羊ノ飼養ヲ寄託サレタ牧人ガ、之ヲ喪失シタル場合ニハ、其賠償ヲ爲サナケレバナラス (§ 263)。〔ヘブリウ〕立法ニハ直接ニ比較ス可キ規定ハナイガ、唯ダ寄託動物ニ付テハ受託者ハ盜難ノ場合ニハ賠償シナケレバナラスガ、他人カラノ殺傷ノ

場合ニハ其損害ハ所有者(寄託者)ニ歸スルモノト定メテアル(Exodus 22:12, 13)。

牧人が賃料ヲ受ケ乍ラ誠實ニ飼養セズ、却テ牛羊ノ頭數ヲ減少シ又ハ其増殖率ヲ減ジタルトキハ、彼ハ契約ノ趣旨ニ從テ、其減少ヲ填補シ且ツ其増殖ヲ計ル責任ヲ果たサナケレバナラス (§ 264)。

又タ牛羊ノ飼養ヲ寄託サレタ牧人が、不實ノ所爲ヲナシ又ハ其増殖ノ返還ニ付テ不正ノコトヲナシ、若シクハ牛羊ヲ他人ニ賣却シタルトキハ、彼ハ盜財トシテ法官ニ告訴サレ、所有者ニハ損害ノ十倍ヲ賠償シナケレバナラス (§ 265)。^{〔ヘブリウ〕}立法ニ於テハ此種ノ場合ニハ五頭ノ牛ヲ以テ一頭ノ牛ヲ賠ヒ、四頭ノ羊ヲ以テ一頭ノ羊ヲ賠フ可キモノトシテ居ル。尤モ實物ヲ返還スル場合ニハ二倍ノ賠償ニテ足ルコトニナツテ居ツタ(Exodus 22:1, 4)。故ニ^{〔バビロン〕}ノ十倍主義ニ比ブレバ餘程寛大ナモノニナツテ居ツタ。

牧舎ガ天災ヲ蒙リ又ハ獅子ノ加害ニ因テ生ジタ、飼養動物ノ死傷ハ、牧人が其無罪ヲ宣明スルトキハ、所有者ニ於テ其損失ヲ認容シナケレバナラス (§ 266)。サレド、牧人ノ不注意ニ因テ生ジタ其等ノ損失ハ、彼自ラ之ヲ填補シテ、受託ノ牛羊ヲ其所有者ニ返還シナケレバナラス (§ 267)。

第二十二節　賃料ノ公定

I. 序 言

ハノムラビ法典ニハ多クノ古代法典ニモ見ルガ如ク、機械的ニ殊ニ數字的ニ劃一式ノ規定ガ甚ダ多イ。前ニモ屢述ベタ様ニ此法典ニハ損害賠償額、小作料、賃借料、雇人ノ給料、技術家ノ報酬、及ビ物價等ニ付テ、具體的ニ一定ノ數額ヲ規定シテアル。更ニ法典ニハ特種ナル勞働者ノ給料ヤ、物ノ損料等ニ關スル一連ノ規定ヲモ配列シテアル。

此種ノ數額ヲ立法的ニ整理統一シテ、經濟生活ノ健全ナル發達ヲ計ルト云フコトニ付テハ、近世ニ於テモ屢試ミラレタ、又タ現下ノ問題トシテモ屢提唱セラレルコトガアル。時ノ古今、洋ノ東西ヲ問ハズ、人生ノ問題ハ往々ニシテ循環シツ、進化發展シテ居ルコトガ感ゼラレル。

II. 農夫及牧人ノ年給

古代「バビロン」ノ原野ニ於テ勞働スル農夫、牛方、及ビ牧人等ハ、自然經濟式ニ穀物ヲ以テ收穫期ニ於テ、年額拂ノ給料ヲ以テ傭ハレルノガ一般ノ慣習デアツタ。法典ハ農夫及ビ牧人ニハ穀物八 Gur (吾約十二石八斗六升四合)、牛方ニハ同六 Gur (九石六斗四升八合)ノ年給ヲ支拂フノガ傭主ノ責任デアルト規定シテ居ル (§§ 257. 258. 261.)。

III. 農事日傭

農事ニ付テモ、特種ナル場合ニハ日傭制度ガアル。即チ脱穀ノ爲メニ牛ヲ傭入レルトキハ、穀物二十 Ka (吾約一斗一升)、驢

ヲ傭入レルトキハ、同十 Ka(吾約五升五合)、幼動物(Lalu)ヲ傭入レルトキハ、同一 Ka(吾約五合五勺)ノ賃料ヲ拂ハナケレバナラス (§§ 268-270)。此賃料ハ如何程ノ期間ヲ標準トスルモノデアルカ、法文ニハ示シテナイ。サレド當時ノ賃率カラ推量シ、且ツ後段ノ規定トノ關係カラ見レバ、日割ヲ以テ定メラレタモノト解釋シナケレバナナルマイ。尤モ法文ノ解釋ニ付テハ異論アリテ、Davies ナドハ驢ノ賃料ハ二十 Kaデ (§ 269)、幼動物ノ賃料ハ十 Ka デアルト解シテ居ル (§ 270)。私ハ Harper 及ビ Johns ナドノ譯解ニ從テ上ノ加ク説ク。

牛、荷車及ビ御者ヲ傭入レル者ハ一日ニ付キ穀物百八十 Ka(吾約九斗九升)ノ賃料、荷車ノミヲ傭入レル者ハ一日ニ付キ穀物四十 Ka(二斗二升)ノ損料ヲ拂ハナケレバナラス (§271. 272)。

IV. 一般勞銀

一般勞働者ノ給料ハ銀ヲ以テ日割拂トスルノガ當時ノ慣習デアツテ、其數額ニ付テハ時節ニ依テ差等ヲ認メタ規定ガアル。即チ新年カラ第五月迄(廣ク現今ノ四月乃至八月)ハ、勞働者ノ繁忙期デアツテ、其賃銀ハ一日銀六 Se(吾約四錢三厘)、第六月カラ年ノ終迄(廣ク現今ノ九月乃至四月)ハ一日銀五 Se(吾約三錢六厘)ト公定サレテアツタ (§ 273)。

V. 職人ノ賃銀

法典ハ燒物工、裁縫工、石工、及ビ大工等ノ職人給モ日割ニテ銀五 Se カ四 Se 位ヲ支拂フ可キモノト定メテ居ル (§ 274)。尤

モ石柱ノ原文ハ損傷シテ不明瞭ニナツテ居リ、本條ハ完全ニ讀ミ盡スコトガ出來スコトハ遺憾デアル。何レニシテモ日傭職人ノ賃銀ガ、今ノ吾通貨ニ換算シテ三四錢位ノモノデアル所カラ見レバ、當時穀物其他ノ生活資料ナドハ如何ニ低廉ナモノデアツタカヲ知ルコトガ出來ル。

VI. 船ノ損料

船ヲ借入レタ場合ノ損料ハ一日ニ付テ普通船ハ銀三 Se (吾約二錢二厘)、漕船ハ同二 Se (吾約一錢四厘) トシ (§§ 275. 276)、六十 Gur (吾約九十六石四斗八升) ノ船ハ銀六分ノ一 Schekel (吾約二十二錢) ノ割合ヲ以テ計算サル可キモノデアツタ (§ 277)。之ヲ當時ノ船ノ代價ニ比較スレバ十二分ノ一位ニ當ル。

第二十三節 奴隸ノ賣買其他

I. 奴隸ノ瑕疵

前ニモ一言シタル如ク古代「バビロン」ニ於テハ永年ノ間、奴隸ニハ奴隸票 (Sklavenmarke) ガアリ、尙ホ奴隸ノ頸部ニハ其標識ヲ附シタ鏈ヲ附ケテ居ツタ (Kohler, S. 65)。斯ノ如クシテ奴隸ハ人間ト云フヨリハ寧ロ普通ノ財貨ノ如ク賣買ノ目的物デアツタ。從テ其賣主ハ財貨ノ賣主ノ如ク、買主ニ對シテハ目的物ノ擔保責任ヲ負ハナケレバナラナカツタ。例バ賣渡後一ヶ月内ニ其奴隸ガ「ベヌ」病 (Bennu) ニ罹ツタ場合ハ、賣主ハ之ヲ引取り、代金ヲ買主ニ返還シナケレバナラス (§ 278)。是レ賣主ノ瑕疵

擔保責任ノ原則デアツタ。〔ペンヌ〕病トハ如何ナル疾病デアツタカ詳カデナイガ、麻痺性ノ風土病デアツタトモ云ハレル。〔ハンムラビ〕以後ノ立法ニモ之ト同種ノ規定ガアツタ。其レニヨルト賣主ハ代價ヲ返還シテ奴隸ヲ引取ルノミナラズ、女奴隸ナレバ其レガ生ンダ子供ハ一人ニ付キ銀半 Schekel (吾約六十五錢) ヲ支拂ツテ買取ラナケレバナラストアル。而シテ賣主ガ斯カル責任ヲ負フ可キ期間ニ付テハ法文ニハ不明デアルガ、重大ナル理由アル場合ニハ賣主ハ何時ニテモ、其責ニ任ズ可キモノデ、病氣ヲ理由トスル抗辯ハ一ヶ月位ノ制限ヲ受ケテ居ツタモノデアロウ。尤モ〔アツシリア〕ニ於テハ百日間此抗辯ヲ許シテ居ツタト云フ (Johns, Babylonian and Assyrian Laws, Contracts and Letters, p. 70)。何レニシテモ奴隸ノ賣主ノ責任ニ關スル〔ハンムラビ〕法ノ原則ハ、〔バビロン〕〔アツシリア〕ヲ通ジテ永ク後世ニ行ハレタコトハ明カデアル。

II. 奴隸ノ追奪

奴隸ノ賣主ハ買主ガ第三者ヨリ奴隸ヲ追奪サレタ場合ニモ、責任ヲ負ハナケレバナラヌ (§ 279)。是レ近世ニ於ケル一般賣主ノ責任ヲ完ウセシムル爲メニ認ムル原則ト一致スル。

外國ニ於テ買入レタ奴隸ヲ追奪サレル場合ニハ、其奴隸ガ自國人ナル限リハ買主ハ、無償ニテ其奴隸ヲ前所有者ニ返還シナケレバナラヌ (§ 280)。此規定ハ當時〔バビロン〕ヲ脱出シテ近隣ノ外國ニ居ツタ奴隸ガ、〔バビロン〕ニ買取ラレテ輸入サレタ場合

ニ屢起ツタ事件ヲ背景トシタモノノ様デアル。

若シ其奴隸ガ他國人ナルトキハ奴隸主ハ無償ニ回復スルコトハ出来ヌ。即チ買主ガ支拂ツタ丈ケノ代金ヲ賠償シナケレバナラス。買主ガ支拂ツタ代金額ハ、彼ガ神前(公開廷)ニ於テ宣誓シナケレバナラス (§ 281)。

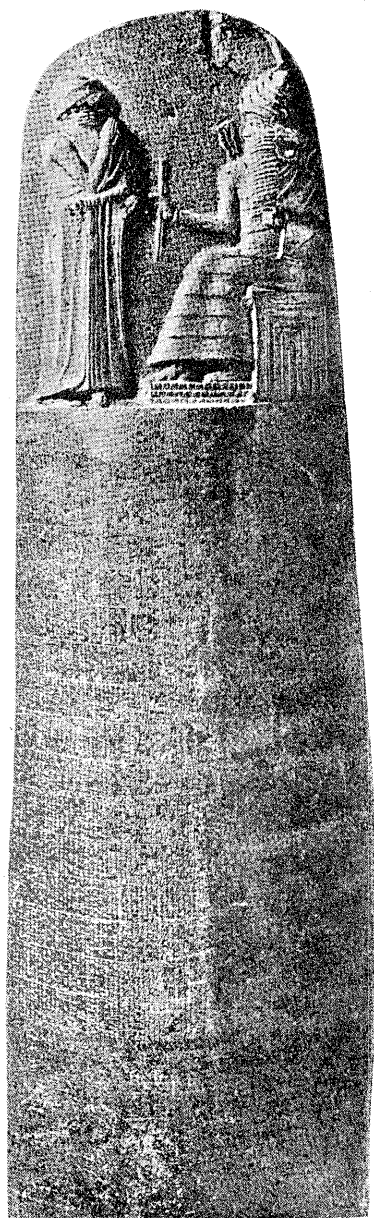
當時奴隸ハ如何程ノ代價ニテ賣買サレタモノカ、精細ニ知ルコトハ出来ヌガ、法文ニ現ハレタ奴隸ノ損失ノ賠償額ナドカラ推量スレバ、奴隸一人ノ代價ハ普通三分ノ一 Mina (吾約二十圓) 位ノモノデアツタカト思フ (§ 252)。又タ古代ヘブリウ族ニ付テモ此種ノ方法デ推量スレバ、[バビロン]ニ於ケルヨリハ一般ニ高價デアツテ、其奴隸一人ノ代價ナルモノハ通常三十 Schekels 位(吾約三十九圓)ノモノデアツタカト思フ (Exodus 21:32; Zechariah 11:12, 13; Matthew 26:15)。Dummelow ナドハ此方法ニ依ル推量ヲ以テ奴隸價額ヲ三[ポンド]十[シリング]ト算出シテ居ル (Dummelow, The One Volume Bible Commentary, London, 1910, p. 70)。

III. 奴隸ノ反抗

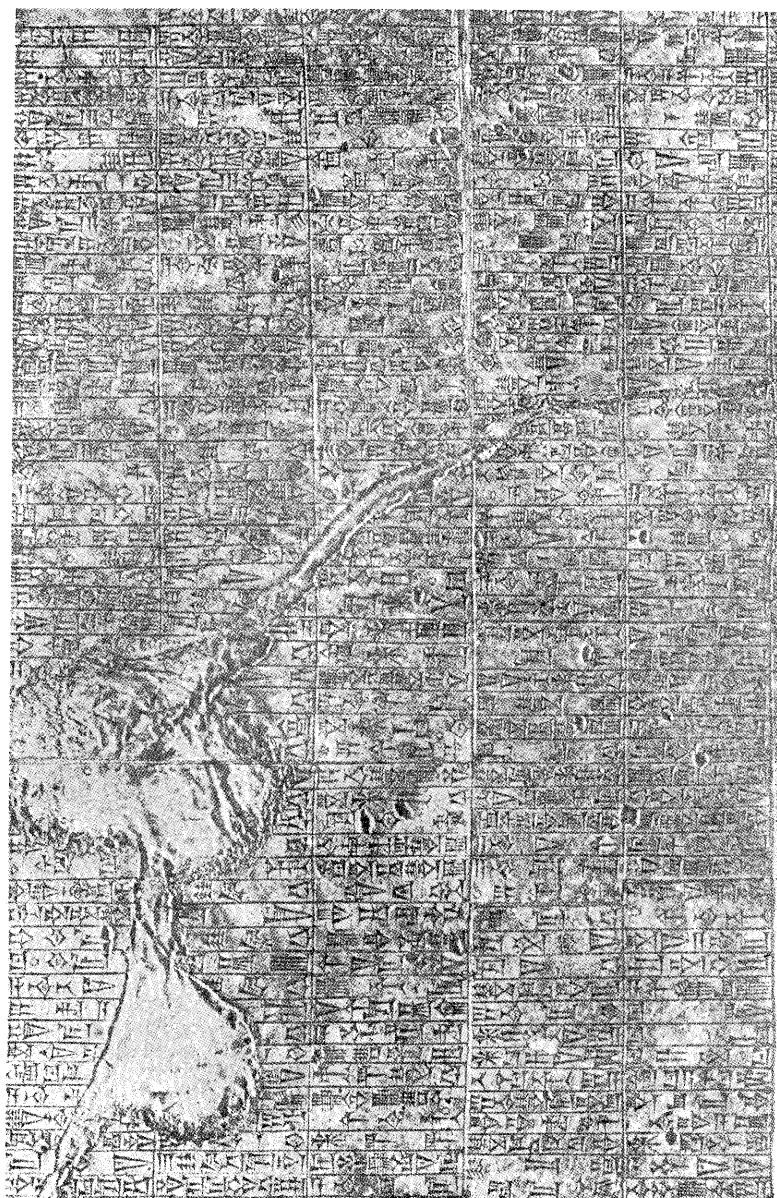
奴隸ガ其主人ニ向テ反抗シテ、例ヘバ[汝ハ自分ノ主人ニ非ズ]ト云フ様ナコトヲ言ヘバ、其主人ガ自分ノ奴隸ナルコト(例ヘバ買入ノ事實)ヲ立證スレバ、主人ハ法官ノ裁判ヲ受ケテ奴隸ノ耳ヲ切斷スルコトガ出来ル (§ 282)。

ヘブリウ法ニ於テモ之ト少シク場合ヲ異ニスルガ、同ジク奴

隸ガ主人ニ反抗シタル場合ニ、主人ハ奴隸ノ耳ヲ刺シ抜ク可シト云フ刑ガ認メラレテ居ル (Exdous 21:5. 6)。兩法共ニ刑ノ執行ヲ一私人ニ許シテ居ル。



表面ノ圖ハ先年[ペルシア]ニ於テ發見
サレ、今ハ[フランス]ノ[ルーブル]博物
館ニ保存サレテアル、**ハンムラビ**法典ヲ
彫刻セル石塔ノ寫眞デアリ——此複寫ニ
付テハ早稻田大學講師定金右源治氏藏書
(Morris Jastrow Jr., Bildernappe zur
Religion Babyloniens und Assyriens) ニ
據ツタ



表面ノ圖ハ楔形文字ヲ以テ記錄サレタ
ハンムラビ王ノ法文ノ寫眞デアリ——此
ノ複製ニ付テハ、早稻田大學圖書館藏書
(Robert Fra cis Harper, The Code of
Hammurabi King of Babylon about
2250 B. C.) ニ據ツタ。

第三章 法典(譯文)

次ニ掲載スル「ハンムラビ」法典ノ譯出ニ付テ始尾參照シタルモノハ、前掲セル Harper ヤ Johns ヤ Davies ノ三著デアル。其他ノモノハ疑問起ル毎ニ局的部ニ參照シタル丈ケデアル。從テ私ノ譯文ハ其等ノ何レノモノトモ「全然一致」スルコトハ出來ナカツタ。

譯文ノ綴方ニ付テハ成ル可ク、原文ノ風趣ヲ保存スル爲メニ、直譯體ニ據ルコトヲ努メタルモ、直譯體ニテ意味ノ通ゼザル恐レアル點ニ付テハ意譯體ニ終ツタ點モ多イ。神名・人名・地名等ノ固有名詞ハ強イテ音字ノ不十分ナル吾文字ニテ表ハスヨリハ歐文字ニテ表ハスコトニスル。横組出版ノ特長ノ一ツハ斯クノ如キ便宜ヲモ與ヘルガ爲メデアル。

元來此法典ニハ分類ノ形式ガ行ハレテ居ラス。何章何節モ無ケレバ、何條ノ區別モ無シニ始カラ終マデ、書き流シ體ニナツテ居ル。サレド今日之ヲ精讀シテ見ルト、自ラ其間ニ不完全ナガラ區分ガアリ、分類モ出來テ居ル。今日ノ分類ニ從ヘバ四十四章二百八十二條トスルノガ普通デアル。以下此分類ニ從テ法文ノ邦譯ヲ掲ゲヨウ。

尙ホ茲ニ一言ス可キコトハ、「ハンムラビ」法典トイフ様ナ名稱ハ石塔ノ原文中ニ表ハレタモノデハナイコトデアル。又其他ノ古記録ニモ斯様ナ名稱ノ存スルコトハ未ダ發見サレテ

居ラス。此名稱ハ前述ノ如ク Dilitzsch 氏ニ依テ附セラレ、學界一般ニ通用サレテ居ル丈ケノコトデアル。

以下譯文中ノ § ノ次ノ數字ハ是迄慣用セル如ク法文ノ條數ヲ示シ、括弧内ノ Col. ノ次ノ數字ハ法典ノ欄數ヲ表ハス。

前文 (Kol. I—V)

崇高ナル *Anunniki* ノ王 *Anu* ト *Bel* ガ天地ヲ支配スルニ當リ、土地ノ命數ヲ決定スル所ノ彼ハ、*Ea* ノ主子 *Marduk* ニ總テノ人類ノ法則ヲ行ツタ。彼等ガ *Igigi* ノ中ニ於テ彼ヲ偉大ニシタ時ニ、彼等ガ *Babylon* ノ崇高ナル名ヲ發音シタル時ニ、彼等ガ世界ノ四分ノ一ニ於テ、之ヲ有名ニシ、而シテ其中央ニ永遠ノ王國ヲ建設シタ時ニ、其基礎ハ天地ノ如ク堅固デアツタ。——其時ニ於テ *Anu* ト *Bel* ハ朕ヲ呼ンデ、*Hammurabi* トナシ、崇高ナル君子トナシ、諸神ノ崇拜者トナシ、此地ニ正義ヲ説キ、不善ト邪惡ヲ破リ、强者ガ弱者ヲ壓迫スルコトヲ制止シ、太陽ガ黑頭種族ヲ支配スルガ如ク出デ、此地ヲ開明ニ導キ、而シテ民衆ノ安寧ヲ促進セシメタ。豊富ヲ齎ラシ *Nippur* ト *Durilu* ヲ萬事完全ニシタル朕ハ、*Bel* ニ依テ指名サレタ支配者 *Hammurabi* デアル、*E-kur* ノ崇高ナル維持者デアル、*Erišu* ヲ回復セル賢明ナル王デアル、世界ノ四分ノ四ヲ攻陷シタル者デアル、*Babylon* ノ名聲ヲ大ナラシメタ者デアル、聖 *Marduk* ノ心ヲ喜バシタ者デアル、日常 *Esagila* ニ仕ヘタ者デアル、罪ヲ生メル王族ノ者

デアル、*Ur* ノ都ヲ富有ニシタ者デアル、*E-gis-sir-gal* ニ豊富ヲ齎ラシタ敬神深イ祈願者デアル、有力ナル *Shamash* ニ從順ナル外交的ノ王デアル、*Sippar* ヲ復興シタ者デアル、*Malkat* ノ諸神社ヲ縁ヲ以テ閉デタ者デアル、天飾ヲ施シタルモノ、如ク *E-bab-bara* ヲ裝飾シタル者デアル、*Larsa* ノ防禦者タル勇士デアル、*Shamash* ノ爲メニ *E-babbara* ヲ再興シタル其救助者デアル
Uruk ノ都ニ生命ヲ與ヘタ領主デアル、其住民ニ澤山ノ水ヲ供給シタ者デアル、*Eanna* ノ小塔ヲ起シタ者デアル、*Anu* ト *Nana* ニ富ヲ齎ラシタ者デアル、此地ノ非凡ナル防禦者デアル、*Nish* ノ離散セル民衆ヲ糾合セル者デアル、*E-gal-mah* ニ著大ナル富ヲ供給シタ者デアル、*Za-ma-ma* ノ兄弟タル都市王、君子デアル、*Kish* ノ建設ノ基礎ヲ定メタ者デアル、*E-te-me-ur-sag* ヲ美事ニ包圍シタ者デアル、*Nana* ノ大神社ヲ構造シタ者デアル、*Hur-sag-kalama* ノ寺ナル敵ノ墓ノ保護者デアル、彼ノ救助ハ勝利ヲ導イタノデアル、*Uthta* ノ制限ヲ擴張シタ者デアル、*Shid-lam* ヲ多方面ニ擴張シタ者デアル、敵ヲ衝ク英雄デアル、*Tu-tu* ノ愛人デアル、*Borsippa* ノ都ヲ建設シタ者デアル、*Ezida* ノ安寧ヲ怠ラナカッタ貴人デアル、*Dilbat* ノ所領ヲ擴大シタ賢明ニシテ才智アル神都王デアル、有力ナル *Urash* ノ爲メニ穀物ヲ貯藏シタ者デアル、賢明ナル神 *Ma-ma* ガ完全ナル權力ヲ以テ給與セル笏ト冠ヲ以テ盛裝シタル主君デアル、*Kish* ノ境界ヲ決定シタ者デアル、*Nin-tu* ノ爲メニ光輝アル饗應ヲ華美ニシタ者デアル、

Shir-pur-la (*Lagash*) 及ビ *Girsu* ノ爲メニ牧場ト水場トヲ定メ
 タ賢明ニシテ完全ナル者デアル、五十寺 (*Temple of Fifty*) ノ爲
 メニ著大ナル供物ヲ用意シタ者デアル、敵ヲ捕獲シタ者デアル、
 崇高ナル神ノ愛人(神使)デアル、*Aleppo* ノ法律ヲ施行シタ者デ
 アル、*Anunit* ノ心ヲ喜バシタ者デアル、誓約シテ *Adad* ヲ認知
 シタ著名ナル主君デアル、*Karkar* ニ於テハ勇士 *Adad* ノ心ヲ
 慰撫シタ者デアル、*E-ul-gal-gal* ニ於テ裝飾ヲ施行シタ者デア
 ル、*Ud-nun-ki* ニ生命ヲ與ヘタ王デアル、*E-mah* 寺ノ寄贈者デ
 アル、貴族市ノ王デアル、匹敵スル者ナキ軍人デアル、*Mashkan-*
shabri ノ都ニ生命ヲ與ヘタ者デアル、*Shid-lam* ニ富ヲ注イタ者
 デアル、山賊ヲ捕ヘ災厄ニ際シテハ *Malka* ノ民人ニ避難所ヲ用
 意シタ賢明ナル統治者デアル、彼等ノ爲メニ多クノ住居ヲ發見
 シタ者デアル、*Ea* 及ビ *Dam-gal-nanna* ノ爲メニハ常ニ立派ナ
 ル供物ヲ爲シ其領域ヲ擴張シタ者デアル、此市ノ指導者タル王
 デアル、*Euphrates* ニ沿フテ植民地ヲ開拓シタ者デアル、*Dagan*
 ノ勇士・其造物主デアル、*Mera* 及ビ *Tutul* ノ民人ヲ防護シタ
 者デアル、*Nana* ニ惠ヲ施シタ者デアル、*Nin-a-zu* ノ爲メニ立
 派ナ響應ヲ施行シタ者デアル、必要アルトキハ彼ノ民人ヲ救助
 スル者デアル、*Ba'ylon* ニ於テハ彼等ノ財産ヲ保證スル者デア
 ル、民衆ノ統治者デアリ、*Anunit* ニ快ク仕ヘル使者デアル、
Agane ノ廣場ニ於ケル *E-ul-mash* ニ *Anunit* ヲ安置シタ者デ
 アル、正義ヲ施行シ權利ヲ以テ民族ヲ支配シタ者デアル、慈悲深

キ保護厚キ上帝ヲ *Ashur* ニ返還シタ者デアル、日ノ出ヲ光輝アラシメタ者デアル、*Nineveh* ニ於ケル *E-mish-mish* ニ於テ *Nana* ノ名ヲ光榮アラシメタ王デアル、大諸神ニ祈願ヲ爲ス貴人デアル、*Sumubailu* ノ子孫 *Sinmuballit* ノ有力ナル子、王族ノ古イ子孫デアル、有力ナル王デアル、*Babylon* ノ太陽デアル、*Sumer* 及ビ *Akkad* ノ地ニ光ヲ輝カス者デアル、世界ノ四分ノ四ヲ征服シタ王デアル、*Nana* ノ愛人デアル。*Marduk* ガ民衆ヲ支配シ此國土ヲ救済スル爲メニ朕ヲ遣ハシタ。故ニ朕ハ此地ニ法律ヲ制定シ正義ヲ定メテ民衆ノ幸福ヲ増進シタ。

§ 1 (Col. V)

或人ガ呪咀 (*Nêrtu*) ヲ立テ他人ヲ告發シ其罪ヲ證明スルコトガ出來ヌ場合ニハ死刑ニ處セラルベシ。

§ 2 (Col. V)

魔術 (*Kišpu*) ヲ用キタコトヲ揭ゲテ他人ヲ告發シタ者ガ其罪ヲ證明スルコトガ出來ナケレバ、被告ハ聖河ニ飛込ムコトヲ要シ、而シテ若シ彼ガ溺レタ場合ニハ、告發人ハ被告ノ住宅ヲ獲得スベシ。

若シ被告ガ溺レナケレバ彼ノ無罪ヲ意味スルモノデアツフ、此場合ニハ告發人ハ死刑ニ處セラルベシ。而シテ被告ハ告發人ノ住宅ヲ獲得スルコトガ出來ル。

§ 3 (Col. V)

事件ノ審理中ニ虚偽ノ證據ヲ立テ又ハ彼ノ爲シタ陳述ヲ確實

ニセザル者ハ、若シ其事件ガ生命ニ關スルモノデアレバ其者ハ死刑ニ處セラルベシ。

§ 4 (Col. V)

穀物又ハ金錢ヲ收賄シテ不正ノ證據ヲ立テタ者ハ、其レガ爲メニ生ジタ損害ヲ賠償シナケレバナラス。

§ 5 (Col. VI)

法官ガ評決ヲ與ヘ、決定ヲ爲シ、記録シタル判決ヲ下シ、而シテ其後ニ至リ其判決ヲ變更シタル場合ハ、其法官ハ彼ノ爲シタ判決ノ變更ニ付テ問責サレ、且ツ其判決ニ下サレタ罰金ノ十二倍ヲ支拂フベシ。更ニ彼ハ法官ノ席カラ公ニ放逐サレ再ビ法官ノ席ニ就クコト能ハザルベシ。

§ 6 (Col. VI)

寺院又ハ宮殿カラ財物ヲ盜取シタル者ハ死刑ニ處セラルベシ。盜人カラ盜品ヲ取得シタル者モ死刑ニ處セラルベシ。

§ 7 (Col. VI)

少年又ハ奴隸カラ、金、銀、男又ハ女ノ奴隸、牛、羊、驢、其他ノ物ヲ、少年保護者又ハ奴隸主ノ承諾無シニ買得シ又ハ寄託ヲ受ケタ者ハ、盜賊トシテ死刑ニ處セラルベシ。

§ 8 (Col. VI)

寺院又ハ宮殿カラ牛、羊、驢、豚、又ハ船ヲ盜取シタ者ハ三十倍ヲ賠償スベシ。尤モ平民カラ盜取シタ場合ニハ十倍ヲ賠償スベシ。其盜賊ガ支拂フコトガ出來ナケレバ死刑ニ處セラルベシ。

§ 9 (Col. VI—VII)

物品ヲ遺失シタル者ガ他人ノ占有中ニ於テ其遺失物ヲ發見シタ場合ニ、遺失物ノ占有者ガ證據ヲ掲ゲテ買得シタモノデアルト主張シ、遺失物ノ所有者モ其所有ニ係ルコトヲ立證スレバ、其等ノ證據ハ裁判官ニ於テ判斷スベシ。買得シタリト云フ買主ノ證據ト、遺失シタリト云フ所有者ノ證據トハ共ニ神前ニ於テ宣誓サレナケレバナラス。遺失物ノ賣主ハ盜賊トシテ死刑ニ處セラレ、所有者ハ其遺失物ヲ回復シ、買主ハ先キニ支拂ツタ代價ヲ賣主ノ財産カラ賠償サルベシ。

§ 10 (Col. VII)

買主ガ遺失物ノ賣主ヲ示サズ、且ツ買得ノ證據ヲ掲ゲザル場合ニ、遺失物ノ所有者ガ自己ノ遺失物ト同一ナルコトヲ立證スルトキハ、買主ハ盜賊トシテ死刑ニ處セラレ、遺失物ノ所有者ハ其遺失ヲ回復スベシ。

§ 11 (Col. VII—VIII)

遺失物ノ所有者ガ遺失物ト同一ナルコトノ證據ヲ掲ゲザルトキハ、虚偽ヲ主張シ誣告ヲ用フル者トシテ死刑ニ處セラルベシ。

§ 12 (Col. VIII)

賣主ガ死亡シタル場合ニハ、買主ハ賣主ノ財産カラ其事件ノ損害ノ五倍ヲ賠償サルベシ。

§ 13 (Col. VIII)

法官ハ證據ヲ有セザル者ニハ六ヶ月ノ猶豫期間ヲ與へ、若シ

其者が六ヶ月内ニ證據ヲ舉ゲナケレバ虚言者トシテ、自ラ其事件ノ罰金ヲ支拂フ可シ。

§ 14 (Col. VIII)

他人ノ子供ヲ盗取シタ者ハ死刑ニ處セラルベシ。

§ 15 (Col. VIII)

貴族又ハ平民ノ男若シクハ女ノ奴隸ヲ市外ニ逃亡セシメタ者ハ死刑ニ處セラルベシ。

§ 16 (Col. VIII)

或者ガ貴族又ハ平民ノ家カラ逃亡シタ男若シクハ女ノ奴隸ヲ自己ノ家ニ庇護シ、且ツ役人ノ要求ニ應ジテ之ヲ公役ニ服スル奴隸トシナケレバ、其家ノ所有者ハ死刑ニ處セラルベシ。

§ 17 (Col. VIII)

或者ガ逃亡シタ男又ハ女ノ奴隸ヲ開放サレタ原野ニ於テ逮捕シ、之ヲ其所有者ニ返付シタ場合ニハ、奴隸ノ所有者ハ彼ニ銀二 *Shekel* ヲ支拂フベシ。

§ 18 (Col. VIII)

若シ其奴隸ガ彼ノ所有者ヲ指名シナケレバ、之ヲ宮殿ニ送致シテ奴隸ノ經歷ヲ検査シテ、之ヲ其所有者ニ返付スベシ。

§ 19 (Col. VIII)

奴隸ヲ逮捕シタ者ガ之ヲ自己ノ家ニ隱匿シ、其後、占有中ノ奴隸ガ發覺サレタ場合ニハ、隱匿者ハ死刑ニ處セラルベシ。

§ 20 (Col. IX)

奴隸ガ逮捕者ノ手カラ逃亡シタ場合ニハ、其旨ヲ奴隸ノ所有者ニ通告スレバ逮捕者ハ責任ヲ免カルベシ。

§ 21 (Col. IX)

他人ノ家ニ亂入シタ者ハ其場ニ於テ殺サレ且ツ其處ニ葬ラルベシ。

§ 22 (Col. IX)

盜賊ヲ働キ逮捕サレタ者ハ死刑ニ處セラルベシ。

§ 23 (Col. IX)

盜賊ガ逮捕サレヌ場合ニハ、盜難者ハ神前ニ於テ盜難ノ事實ヲ宣誓シ、盜難ノ市又ハ地區ヲ管轄スル役人ガ、盜難者ニ被害ヲ賠償スベシ。

§ 24 (Col. IX)

生命ノ被害アル場合ニハ市又ハ地區ヲ管轄スル役人ハ、被害者ノ相續人等ニ銀一 *Mina* ヲ支拂フベシ。

§ 25 (Col. IX)

他人ノ家ニ起ツタ火事ヲ消シニ來テ、其家ノ財物ニ眼ヲ付ケ之ヲ盜取シタ者ハ、其火中ニ投棄サルベシ。

§ 26 (Col. IX—X)

國王ノ用務ニ服ス可キ職務ヲ有スル士官又ハ守衛ガ、其職務ヲ空シクシ又ハ代人ヲシテ其職ニ當ラシメタ場合ニハ死刑ニ處セラレ、其代人ハ士官又ハ守衛ノ家ヲ取得スベシ。

§ 27 (Col. X)

國王ノ用務ニ服シタ士官又ハ守衛ガ、其不在中ニ領地及莊園ヲ他人ニ取得サレタ場合ハ、其歸來後ハ從前ノ如ク其領地及莊園ヲ回復シ其職務ヲ執行スベシ。

§ 28 (Col. X)

士官又ハ守衛ガ國王ノ用務ニ服シタ場合ニ、其子(單數)ガ父ノ職務ヲ執リ得ルトキハ、子ハ父ノ領地及莊園ヲ取得シ、父ノ職務ヲ執行スベシ。

§ 29 (Col. X)

若シ其子ガ幼少ナルカ又ハ父ノ職務ヲ執ルニ堪ヘザルトキハ、領地及莊園ノ三分ノ一ヲ其母ニ與ヘ、母ハ其子ヲ養育スベシ。

§ 30 (Col. X—XI)

斯ノ士官又ハ守衛ガ其領地、莊園及家屋ノ管理ヲ怠リ、之ヲ荒廢セシメタ場合ニ、他人ガ之ヲ取得シテ三年間管理シタルトキハ、前者ガ歸來シテ彼ノ領地、莊園及家屋ノ管理ヲ要求シテモ、後者ハ其管理ヲ持續スベシ。

§ 31 (Col. XI)

若シ彼ガ一年間ノ荒廢ニ止リ、歸來シタ場合ニハ、彼ハ領地、莊園及家屋ヲ與ヘラレ、其職務ヲ繼續スベシ。

§ 32 (Col. XI)

國王ノ用務ニ服シタ士官又ハ守衛ガ(敵ニ逮捕サレ)、商人カラ贖身サレテ歸郷スルコトヲ得タ場合ニハ、若シ其被贖身者ガ

其家ニ贖身金ヲ拂ヒ得ル資力ヲ有スルトキハ、自ラ之ヲ支辨シ、其十分ナル資力ヲ有セザルトキハ、彼レノ公共團體ノ寺院金庫カラ之ヲ支辨シ、若シ寺院金庫ニ其資力が無ケレバ宮廷(國王又ハ國庫?)カラ支辨スベシ。如何ナル場合ニモ彼ノ領地、莊園、家屋ヲ以テ贖身シテハナラス。

§ 33 (Col. XI)

官吏又ハ公吏ガ賦役者 (*Corvée*) ヲ私用ニ供シ、又ハ傭入レタ代人ヲ國王ノ用務ニ付テ受授シタ場合ハ、其官吏又ハ公吏ハ死刑ニ處セラルベシ。

§ 34 (Col. XI)

官吏又ハ公吏ガ士官ノ財産ヲ取り、士官ヲ掠奪シ、士官ヲ(奴隸トシテ)賃貸シ、士官ヲ暴君ノ裁判ニ附シ、又ハ國王ヨリ得タル士官ノ報酬ヲ取ツタ場合ハ死刑ニ處セラルベシ。

§ 35 (Col. XI—XII)

國王カラ與ヘラレタ羊又ハ牛ヲ士官カラ買ソタ者ハ其金ヲ沒收サルベシ。

§ 36 (Col. XII)

士官、守衛又ハ納貢者ノ領地、莊園又ハ家屋ハ如何ナル場合ニモ之ヲ賣ルコトハナラス。

§ 37 (Col. XII)

士官、守衛又ハ納貢者ノ領地、莊園又ハ家屋ヲ買ツテモ、其賣買ハ無効ニシテ其記録ハ破棄サレ、其代價ハ沒收サレ、領地、莊園、

又ハ家屋ハ其所有者ニ返還サルベシ。

§ 38 (Col. XII)

士官、守衛又ハ納貢者ハ其領地、莊園又ハ家屋ヲ、其妻又ハ娘ニ證文ヲ以テ讓渡シテハナラス。且ツ負債ノ爲メニ讓渡シテモナラス。

§ 39 (Col. XII)

然シ彼ガ買収シテ占有スル領地、莊園又ハ家屋ハ、之ヲ其妻又ハ娘ニ證文ヲ以テ讓渡シテモヨイ。或ハ彼ノ負債ノ爲メニ讓渡シテモヨイ。

§ 40 (Col. XII)

彼ハ王室ノ役人 (*tamkar*) 又ハ其他國家ノ役人ニハ領地、莊園又ハ家屋ヲ賣ツテモヨイ。其買人ハ買入レタ領地、莊園又ハ家屋ニ附隨スル公務ヲ果タスベシ。

§ 41 (Col. XII)

士官、守衛、又ハ納貢者ノ領地、莊園又ハ家屋トノ交換ノ爲メニ或人ガ與ヘタ財産ハ、士官、守衛又ハ納貢者ガ其領地、莊園又ハ家屋ニ歸來シタ場合ハ彼ノ所得トナルベシ。

§ 42 (Col. XII—XIII)

或人ガ耕作ノ爲メニ原野ヲ賃借シテ、收穫ヲ得ザル場合ニハ、耕作ヲ爲サナカッタ責任ヲ負擔シ、且ツ原野ノ所有者ニハ近隣ノ狀況ニ比較シテ相當ノ借賃(多分穀物)ヲ拂フベシ。

§ 43 (Col. XIII)

若シ彼ガ耕作ヲ爲サズ、等閑ニ附シ置カバ、隣人ガ收穫シタルト同量ノ收穫ヲ、原野ノ所有者ニ給付シ、且ツ耕作ヲ怠ツタ原野ニ耕作ヲ加ヘテ之ヲ其所有者ニ返還スベシ。

§ 44 (Col. XIII)

開墾シ得可キ荒地ヲ三年間賃借シタ者ガ、其開墾ヲ怠レバ四年目ニハ之ヲ開墾シ、耕作ヲ加ヘテ所有者ニ返還シ、且ツ年毎ニ土地十 *Gan* ニ對シ穀物十 *Gur* ヲ拂フベシ。

§ 45 (Col. XIII)

或者ガ一定ノ賃料ヲ以テ其原野ヲ他人ニ貸付ケテ、既ニ其賃料ヲ受領シタルニ、其後雨又ハ嵐ノ爲メニ收穫ガ失ハレタ場合ニハ其損失ハ賃借人ノ負擔トナル。

§ 46 (Col. XIII)

一定ノ賃料ヲ受領セズ收穫ノ二分ノ一又ハ三分ノ一ノ賃料ヲ以テ原野ヲ貸付ケタ場合ニハ、原野ノ收穫ハ所有者ト賃借人トニ契約通リニ比例分配サルベシ。

§ 47 (Col. XIII)

賃借人ガ初年ニ收支償ハナカッタ爲メニ、其原野ヲ他人ニ賃貸スルモ、所有者ハ反對シテハナラス。其原野ノ耕サレタ上、收穫期ニ至ラバ彼ハ其契約ニ從テ穀物ノ分配ヲ取得スベシ。

§ 48 (Col. XIII—XIV)

或者ガ利息ヲ支拂フ債務ヲ負擔スル場合ニ、嵐ガ彼ノ原野ヲ荒シ穀物ヲ損傷シ、又ハ水ノ缺乏ノ爲メニ穀物ハ原野ニ於テ成

熟シナカツタトキハ、其年ハ彼ハ債權者ニ穀物ヲ與フル(辨濟スル)コトヲ要セヌ。而シテ契約書ヲ改メテ(延期スルコト)、其年ハ利息ヲ拂フコトモ要セヌ。

§ 49 (Col. XIV)

或人ガ商人カラ錢ヲ得テ(其擔保トシテ)、商人ニ穀物又ハ胡麻ヲ作ル可キ原野ヲ與ヘテ、且ツ其原野ヲ耕シ、成熟シタル穀物又ハ胡麻ノ收穫ヲ取レト言ツタ場合ニ、小作人ガ其原野ニ穀物又ハ胡麻ヲ產出スレバ、其收穫期ニハ其原野ノ產出シタル穀物又ハ胡麻ハ、其原野ノ所有者ノ財産トナリ、而シテ彼ハ商人カラ得タ錢ノ爲メニ且ツ其利息ノ爲メニ、更ニ小作人ノ給養ノ爲メニ其穀物ヲ支拂フベシ。

§ 50 (Col. XIV)

既ニ穀物又ハ胡麻ガ作ラレテアル原野ヲ(擔保トシテ)與ヘタ場合ニハ、原野ニ存スル穀物又ハ胡麻ハ其原野ノ所有者ニ屬シ、而シテ彼ハ利息ヲ附シテ元本ヲ商人ニ返還スベシ。

§ 51 (Col. XIV)

若シ彼ガ返還ス可キ錢ヲ有セザルトキハ、國王ノ定メタ標準ニ從テ、利息ヲ附ケテ、錢ノ代リニ市場ノ價格ヲ以テ穀物又ハ胡麻ヲ商人ニ與フベシ。

§ 52 (Col. XV)

小作人ガ穀物又ハ胡麻ヲ其原野ニ作ラナクトモ、債務者ノ責任ハ廢除サレザルベシ。

§ 53 (Col. XV)

或人ガ自己ノ堤ヲ強固ニスルコトヲ怠リ、之ヲ強固ニセヌ場合ニ、彼ノ堤ニ龜裂ヲ生ジ、耕地ニ浸水シタルトキハ、龜裂ノ生ジタ地ヲ有スル者ハ、之ニ因テ損傷ヲ來シタ穀物ヲ賠償スベシ。

§ 54 (Col. XV)

若シ彼ガ穀物ノ賠償ヲ爲スコトガ出來ナケレバ、彼ト彼ノ財産ハ賣拂ハレテ、洪水ノ爲メ穀物ノ損失ヲ受ケタ農夫ハ、其賣拂ノ結果カラ利得スベシ。

§ 55 (Col. XV)

或人ガ灌漑ノ爲メニ溝渠ヲ開割シ、其不注意ニ因テ隣地ニ溢水セシメタ場合ニハ、近隣ノ地ニ生ジタ丈ケノ穀物ヲ賠償スベシ。

§ 56 (Col. XV)

或人ガ水ヲ開放シテ 隣地ノ收穫ヲ損失セシメタ 場合ニハ、土地十 *Gan* ニ付テ穀物十 *Gur* ヲ賠償スベシ。

§ 57 (Col. XV)

或牧人ガ原野ノ所有者ノ許諾無シニ、成熟シタル穀物ノ上ニ彼ノ羊ヲ飼養シタル場合ハ、原野ノ所有者ハ收穫ヲ爲シ、其許諾無シニ羊ヲ飼養シタル者ハ 原野ノ所有者ニ土地十 *Gan* ニ付テ穀物二十 *Gur* ヲ賠償スベシ。

§ 58 (Col. XV—XVI)

若シ羊ガ牧場ヲ脱出シテ市内ニ飛込ンダ場合ニ、牧人ガ其羊

ヲ飼養スル原野ニ之ヲ戻シタルトキハ、牧人ハ草ヲ與フルニ適スル原野ヲ取り、其收穫期ニハ土地十 *Gan* ニ付テ穀物六十 *Gur* ヲ原野ノ所有者ニ支拂フベシ。

§ 59 (Col. XVI)

或人ガ果樹園ノ所有者ニ無斷ニ其園内ノ樹木ヲ切り落シタ場合ニハ銀半 *Mina* ヲ支拂フベシ。

§ 60 (Col. XVI)

或人ガ果樹園トシテ栽培スル爲メニ園夫ニ原野ヲ與へ、園夫ガ之ニ栽培シタル場合ハ、彼ハ四年間其果樹園ヲ管理スベシ。五年目ニハ其土地ノ所有者ト園夫ガ平分シテ收穫ヲ爲スベシ。其果樹園ノ所有者ハ自己ノ持分ヲ採取スベシ。

§ 61 (Col. XVI)

若シ園夫ガ其原野ノ全部ヲ栽培セズ、一部ヲ荒廢セシメタ場合ニハ、其部分ハ彼ノ收穫部分ニ組入レラルベシ。

§ 62 (Col. XVI)

彼ガ得タル原野ヲ果樹園トシテ栽培シナカツタ場合ニ、若シ其土地ガ(穀物ニ適スル)耕作地ナレバ、園夫ハ其耕作ヲ怠ツタ期間中ハ、近隣ノ土地ノ收穫ヲ標準トスル賠償ヲ所有者ニ支拂フベシ。(且ツ)彼ハ其原野ヲ耕作ニ適スル様ニ仕立テ、原野ノ所有者ニ返還スベシ。

§ 63 (Col. XVI)

若シ其原野ガ未開拓ナレバ、彼ハ所定ノ仕事ヲ遂ゲテ原野ヲ

其所有者ニ返還シ、且ツ(土地)十 *Gan* ニ對シ、穀物十 *Gur* ヲ賠償スベシ。

§ 64 (Col. XVI)

或人ガ耕作ノ爲メニ果樹園ヲ園夫ニ與ヘタ場合ニハ、園夫ハ其果樹園ヲ有スル間ハ、其果樹園ノ收益ノ三分ノ二ヲ所有者ニ與ヘ、三分ノ一ヲ自己ニ留保スベシ。

§ 65 (Col. XVI)

園夫ガ果樹園ニ固有ノ注意ヲ用キズ、其收穫ヲ損失シタ場合ニハ、近隣者ノ收穫ニ準ジテ其收穫ノ賠償ヲナスベシ。

§ X.

或人ガ商人カラ錢ヲ借り「ナツメジユロ」ノ栽植地ヲ渡シテ、
「私ノ栽植地ニアル「ナツメジユロ」ハ汝ノ錢ノ代リニ採レ」ト商人ニ告ゲタ場合ニ、其商人ガ之ニ同意シナケレバ栽植地ノ所有者ガ栽植地ニアル「ナツメジユロ」ヲ採リ、元本ト契約ノ趣旨ニ基ク利息ノ爲メニ之ヲ商人ニ給付スベシ、而シテ其栽植地ニ生ジタ「ナツメジユロ」ノ餘剩ハ栽植地ノ所有者ガ之ヲ取得スベシ。

§ Y.

……………(家屋ニ)居住スル者ガ(家屋ノ)所有者ニ期間ノ滿タザル際ニ明渡ヲ要求シタルトキハ、家屋ノ所有者ハ期間ノ滿タザル際ニ明渡ヲ要求シタノデアルカラ、居住者ガ支拂ツク錢カラ(割合ノ額ヲ)返戻スベシ。

§ Z.

(或人ガ商人カラ錢ヲ借リテ)之ニ支拂フ錢又ハ穀物ヲ有セズ、他ノ財物ヲ有スルトキハ之ヲ商人ニ與フベシ。商人ハ之ヲ拒ムベカラズ、受領スベシ。

§ 100 (Col. XVII)

(或小商人ガ商人ノ) 錢ヲ受領シタ場合ニハ(其總額ト)、其錢ノ利息(トナル可キモノ)ヲ記録シテ置イテ、期限ノ滿チタ際ニハ商人ト決算スベシ。

§ 101 (Col. XVII)

(若シ彼ガ旅行ニ於テ成功シナカッタ場合ニハ、彼(小商人)ハ其得タル所ノ二倍ノ錢ヲ商人ニ支拂フベシ。

§ 102 (Col. XVII)

商人ガ小商人ニ投資トシテ錢ヲ與へ、小商人ガ旅行中不幸ニ出會スルモ、商人ニハ全額ヲ返済スベシ。

§ 103 (Col. XVII)

若シ彼(小商人)ガ旅行中、其携帯セル財物ヲ敵ニ掠奪サレタナラバ、小商人ハ其總高ヲ列舉シテ神前ニ宣誓ヲナシテ免責サルベシ。

§ 104 (Col. XVII)

若シ商人ガ商賣上ノ目的ヲ以テ小商人ニ穀物、羊毛、油、其他ノ貨物ヲ支給スレバ、小商人ハ總高ノ受取證書ヲ作り、之ヲ商人ニ交付スベシ。然ル上ハ彼ハ商人ニ支拂ツタ錢ノ受取證書ヲ

受領スベシ。

§ 105 (Col. XVII)

若シ小商人ガ其商人ニ支拂ツタ錢ニ付テ受取證書ヲ取得スルコトヲ怠ツタ場合ニハ、其受取證書ヲ有セザル部分ノ錢ハ其計算カラ廢除サルベシ。

§ 106 (Col. XVII)

若シ小商人ガ商人カラ錢ヲ借リテ商人ト之ヲ爭フ場合ニハ、商人ハ神ト證人ノ面前ニ於テ(公開廷ニ於テ)、其錢ヲ以テ訴求スベシ、而シテ敗訴シタ場合ニハ三倍ノ錢ヲ商人ニ支拂フベシ。

§ 107 (Col. XVII—XVIII)

若シ商人ガ小商人ヲ欺瞞シテ、小商人ガ既ニ商人カラ借リタモノヲ總テ返還シタルニ、商人ガ其受領ヲ否認スル場合ニハ、小商人ハ神ト證人ノ面前ニ於テ商人ヲ告訴スベシ。受領シタルニ拘ハラズ、之ヲ否認シタ以上ハ商人ハ其額ノ六倍ヲ小商人ニ支拂フベシ。

§ 108 (Col. XVIII)

居酒屋ガ飲代トシテ穀物ヲ受領セズ又ハ不當ノ割合ヲ以テ銀ヲ要求シ、其價格ヲ穀物以下ニ算定シタ場合ニハ、彼ハ告發サレ水中ニ投棄サルベシ。

§ 109 (Col. XVIII)

居酒屋ニ暴徒ガ集合シタルニ、居酒屋ガ彼等ヲ逮捕シテ裁判ニ送致シナケレバ彼ハ死刑ニ處セラルベシ。

§ 110 (Col. XVIII)

尼寺 (*Mal. ge. a*) ニ居住セザル尼ガ酒場ヲ開キ、又ハ飲酒ノ目のヲ以テ酒場ニ入ツタ場合ニハ燒殺サルベシ。

§ 111 (Col. XVIII)

居酒屋ガ飲料トシテ「ウサ・カニ」(, *Usa-Kani* “) 六十 *Ka* ヲ……貸與スレバ、收穫期ニハ穀物五十 *Ka* ヲ受領スベシ。

§ 112 (Col. XVIII)

或旅人ガ銀、金、寶石又ハ其他ノ寶物ヲ運搬ノ爲メニ委託シタルニ、其運搬者ガ指定セラレタ場所ニ其運搬セラル可キ總テノ物ヲ持參セズ、之ヲ私用シタル場合ハ、委託セラレタ貨物ヲ配達シナカツタ者ハ訴求サレテ運搬サル可キ貨物ノ所有者ニ、委託サレタ物ノ五倍ヲ賠償スベシ。

§ 113 (Col. XVIII—XIX)

或人ガ他人ニ穀物又ハ錢ノ債權ヲ有スル場合ニ、所有者ニ無斷ニ穀物倉又ハ納屋カラ穀物ヲ獲得シクルトキハ、法廷ニ訴求サレテ其獲得シタル穀物ヲ返還スベシ、而シテ其貸付ケタルモノハ一切喪失スル。

§ 114 (Col. XIX)

或人ガ他人ニ對シ穀物又ハ錢ノ債權ヲ有セザルニ、差押(人質ヲ取ルコトヲ意味スル)ヲ爲シタ場合ニハ、各差押事件ニ付キ銀三分ノ一 *Mina* ヲ支拂フベシ。

§ 115 (Col. XIX)

或人ガ他人ニ對シ穀物又ハ錢ノ債權ヲ有シ、差押ヲ爲シタ場合ニ、其差押ヘラレタ者(質人)ガ、差押者(債權者)ノ家ニ於テ、自然ニ死亡スレバ其事件ニ刑ハ無イ。

§ 116 (Col. XIX)

質人ガ差押者ノ家ニ於テ凌辱(打撃)又ハ虐待ノ爲メニ死亡シタル場合ニ、其質人ノ所有者ガ賠償ヲ要求スレバ、其質人ガ平民ノ子ナレバ、債權者ノ子ガ死刑ニ處セラレ、奴隸ナレバ銀三分ノ一 *Mina* ヲ支拂ヒ且ツ、其貸付ケター一切ノ債權ヲ喪失スル。

§ 117 (Col. XIX)

或人ガ債務ヲ負擔シテ、其子又ハ娘ヲ(人質トシテ)引渡シ、若シクハ勞役ニ服セシメタ場合ハ、彼等ハ三年間債權者ノ家ニ於テ勞働シ、四年目ニハ其自由ヲ回復スベシ。

§ 118 (Col. XIX)

債務者ガ債務ヲ(償却スル爲メニ)男又ハ女ノ奴隸ヲ服役セシメタ場合ニハ、債權者ガ其奴隸ヲ賣却スルモ之ニ對シテ抗辯ヲ爲スコトハナラヌ。

§ 119 (Col. XIX—XX)

或人ガ債務ヲ負擔シ、女ノ奴隸ヲ引渡シタルニ、其奴隸ガ子ヲ産ンダ場合ハ、其奴隸ノ所有者ハ商人(債權者ヲ意味スル)ノ支拂ツタ代價ヲ返還シテ、其奴隸ヲ身請スベシ。

§ 120 (Col. XX)

或人ガ他人ノ家屋内ニ自己ノ穀物ヲ貯藏スル場合ニ、其貯藏

穀物ニ損害ヲ生ジ又ハ其家ノ所有者ガ、其穀物倉ヲ開イテ若干ノ穀物ヲ取り、若シクハ其家ニ貯藏セル穀物ノ分量ニ關シテ爭フトキハ、穀物ノ所有者ハ神前(公開廷)ニ於テ宣誓シテ穀物ヲ要求スベシ。而シテ家屋ノ所有者ハ其穀物ノ二倍ヲ賠償スベシ。

§ 121 (Col. XX)

他人ノ家屋内ニ穀物ヲ貯藏スル者ハ年毎ニ一 *Gur* ニ付テ五 *Ka* ノ貯藏料ヲ支拂フベシ。

§ 122 (Col. XX)

或人ガ他人ニ銀、金又ハ其他ノ物ヲ寄託スルニハ、其寄託ス可キ總テノ物ヲ證人等ニ示シテ契約ヲナシ、然ル上ニ寄託スベシ。

§ 123 (Col. XX)

或人ガ證人等モ契約(證文)モナシニ或物ヲ寄託シテ、其寄託シタル場所ニ付テ爭ガ起レバ、何等ノ訴求ヲナスコトモ許サレヌ。

§ 124 (Col. XX)

或人ガ證人等ノ面前ニ於テ、銀・金又ハ其他ノ物ヲ他人ニ寄託シタルニ、其受託者ガ之ヲ否認スルトキハ、彼ハ法廷ニ引致サレル。而シテ(有責ノ場合ニハ)其否認シタル物ノ二倍ヲ支拂フベシ。

§ 125 (Col. XX—XXI)

或人ガ財物ヲ寄託シタルニ、夜盜又ハ強盜ニ依テ、其財物ガ其

場所(寄託所)ノ所有者ノ物ト其ニ失ハレタ場合ニハ、其場所ノ所有者ハ其不注意カラ生ジタモノデアル以上ハ、盜難物ノ所有者ニ全部ノ賠償ヲナスベシ。其場所ノ所有者ハ盜難物ニ追及シテ其發見ヲ努メ、盜賊ヨリ之ヲ取戻スベシ。

§ 126 (Col. XXI)

或人ガ何物ヲモ失ハザルニ、失ヒタリト唱へ、又ハ何物ヲモ失ハザルニ其喪失ニ付テ訴ヲ提起スレバ、彼ハ神前ニ於テ其虚偽ノ喪失ヲ宣言スベシ。而シテ彼ハ請求シタルモノ、二倍ヲ賠償スベシ。

§ 127 (Col. XXI)

或人ガ尼又ハ人ノ妻ヲ(譏リテ)指摘シテ、之ヲ立證スルコトガ出来ナケレバ、彼ハ法官ノ前ニ引致サレテ、前額ニ烙印ヲ押サル可シ。

§ 128 (Col. XXI)

或人ガ妻ヲ娶リテモ、彼女ト契約ヲ結バナケレバ其女ハ正妻トハナラス。

§ 129 (Col. XXI)

人ノ妻ガ他人ト姦通スレバ兩人ヲ束ネテ水ニ投棄スベシ、唯ダ夫ガ妻ヲ救ヒ、國王ガ其下男ヲ救ハントスル場合ニハ之ヲ許ス。

§ 130 (Col. XXI)

或人ガ、他人ト婚姻シタルモ未ダ男ヲ知ラス(處女)、且ツ其父

ノ家ニ居住スル婦人ヲ、強姦シ其實行中ニ捕ハレタナラバ、死刑ニ處セラルベシ、然シ其婦人ハ放免サレル。

§ 131 (Col. XXI)

或人ガ自己ノ妻ヲ告訴スルモ、彼女ガ他人ト姦通シナカツタナラバ、彼女ハ神名ヲ以テ宣誓シ其(父ノ)家ニ歸ルベシ。

§ 132 (Col. XXI—XXII)

或人ノ妻ニ對シテ嫌疑ガ生ジタルモ、彼女ハ他人ト姦通シタルコトガ無ケレバ、其夫ノ満足ノ爲メニ聖河ニ飛込ムベシ。

§ 133 (Col. XXII)

或人ガ捕虜ニ取ラレテモ、其家ニ給養アル場合ニ、彼レノ妻ガ其家ヲ出ルトキハ、彼女ハ其身體ヲ防護シ、他人ノ家ニ入ル可カラズ。若シ其女ガ其身體ヲ防護セズ、他人ノ家ニ入ルトキハ、彼女ハ法律ニ從テ制裁ヲ受ケ水中ニ投棄セラルベシ。

§ 134 (Col. XXII)

或人ガ捕虜ニ取ラレ、其家ニ給養ナキ場合ニハ、其者ノ妻ハ他人ノ家ニ入ル(結婚スル)モ何等ノ制裁ヲ受ケヌ。

§ 135 (Col. XXII)

或人ガ捕虜ニ取ラレ、其家ニ給養ナク、其者ノ妻ガ他人ノ家ニ入り子供ヲ生ンダ場合ニ、其後、先夫ガ歸來シテ其家庭ニ來レバ、其女ハ先夫ニ歸依スベシ、然シ子供ハ其父(後夫)ニ從フベシ。

§ 136 (Col. XXII)

或人ガ其故郷ヲ捨テ、逃走シ、其後彼ノ妻ガ他人ノ家ニ入リ

(結婚シ)タルニ、彼ガ歸來シ其妻ヲ得ントスルモ、彼ハ一旦故郷ヲ捨テ、出奔シタ者デアルカラ、其女ハ彼ニ歸依スベカラズ。

§ 137 (XXII—XXIII)

或人ガ、其者ノ子供ヲ生ンダ權妻、又ハ其者ノ子供ヲ生ンダ妻カラ、離別スルコトヲ決心スル場合ニハ、彼ハ其婦人ノ嫁資ヲ返還シ、子供ヲ養育スルニ足リル丈ケノ原野、庭園及ビ財物ノ收益ヲ與フベシ。彼女ハ其子供ヲ養育シ上ゲタ場合ニハ、其一子ノ分前ト等分ヲ保有シ、其他ヲ子供ニ分配シ、彼女ノ選定シタ男ト結婚スルコトヲ得ル。

§ 138 (Col. XXIII)

或人ガ、彼ノ子供ヲ生マザル妻ヲ離縁スルニハ、結婚ノ際ニ彼女ノ父ニ支拂ソタ丈ケノ求婚資ト、彼女ガ其父ノ家カラ持參シタ嫁資ヲ、彼女ニ與ヘタ上之ヲ離別スルコトヲ得ル。

§ 139 (Col. XXIII)

若シ求婚資が無カツタ場合ニハ離縁ノ爲メニ銀一 *Mina* ヲ彼女ニ與フベシ。

§ 140 (Col. XXIII)

若シ彼ガ平民ナルトキハ銀三分ノ一 *Mina* ヲ彼女ニ與フベシ。

§ 141 (Col. XXIII)

夫ノ家ニ居住スル妻ガ其家ヲ去ルコトヲ決心シ、浪費ヲ用キ、其家ヲ荒廢シ、夫ヲ愚弄スルトキハ、彼女ヲ告訴スベシ。若シ其夫ガ彼女ヲ離縁スルトキハ、即チ彼女ハ立去ルベシ。其離縁ニ

對シテハ夫ハ何物ヲモ與フ可カラズ。若シ其夫ガ離縁ヲ敢テセズ、他ノ妻ヲ娶ルトキハ、前妻ハ下女トシテ其家ニ止マルベシ。

§ 142 (Col. XXIII—XXIV)

妻ガ其夫ト喧嘩シテ「汝ハ私ヲ自由スルコトハナラヌ」ト言フトキハ、彼女ノ缺點ニ付テハ其素性ヲ検査スベシ。若シ彼女ニ罪過ナク、且ツ夫ノ方ニモ落度ナク、唯ダ夫ガ諸所ヲ漂浪シ、妻ヲ甚ダシク愚弄シテ居ツタナラバ、其女ニハ罪責ハナイ。彼女ハ其嫁資ヲ取ツテ其父ノ家ニ歸還スベシ。

§ 143 (Col. XXIV)

若シ彼女ガ思慮ナク、流浪シ、家ニアリテ贅澤ヲナシ、夫ヲ愚弄スルトキハ、其女ヲ水中ニ投棄スベシ。

§ 144 (Col. XXIV)

何人デモ妻ヲ娶リタルニ、其妻ガ夫ニ下女ヲ與ヘ、子供ヲ生シタ場合ニハ、彼ハ權妻ヲ娶ルコトヲ決心シテモ、其ハ許サレス。彼ハ權妻ヲ娶ル可カラズ。

§ 145 (Col. XXIV)

或人ガ妻ヲ娶リ、彼女ガ子供ヲ生マズ、而シテ彼ガ權妻ヲ娶ルコトヲ決心スレバ、其男ハ權妻ヲ娶リテ之ヲ彼ノ家ニ伴レ來ルコトヲ得ル。(サレド)權妻ハ彼ノ妻ト平等ニ立ツコトハナラス。

§ 146 (Col. XXIV)

或人ガ妻ヲ娶リ、彼女ガ夫ニ下女ヲ與ヘタルニ、其下女ガ(主人ノ)子供ヲ生シ、其下女ガ子供ヲ生シタガ爲メニ彼ノ夫人ト同等

ノ地位ヲ得タルトキハ、彼ノ夫人ハ其下女ヲ錢ノ爲メニ賣ツテハナラス。然シ之ヲ下女トナシ、下女ノ一人トシテ數ヘルコトヲ得ル。

§ 147 (Col. XXIV)

若シ彼女(下女)ガ子供ヲ生マナケレバ、夫人ハ彼女ヲ錢ノ爲メニ賣ルコトガ出來ル。

§ 148 (Col. XXIV)

或人ガ妻ヲ娶リ、其妻ガ疾病ニ罹ツタ場合ニ、彼ガ第二ノ妻ヲ娶ラントスルトキハ、之ヲ許ス。然シ疾病ニ罹ツタ妻ヲ離別ス可カラズ、尙ホ彼女ハ夫ノ構ヘタ家ニ居住シ、夫ハ彼女ノ生存スル間ハ之ヲ給養スベシ。

§ 149 (Col. XXV)

此女ガ其夫ノ家ニ居住スル意思ナキトキハ、彼ハ、彼女ガ其父ノ家カラ持參セル嫁資ヲ彼女ニ讓與スベシ、然ル上、彼女ハ立去ルベシ。

§ 150 (Col. XXV)

或人ガ其妻ニ原野、庭園、家屋又ハ財貨ヲ與ヘテ、其等ノ物ノ確認證書ヲ授與スレバ、夫ノ死後ハ子供ハ(母ニ對シテ)要求ヲナスコトハ出來ス。母ハ(其死後ニ)其最モ愛スル所ノ子ニ遺贈ヲ爲スコトガ出來ル、其他ノ子ニハ與フルコトヲ要シナイ。

§ 151 (Col. XXV)

或人ノ家ニ居住シテ居ル婦人ガ其夫ト ①彼ノ如何ナル債權者

モ(其債權ノ爲メニ)彼女ヲ差押フルコトハナラス』ト云フコトヲ契約スレバ、若シ其男ガ其妻ヲ娶ル前ニ債務ヲ負擔シタルトキハ、其債權者ハ債權ノ爲メニ其妻ヲ差押ヘテハナラス。而シテ若シ此婦人ガ其夫ノ家ニ入ル前ニ債務ヲ負擔シタルトキハ、其債權者ハ債權ノ爲メニ其夫ヲ差押ヘテハナラス。

§ 152 (Col. XXV)

若シ其婦人ガ男ノ家ニ入ツタ(結婚)後ニ、債務ガ負擔セラレタ場合ニハ兩名共ニ商人(債權者)ニ對シテ責任ヲ負フ。

§ 153 (Col. XXV)

或人ノ妻ガ他人ヲ救フ爲メニ夫ヲ死ニ致ストキハ杖刺シニサレル。

§ 154 (Col. XXV)

或人ガ其娘ト姦通シタルトキハ、彼ハ其居住スル市カラ放逐サルベシ。

§ 155 (Col. XXV—XXVI)

或人ガ其子ト一少女トノ許婚ヲ爲シ、其子ガ其少女ト通ジタルニ、其後、彼(父)ガ其女ト姦通シテ捕ヘラレタトキハ、彼ヲ縛リテ水中ニ投棄スベシ。

§ 156 (Col. XXVI)

或人ガ其子ト新婦トノ許婚ヲ爲シ、其子ガ其婦ト通ゼザルニ、其後、彼(父)ガ其婦ト姦通スルトキハ、彼ハ銀半 *Mina* ヲ支拂ヒ、且ツ彼女ガ其父ノ家カラ持參セル總テノモノヲ返還スベシ。其

婦ハ其選ム所ノ男ト結婚スベシ。

§ 157 (Col. XXVI)

或人ガ其父ノ死後、母ト通ズルトキハ其兩者ヲ燒殺スベシ。

§ 158 (Col. XXVI)

或人ガ其父ノ死後、子ヲ生メル繼母ト通ジタルトキハ、彼ヲ其父ノ家カラ放逐ス可シ。

§ 159 (Col. XXVI)

或人ガ其舅ノ家ニ賜物ヲ持參シ且ツ婚資ヲ與ヘタルニ、其後、他ノ婦人ヲ見付ケテ、其舅ニ向テ、[〔]私ハ汝ノ娘ヲ妻ニ娶ルコトヲ欲セズ[〕]ト言フトキハ、其娘ノ父ハ彼ガ持參セル總テノ物ヲ保有スベシ。

§ 160 (Col. XXVI)

或人ガ其舅ノ家ニ贈物ヲ持參シ且ツ婚資ヲ與ヘタルニ、其後、舅ガ[〔]私ノ娘ヲ汝ニ與ヘルコトヲ欲セズ[〕]ト言フトキハ、舅ハ其贈與サレタ物ノ二倍ヲ返還スベシ。

§ 161 (Col. XXVI)

或人ガ其舅ノ家ニ贈物ヲ持參シ且ツ婚資ヲ與ヘタルニ、彼ノ友人ガ彼ヲ譏リテ、舅ガ其求婚者ニ向テ、[〔]汝ニハ私ノ娘ヲ與ヘラレス[〕]ト言フトキハ、舅ハ其贈與サレタ物ノ二倍ヲ返還スベシ。然シ其友人ハ其婦ト結婚スルコトハナラス。

§ 162 (Col. XXVI—XXVII)

或人ガ妻ヲ娶リ、彼女ガ子供ヲ生メバ、其婦ガ死亡シテモ、彼

女ノ父ハ彼女ノ嫁資ヲ請求シテハナラス。嫁資ハ其子供ニ歸屬スル。

§ 163 (Col. XXVII)

或人ガ妻ヲ娶リ、彼女ガ子供ヲ生マザルニ、其婦ガ死亡シタル場合ニ、舅ハ彼ガ(其舅ノ)家ニ持參セル求婚資ヲ返還スルトキハ、夫ハ其婦ノ嫁資ニ對シテハ何等ノ要求ヲシテハナラス 彼女ノ嫁資ハ彼女ノ父ノ家ニ從屬スル。

§ 164 (Col. XXVII)

若シ舅ガ求婚資ヲ返還セザルトキハ、夫ハ妻ノ嫁資カラ求婚資ノ價額ヲ控除シテ其殘額ヲ彼女ノ父ノ家ニ與フベシ。

§ 165 (Col. XXVII)

或人ガ彼ノ指定シタル子ニ原野、庭園又ハ家屋ヲ與ヘテ、其贈與證書ヲ認メテ置キ、其後父ガ死亡シ、兄弟ガ遺産ヲ分配スル場合ニハ、其子ハ父ノ遺贈ヲ取得シ、其餘ハ兄弟ガ平等ニ父ノ家ノ財物ニ付テ分配スベシ。

§ 166 (Col. XXVII)

或人ガ少年ノ子ニ非ラザル彼レノ子供ノ爲メニ妻ヲ娶リテ、死亡スレバ、其子供ガ(遺産ヲ)分配スル場合ニハ、彼等ハ未ダ妻ヲ娶ラザル少年ノ子ニハ其分前ノ外ニ、(舅ニ支拂フ可キ)婚資トシテ錢ヲ與ヘテ其妻ヲ娶ル補助ヲ爲スベシ。

§ 167 (Col. XXVII—XXVIII)

或人ガ妻ヲ娶リ、彼女ガ子供ヲ生ミテ死亡シ、其ノ後、彼ガ第二

ノ妻ヲ娶リ、彼女ガ子供ヲ生ミタルニ、其後、父ガ死亡スレバ、兩妻ノ子供ハ母ニ從テ家産ヲ分配スベカラズ、彼等ハ單ニ其母ノ嫁資ノミヲ分配スベシ、唯ダ其父ノ財物ヲ全部均等ニ分配スベシ。

§ 168 (Col. XXVIII)

或人ガ其子ヲ放逐(相續排除)スルコトヲ決心シテ、法官ニ向テ「私ハ私ノ子ヲ放逐シマセウ」ト告ゲルトキハ、法官ハ彼ノ理由ヲ審理スベシ。而シテ其子ガ放逐サレル丈ケノ重大ナ過責ガ無ケレバ、子供ヲ縁切ニシテハナラス。

§ 169 (Col. XXVIII)

子ヲ縁切ニスル丈ケノ重大ナル過責ヲ父ニ對シテ演ジタ場合ニハ、第一回目ハ之ヲ免責スベシ。然シ第二回目ニ重大ナル過責ヲ演ジタ場合ニハ父ハ子ヲ縁切ニスベシ。

§ 170 (Col. XXIII)

或人ノ妻ガ彼ノ子供ヲ生ミ、且ツ彼ノ下女モ彼ノ子供ヲ生ミ、父ガ其生涯中、下女ノ生ンダ子供ヲ「私ノ子供ヨ」ト呼ビ、其妻ノ子供ト看做シテ居ツタ場合ニハ、父ノ死後ハ妻ノ子供モ下女ノ子供モ、父ノ家ノ財物ニ付テ平等ニ分配スベシ。妻ノ子供ハ其配當ニ於テハ選擇ノ權利ヲ有スベシ。

§ 171 (Col. XXVIII—XXIX)

父ガ生涯中、其下女ノ生ンダ子供ヲ「私ノ子供ヨ」ト呼バナカッタナラバ、其父ノ死後、下女ノ子供ハ妻ノ子供ト共ニ父ノ家ニア

ル財物ノ配當ヲ得ラレヌ。サレド下女ト其子供ハ自由ヲ有スベシ。妻ノ子供ガ下女ノ子供ヲ用役スルコトノ要求ハ許サレヌ。

妻ハ嫁資ト夫ガ贈與シテ文書ヲ認メテ置イタ丈ケノ贈物ヲ受領シ、其生涯中夫ノ家ニ居住シテ(遺産ヲ)享受スベシ。彼女ハ其遺産ヲ賣拂フコトハナラヌ。其死後ニ於テハ遺産ハ其子供ノ所屬トナル。

§ 172 (Col. XXIX)

若シ彼女ニ贈物ヲ與ヘナカツタ場合ニハ、彼女ハ嫁資ヲ全部返還セラレ、且ツ夫ノ遺産カラハ其一子ト均等ノ分前ヲ受領スベシ。若シ彼女ノ子供ガ其家カラ彼女ヲ放逐スル様ニ迫害スル場合ニハ、法官ハ其事件ヲ審理スベシ。而シテ其子供ガ責任アル場合ニハ妻ハ其夫ノ家ヲ立去ルベカラズ。サレド妻ガ其家ヲ立去ルコトヲ決心シタル場合ニハ、彼女ハ夫ガ彼女ニ與ヘタ贈物ヲ其子供ニ遺サナケレバナラヌ。然シ彼女ノ父ガ(與ヘタ)嫁資ヲ取得スルコトヲ得ル。而シテ彼女ノ選ム男ト結婚スルコトヲ得ル。

§ 173 (Col. XXIX)

其婦人ガ入家シタ所ニテ第二ノ夫ト子供ヲ生ミ、其後、死亡スレバ前後(兩婚)ノ子供ハ彼女ハ嫁資ヲ分訖スベシ。

§ 174 (Col. XXIX)

若シ彼女ガ第二ノ夫ト子供ヲ生マナケレバ、第一ノ夫ノ子供ガ彼女ノ嫁資ヲ取得スベシ。

§ 175 (Col. XXIX—XXX)

貴族又ハ平民ノ奴隸ガ自由人ノ娘ト結婚ヲ爲シ、彼女ガ子供ヲ生ンダ場合ニハ、其奴隸ノ所有者ハ其自由婦人ノ子供ニ對シテハ用役ヲ要求スルコトハナラス。

貴族又ハ平民ノ奴隸ガ自由婦人ト結婚シタ際ニ、其婦人ガ彼女ノ父ノ財産カラ嫁資ヲ持テ奴隸ノ家ニ入リタルニ、彼等ガ家ヲ構ヘ、財産ヲ得タル後、貴族又ハ平民ノ奴隸ガ死亡シタル時ハ、其自由婦人ハ嫁資ヲ受領スルコトヲ得ル。彼等ガ結婚後、取得シタル所ノモノハ二等分サレ、奴隸ノ所有者ハ其一半ヲ取り、自由婦人ハ其子供ノ爲メニ他ノ一半ヲ取ルベシ。

§ 176 (Col. XXX)

若シ自由婦人ガ嫁資ヲ有セザルトキハ、彼女ハ結婚後、彼女ト其夫トガ取得シタル總テノモノヲ二等分シ、奴隸ノ所有者ガ其一半ヲ取り、自由婦人ハ其子供ノ爲メニ他ノ一半ヲ取ルベシ。

§ 177 (Col. XXX)

少年ノ子供ヲ有スル未亡人ガ他人ノ家ニ入ラントスル場合ニハ(再婚)、法官ノ許可無シニ爲シテハナラス。彼女ノ再婚ヲ許スニハ、法官ハ彼女ノ先夫ノ遺産ヲ調査スベシ。而シテ先夫ノ財産ハ其婦人ト後夫ニ信託シ、財産目録ヲ彼等ニ交付スベシ。彼等ハ其財産ヲ管理シ子供ヲ養育スベシ。家財ヲ賣拂フ可カラズ。未亡人ノ子供ニ屬スル家具ノ買主ハ其代價ヲ失フベシ。而シテ其物ハ所有者ニ返還スベシ。

§ 178 (Col. XXX—XXXI)

信仰婦人又ハ誓約婦人ノ父ガ彼女ニ嫁資ヲ與ヘテ、證文ヲ認メタルモ、其證文ニハ彼女ガ好ム人ニ其財産ヲ讓與スルコトヲ許ス旨ヲ掲ゲズ、且ツ之ヲ自由ニ處分シ得ル權能ヲ明カニ認メナカッタ場合ニハ、其父ノ死後ハ彼女ノ兄弟ガ彼女ノ原野及ビ庭園ヲ取得シ、彼等ハ彼女ニ其持分ノ價額ニ應ジテ、穀物、油、及ビ羊毛ヲ與ヘテ彼女ヲ満足セシムベシ。若シ彼女ノ兄弟ガ彼女ニ其持分ノ價額ニ從テ、穀物、油、及ビ羊毛ヲ與ヘテ、彼女ヲ満足セシメナケレバ、彼女ハ自ラ選擇セル農夫ニ彼女ノ原野及ビ庭園ヲ貸付クベシ。而シテ其農夫ハ彼女ヲ扶養スベシ。彼女ハ其生涯中、其父ガ彼女ニ與ヘタ原野、庭園、及ビ其他ノモノヲ用益スベシ。彼女ハ之ヲ他人ニ賣却又ハ讓與スベカラズ。彼女ノ相續部分ハ彼女ノ兄弟ノ所屬トスル。

§ 179 (Col. XXXI)

信仰婦人又ハ誓約婦人ノ父ガ彼女ニ嫁資ヲ與ヘテ、證文ヲ認メタ場合ニ、其證文ニハ彼女ガ好ム人ニ其財産ヲ讓與スルコトヲ許ス旨ヲ掲ゲ、且ツ之ヲ自由ニ處分シ得ル權能ヲ明カニ認メタルトキハ、其父ノ死後ハ彼女ハ其好ム人ニ彼女ノ財産ヲ遺贈スルコトヲ得ル。彼女ノ兄弟ハ之ニ付テ何等ノ要求ヲナスコトモ許サレヌ。

§ 180 (Col. XXXI)

或父ガ其結婚シ得ル娘又ハ結婚シ得ザル娘ニ嫁資ヲ與ヘズニ

死亡シタルトキハ、彼女ハ父ノ遺産カラ其息子ト同ジ持分ヲ受ケ、其生涯中之ヲ用益スベシ。彼女ノ死後ハ其財産ハ兄弟ノ所得トナル。

§ 181 (Col. XXXI)

或父ガ其娘ヲ寺院女中又ハ寺院處女 (*Nu, Par.*) トシテ神ニ奉獻シテ、彼女ニ嫁資ヲ與ヘザル場合ハ、其父ノ死後ハ彼女ハ父ノ遺産カラ其持分トシテ、一息子ノ持分ノ三分ノ一ヲ受ケ、其生涯中之ヲ用益スルコトヲ得ル。彼女ノ死後ハ其財産ハ彼女ノ兄弟等ノ所得トナル。

§ 182 (Col. XXXI—XXXII)

或父ガ其娘ナル〔バビロン〕ノ〔マルズツク〕ノ信者ニ嫁資ヲ與ヘズ、且ツ證文ヲモ與ヘザルトキハ、其父ノ死後ハ彼女ハ其兄弟等カラ父ノ遺産ノ分前トシテ一息子ノ分前ノ三分ノ一ヲ受領スベシ。但シ遺産ヲ管理スルコトハナラヌ。〔マルズツク〕ノ信者ハ其好ム人ニ彼女ノ財産ヲ遺贈スルコトヲ得ル。

§ 183 (Col. XXXII)

或人ガ權妻ノ娘ニ嫁資ヲ與ヘテ彼女ヲ夫ニ與ヘ、而シテ證文 (嫁資ニ關スルモノ) ヲ認メタ場合ニハ、其後父ガ死亡シテモ、彼女ハ父ノ遺産ニ付テハ持分ヲ有スルコトハナラヌ。

§ 184 (Col. XXXII)

或人ガ權妻ノ娘ニ嫁資ヲ與ヘズ、且ツ彼女ヲ夫ニ與ヘズシテ死亡シタルトキハ、彼女ノ兄弟等ハ父ノ遺産ニ準ジテ相當ノ嫁

資ヲ彼女ニ與ヘテ、之ヲ夫ニ與フベシ。

§ 185 (Col. XXXII)

或人ガ其名前ニ於テ子(養子)ヲ取り、之ヲ其息子トシテ養育スルトキハ、此成長シタル子ハ返還ヲ要求サレルコトハナイ。

§ 186 (Col. XXXII)

或人ガ養子ヲ取りタルニ其養子ガ養父母ニ對シテ背反スル場合ニハ、其養子ハ實父ノ家ニ歸還スベシ。

§ 187 (Col. XXXII)

宮廷ニ奉仕スル愛人(*Ner-se-ga*)ノ息子、又ハ信者ノ息子ハ返還ヲ要求サレルコトハナイ。

§ 188 (Col. XXXII)

或職人ガ養子ヲ取りテ、之ニ技術ヲ教ヘタ以上ハ、何人モ之ガ返還ヲ要求スルコトハナラス。

§ 189 (Col. XXXII)

若シ彼ガ養子ニ技術ヲ教ヘナカツタ場合ニハ、養子ハ其實父ノ家ニ歸還スルコトヲ許サレル。

§ 190 (Col. XXXII)

或人ガ養子ニ取りテ養育シタル子ヲ、實子ノ一人ノ如ク取扱ハザルトキハ、其養子ハ實父ノ家ニ歸還スルコトヲ許サレル。

§ 191 (Col. XXXII)

養子ヲ取り之ヲ養育シタル者ガ、其後家ヲ構ヘテ實子ヲ得タル場合ニ、其養子ヲ逐出スコトヲ決心シタルトキハ、其養子ハ空

シク立去ル可カラズ、養父ハ彼ニ實子ノ持分ノ三分ノ一ノ財物ヲ與フベシ、然ル上ニ、養子ハ立去ルベシ。原野、庭園又ハ家屋ヲ以テ與フベカラズ。

§ 192 (Col. XXXII—XXXIII)

宮廷ニ奉仕スル愛人ノ子又ハ信者ノ子ガ養父又ハ養母ニ向テ、¹「汝ハ私ノ父ニ非ズ」トカ²「汝ハ私ノ母ニ非ズ」ト言ヘバ、彼ノ舌ヲ切り取ルベシ。

§ 193 (Col. XXXIII)

宮廷ニ奉仕スル愛人ノ子又ハ信者ノ子ガ、其父ノ家ヲ戀慕シテ彼ヲ養育シタル養父母ヲ嫌忌シテ、實父ノ家ニ歸還スルトキハ、其眼ヲ引キ抜クベシ。

§ 194 (Col. XXXIII)

或人ガ其子ヲ乳母ニ渡シタルニ、其子ガ彼女ノ手許ニテ死亡シタル場合ニ、乳母ガ其子ノ父母ニ無斷ニテ他ノ子ト差代ヘタトキハ、彼女ヲ告訴スベシ。彼女ハ父母ニ無斷ニテ他ノ子ヲ養育シタル故ヲ以テ乳房ヲ切斷サルベシ。

§ 195 (Col. XXXIII)

子ガ父ヲ毆打シタルトキハ其手ヲ切斷スベシ。

§ 196 (Col. XXXIII)

他人ノ眼ヲ傷害シタル者ハ其眼ヲ傷害セラルベシ。

§ 197 (Col. XXXIII)

人ノ骨ヲ折傷シタル者ハ其骨ヲ折傷サルベシ。

§ 198 (Col. XXXIII)

若シ彼ガ平民ノ眼ヲ傷害シ又ハ平民ノ骨ヲ折傷シタルトキハ
銀一 *Mina* ヲ支拂フベシ。

§ 199 (Col. XXXIII)

若シ彼ガ人ノ奴隸ノ眼ヲ傷害シ又ハ人ノ奴隸ノ骨ヲ折傷シタルトキハ其半額ヲ支拂フベシ。

§ 200 (Col. XXXIII)

自分ト同地位ニアル者ノ齒ヲ打ち出シタル者ハ齒ヲ打出サルベシ。

§ 201 (Col. XXXIII)

若シ彼ガ平民ノ齒ヲ打出シタルトキハ銀三分ノ一 *Mina* ヲ支拂フベシ。

§ 202 (Col. XXXIII)

自分ヨリモ高地位ニアル者ヲ毆打シタル者ハ、公衆ノ前ニテ牛皮鞭ヲ以テ六十ノ毆打ヲ受クベシ。

§ 203 (Col. XXXIII)

自分ト同地位ニアル者ヲ毆打シタル者ハ銀一 *Mina* ヲ支拂フベシ。

§ 204 (Col. XXXIII)

平民ヲ毆打シタル平民ハ銀十 *Shekel* ヲ支拂フベシ。

§ 205 (Col. XXXIII—XXXIV)

平民ヲ毆打シタル平民ノ奴隸ハ耳ヲ切斷サルベシ。

§ 206 (Col. XXXIV)

或人ガ他人ト喧嘩シテ毆打シ傷害ヲ加ヘタルトキハ、[私ハ故意ニ毆打シタルモノデナイ]トイフ宣誓ヲ爲シ且ツ醫料ヲ賠償スベシ。

§ 207 (Col. XXXIV)

若シ被害者ガ其傷害ノ爲メニ死亡スレバ、加害者ハ前掲ノ宣誓ヲ爲シテ銀半 *Mina* ヲ支拂フベシ。

§ 208 (Col. XXXIV)

若シ彼ガ平民ナルトキハ彼ハ銀三分ノ一 *Mina* ヲ支拂フベシ。

§ 209 (Col. XXXIV)

平民婦人ヲ毆打シテ流産セシメタ者ハ其胎兒ノ喪失ニ對シテ銀十 *Shekel* ヲ支拂フベシ。

§ 210 (Col. XXXIV)

若シ其婦人ガ死亡スルトキハ、彼ノ娘ヲ死刑ニ處スベシ。

§ 211 (Col. XXXIV)

平民婦人ガ或者ニ毆打サレテ流産シタ場合ニハ、彼ハ銀五 *Shekel* ヲ支拂フベシ。

§ 212 (Col. XXXIV)

若シ其婦人ガ死亡スレバ、彼ハ銀半 *Mina* ヲ支拂フベシ。

§ 213 (Col. XXXIV)

平民ノ下女ヲ毆打シテ流産セシメタ者ハ銀二 *Shekels* ヲ支拂フベシ。

§ 214 (Col. XXXIV)

若シ其下女が死亡スレバ、彼ハ銀三分ノ一 *Mina* ヲ支拂フベシ。

§ 215 (Col. XXXIV)

醫者が青銅刀ヲ以テ重傷ヲ手術シテ、患者ノ生命ヲ救済シ、又ハ眼ノ附近ニテ、青銅刀ヲ以テ、膿腫ヲ切開シテ眼ヲ救助スレバ、彼ハ銀十 *Shekels* ヲ取得スベシ。

§ 216 (Col. XXXIV)

若シ彼(患者)ガ平民ナルトキハ五 *Shekels* ヲ取得スベシ。

§ 217 (Col. XXXIV)

若シ其レガ或人ノ奴隸ナレバ、其所有者ハ醫者ニ銀二 *Shekel* ヲ支拂フベシ。

§ 218 (Col. XXXIV)

醫者が青銅刀ヲ以テ重傷ヲ手術シテ患者ヲ殺シ、又ハ(眼ノ附近ニテ)膿腫ヲ切開シテ、眼ヲ失明セシムルトキハ彼(醫者)ハ其手ヲ切斷サルベシ。

§ 219 (Col. XXXIV)

醫者が青銅刀ヲ以テ平民ノ奴隸ノ重傷ヲ手術シテ、之ヲ死ニ致シタルトキハ、彼ハ其奴隸ニ代ハル(勿論同價值ノ)他ノ奴隸ヲ以テ賠償スベシ。

§ 220 (Col. XXXIV)

若シ彼ガ(眼ノ附近ニテ)青銅刀ヲ以テ、膿腫ヲ切開シテ、眼ヲ失明セシムルトキハ、彼ハ其奴隸ノ有セル價值ノ半分ヲ支拂フ

ベシ。

§ 221 (Col. XXXIV—XXXV)

醫者ガ人ノ破損セル四肢ヲ回復シ、又ハ病腸ヲ治癒シタルト
キハ、患者ハ銀五 *Shekels* ヲ支拂フベシ。

§ 222 (Col. XXXV)

若シ彼ガ平民ナルトキハ、彼ハ銀三 *Shekels* ヲ支拂フベシ。

§ 223 (Col. XXXV)

若シ彼ガ奴隸ナルトキハ、其所有者ハ醫者ニ銀二 *Shekels* ヲ支
拂フベシ。

§ 224 (Col. XXXV)

牛醫又ハ驢醫ガ重傷ヲ負ヘル牛又ハ驢ヲ取扱ヒ、其動物ヲ治
癒シタルトキハ、其所有者ハ醫者ニ報酬トシテ銀六分ノ一 *Shekel*
ヲ支拂フベシ。

§ 225 (Col. XXXV)

若シ彼ガ重傷ヲ負ヘル牛又ハ驢ヲ取扱ヒ、之ヲ死ニ致シタル
トキハ、彼ハ其所有者ニ其價額ノ四分ノ一ヲ支拂フベシ。

§ 226 (Col. XXXV)

烙印者ガ奴隸ノ所有者ニ無斷ニテ奴隸ヲ賣却シ得ザル旨ノ標
識ヲ奴隸ニ烙印シタルトキハ、其手ハ切斷サルベシ。

§ 227 (Col. XXXV)

烙印者ヲ欺キ、奴隸ヲ賣却シ得ザル旨ノ標識ヲ奴隸ニ烙印セ
シメタ者ハ死刑ニ處セラレ、彼レノ家ニ葬ムラルベシ。然シ烙

印者ガ[私ハ故意ニ烙印シタモノデナイ]トイフ宣誓ヲ爲シタ上
ハ放免サルベシ。

§ 228 (Col. XXXV)

建築者ガ人ノ爲メニ家屋ヲ築造シテ之ヲ完了シタトキハ、面
積一 *Sar* ニ付テ銀二 *Shekels* ヲ支拂ハルベシ。

§ 229 (Col. XXXV)

建築者ガ人ノ爲メニ家屋ヲ築造シテ、之ヲ堅固ニ築造セズシ
テ、彼レノ築造シタル家屋ガ崩壊シテ、其所有者ヲ殺シタ場合ニ
ハ、其建築者ヲ死刑ニ處スベシ。

§ 230 (Col. XXXV)

若シ其レガ其家屋所有者ノ息子ヲ殺シタ場合ニハ、建築者ノ
息子ヲ死刑ニ處スベシ。

§ 231 (Col. XXXV)

若シ其レガ其家屋所有者ノ奴隸ヲ殺シタ場合ニハ、彼ハ其家
屋所有者ニ他ノ奴隸ヲ與フベシ。

§ 232 (Col. XXXV)

若シ其レガ或財産ヲ破壊シタ場合ニハ彼ハ其一切ノ損害ヲ賠
償シ、且ツ家屋ヲ堅固ニ築造シナカッタ爲メニ崩壊シタルノ故
ヲ以テ、自己ノ費用ヲ以テ家屋ヲ再築スベシ。

§ 233 (Col. XXXV—XXXVI)

建築者ガ或者ノ爲メニ家屋ヲ築造シ、其仕事ヲ信實ニ完了シ
ナカッタ場合ニ、其壁ガ崩壊シタトキハ自己ノ費用ヲ以テ其壁

ヲ堅固ニスベシ。

§ 234 (Col. XXXVI)

船ノ建造者ガ或者ノ爲メニ六十 *Gun* ノ船ヲ築造スレバ、彼ハ報酬トシテ銀二 *Shekel* ヲ支拂フベシ。

§ 235 (Col. XXXVI)

船ノ建造者ガ或人ノ爲メニ船ヲ築造シタルモ、之ヲ航海ニ適スル様ニ造ラズ、而シテ其年、其船ガ航海ニ上リテ損傷ヲ受ケタ場合ニハ、其船ノ建造者ハ自己ノ費用ヲ以テ之ヲ改造シテ堅固ナルモノトナシ、其改造セラレタル船ヲ其所有者ニ與フベシ。

§ 236 (Col. XXXVI)

或人ガ其船ヲ船夫ニ貸付ケ、船夫ガ之ヲ不注意ニ取扱ヒテ破損シ、又ハ沈沒セシメタ場合ニハ、船夫ハ船ノ所有者ニ賠償トシテ他ノ船ヲ與フベシ。

§ 237 (Col. XXXVI)

或人ガ船夫ト其船ヲ傭入レ、之ニ穀物、羊毛、油、〔ナツメジロ〕其他ノ荷物ヲ積ミタルニ、船夫ガ不注意ニシテ其船ヲ破損シ、荷物ヲ損傷シタルトキハ、其船夫ハ船及ビ損失セラレタ總テノ荷物ヲ賠償スベシ。

§ 238 (Col. XXXVI)

船夫ガ他人ノ船ヲ沈沒セシメタルモ、之ヲ再ビ浮揚セシメタトキハ、彼ハ銀ヲ以テ其價值ノ半額ヲ支拂フベシ。

§ 239 (Col. XXXVI)

或人が船夫ヲ傭入レタルトキハ、彼ハ年ニ穀物六 *Gur* ヲ船夫ニ支拂フベシ。

§ 240 (Col. XXXVI)

或船ガ投錨中ノ他ノ船ニ衝突シテ、之ヲ沈没セシメタ場合ニハ、沈没セル船ノ所有者ハ神前ニ於テ其損失ノ範圍ヲ宣言スベシ。投錨中ノ船ヲ沈メタ船ノ所有者ハ失ハレタル船及ビ一切ノモノ、賠償ヲ爲スベシ。

§ 241 (Col. XXXVI)

勞働牛ニ付テ強制執行ヲ爲ス者ハ銀三分ノ一 *Mina* ヲ支拂フベシ。

§ 242 (Col. XXXVI)

勞働牛ヲ一年間賃借スル者ハ其所有者ニ一頭ニ付キ穀物四 *Gur* ヲ支拂フベシ。

§ 243 (Col. XXXVI)

乳牛ノ賃料トシテハ穀物三 *Gur* ヲ其所有者ニ支拂フベシ。

§ 244 (Col. XXXVII)

或人が牛又ハ驢ヲ賃借シ、獅子ガ之ヲ原野ニ於テ殺シタルトキハ、其損失ハ所有者ニ歸スル。

§ 245 (Col. XXXVII)

或人が牛ヲ賃借シテ、怠慢又ハ虐待ニ因テ之ヲ殺シタルトキハ、彼ハ之ト同價值ノ他ノ牛ヲ其所有者ニ與フベシ。

§ 246 (Col. XXXVII)

或人ガ牛ヲ賃借シテ其脚ヲ挫キ、又ハ首筋ヲ切り取りタルトキハ、彼ハ其牛ノ代リニ之ト同價值ノ牛ヲ(賃借セル牛ノ)所有者ニ與フベシ。

§ 247 (Col. XXXVII)

或人ガ牛ヲ賃借シテ、其眼ヲ失明セシメタルトキハ、彼ハ其價值ノ半額ヲ牛ノ所有者ニ支拂フベシ。

§ 248 (Col. XXXVII)

或人ガ牛ヲ賃借シテ其角ヲ折斷シ又ハ其尾ヲ切斷シ、若シクハ鼻孔ヲ損傷シタルトキハ、彼ハ其牛ノ價額ノ四分ノ一ヲ支拂フベシ。

§ 249 (Col. XXXVII)

或人ガ牛ヲ賃借シタルニ神ガ之ヲ打ツテ、其レガ死去シタルトキハ、之ヲ賃借シタル人ハ、神前ニ於テ宣誓シ、彼ノ責任ハ免除サルベシ。

§ 250 (Col. XXXVII)

牛ガ市中ヲ通行スル際ニ人ヲ衝イテ殺シタ場合ニハ、其事件ハ訴訟ノ問題トハナラス。

§ 251 (Col. XXXVII)

或人ノ牛ガ人ヲ衝ク常習アリテ、彼ガ既ニ其コトヲ注意サレテ居ツタガ、彼ハ其レノ角ヲ防護スルコトヲ爲サズ、之ヲ監禁モセズニ置イタ場合ニ、其牛ガ平民ノ子ヲ衝イテ之ヲ死ニ致シタルトキハ、彼ハ銀半 *Mina* ヲ支拂フベシ。

§ 252 (Col. XXXVII)

若シ其レガ人ノ奴隸ヲ殺シタルトキハ、彼(牛ノ所有者)ハ銀三分ノ一 *Mina* ヲ支拂フベシ。

§ 253 (Col. XXXVII)

或人ガ其耕地ヲ管理スル爲メニ他人ヲ傭入レ、之ニ種子ヲ供給シ、牛ヲ寄託シテ、土地ヲ耕作スルコトヲ委託シタルニ、彼(被傭人)ガ種子又ハ收穫ヲ横領シテ、其領有中ニ發見セラレタルトキハ、彼ノ手ハ切斷セラルベシ。

§ 254 (Col. XXXVII)

若シ彼ガ種子穀ヲ取リテ、牛ヲ過勞セシムルトキハ、彼ハ播種ノ爲メニ受取ツタ丈ケノ分量ノ穀物ハ之ヲ賠償スベシ。

§ 255 (Col. XXXVII)

若シ彼ガ人ノ牛ヲ轉貸シ又ハ種子穀ヲ盜ミテ、土地ヲ耕作セザルトキハ、彼ハ告訴サレテ(土地)十 *Gan* ニ付テ穀物六十 *Gur* ヲ支拂フベシ。

§ 256 (Col. XXXVII)

若シ彼ガ其義務ヲ果スコトガ出来ナケレバ、家畜ト共ニ彼ヲ原野ニ遺棄スベシ。

§ 257 (Col. XXXVII—XXXVIII)

原野労働者ヲ傭入レタ者ハ年ニ穀物八 *Gur* ヲ支拂フベシ。

§ 258 (Col. XXXVIII)

牛方ヲ傭入レタ者ハ年ニ穀物六 *Gur* ヲ支拂フベシ。

§ 259 (Col. XXXVIII)

野外ニ於テ水車ヲ盜取シタ者ハ其所有者ニ銀五 *Shekels* ヲ支拂フベシ。

§ 260 (Col. XXXVIII)

若シ彼ガ水桶又ハ鋤ヲ盜取スルトキハ、銀三 *Shekels* ヲ支拂フベシ。

§ 261 (Col. XXXVIII)

牛又ハ羊ヲ飼養スル爲メニ牧人ヲ傭入レタ者ハ年ニ穀物ハ *Gur* ヲ支拂フベシ。

§ 262 (Col. XXXVIII)

或人ガ牛又ハ羊ヲ寄託シタルニ (原文欠缺)

§ 263 (Col. XXXVIII)

寄託サレタ牛又ハ羊ヲ失ツタ者ハ牛ニ付テハ牛、羊ニ付テハ羊ヲ賠償スベシ。

§ 264 (Col. XXXVIII)

牛又ハ羊ノ飼養ヲ寄託サレタ牧人ガ契約ニ依テ定マレル賃料ヲ受取リテ、牛又ハ羊ノ頭數ヲ減少シ又ハ其増殖率ヲ減少シタルトキハ、彼ハ契約ノ性質ニ從テ其減少ヲ填補シ繁殖セシムベシ。

§ 265 (Col. XXXVIII)

牛又ハ羊ノ飼養ヲ寄託サレタ牧人ガ不實ノ所爲ヲナシ、又ハ其増殖ノ返還ニ付テ不正ノコトヲ爲シ、若シクハ牛羊ヲ賣却シ

タルトキハ、彼ハ告訴サレテ其盗用シタル所ノ牛羊ノ十倍ヲ所有者ニ賠償スベシ。

§ 266 (Col. XXXVIII)

厩ニ神ノ打撃(災難)ガ起リ又ハ獅子ガ之(飼養動物)ヲ殺シタルトキハ、牧人ハ神前ニ其無罪ヲ宣明スベシ。而シテ厩ノ所有者ハ其損失ヲ負擔スベシ。

§ 267 (Col. XXXVIII)

牧人ガ注意ヲ怠リテ、厩ニ災難ガ起ルトキハ、其牧人ハ其損失ヲ填補シテ所有者ニ牛又ハ羊ヲ返還スベシ。

§ 268 (Col. XXXVIII)

脱穀ノ爲メニ牛ヲ傭入レル場合ノ賃料ハ穀物二十 *Ka* ナリ。

§ 269 (Col. XXXVIII)

脱穀ノ爲メニ驢ヲ傭入レル場合ノ賃料ハ穀物十 *Ka* ナリ。

270 (Col. XXXVIII)

脱穀ノ爲メニ幼動物(*Lalu*) ヲ傭入レル場合ノ賃料ハ穀物一 *Ka* ナリ。

§ 271 (Col. XXXVIII—XXXIX)

牛、荷車及ビ御者ヲ傭入レル者ハ一日ニ穀物百八十 *Ka* ヲ支拂フベシ。

§ 272 (Col. XXXIX)

荷車ノミヲ傭入レル者ハ一日ニ穀物四十 *Ka* ヲ支拂フベシ。

§ 273 (Col. XXXIX)

新年カラ第五月迄、労働者ヲ傭入レル者ハ一日ニ銀六 *Se* ヲ支拂フベシ。第六月カラ年ノ終迄傭入レル者ハ一日ニ銀五 *Se* ヲ支拂フベシ。

§ 274 (Col. XXXIX)

職人ヲ傭入レタ者ハ

- a. ノ傭入ニハ銀 五 *se*.
- b. 焼物職工ノ傭入ニハ銀 五 *se*.
- c. 裁縫工ノ傭入ニハ銀 五 *se*.
- d. 石 工 ノ傭入ニハ銀 . . . *se*.
- e. ノ傭入ニハ銀 . . . *se*.
- f. ノ傭入ニハ銀 . . . *se*.
- g. 大 工 ノ傭入ニハ銀 四 *se*.
- h. ノ傭入ニハ銀 四 *se*.
- i. ノ傭入ニハ銀 . . . *se*.
- j. 建 築 者 ノ傭入ニハ銀 . . . *se*.

ヲ一日ニ付テ支拂フベシ。

§ 275 (Col. XXXIX)

船ヲ借入レタ場合ノ損料ハ一日ニ付キ銀三 *se* ナリ。

§ 276 (Col. XXXIX)

漕船ヲ借入レタ者ハ一日ニ付キ銀二 *se* ヲ支拂フベシ。

§ 277 (Col. XXXIX)

六十 *Gur* ノ船ヲ借入レタ者ハ其損料トシテ一日ニ付キ、銀六

分ノ一 *Shekel* ヲ支拂フベシ。

§ 278 (Col. XXXIX)

或人ガ男奴隸又ハ女奴隸ヲ買入レタルニ、一ヶ月ヲ經過セザル間ニ、其奴隸ガ *Bennu* 病ニ罹ツタ場合ニハ、彼ハ其奴隸ヲ賣主ニ返却スベシ。而シテ買主ハ其支拂ヘル金銭ノ返還ヲ受クベシ。

§ 279 (Col. XXXIX)

或人ガ男奴隸又ハ女奴隸ヲ買入レタルニ、之ニ對シ他人ノ要求アル場合ニハ、賣主ハ其要求ニ對シテ責任ヲ負フベシ。

§ 280 (Col. XXXIX)

或人ガ外國ニ於テ男奴隸又ハ女奴隸ヲ買入レテ、其本國ニ歸來シタルニ、其男奴隸又ハ女奴隸ノ前所有者ガ之ヲ發見シタルトキハ、其奴隸ガ自國人ナル以上ハ金銭賠償ナシニ、其奴隸ヲ返戻スベシ。

§ 281 (Col. XXXIX)

若シ彼等ガ他國人ナルトキハ、買主ハ神前ニ於テ其等ニ付テ支拂ツタ價額ヲ宣言スベシ。而シテ男奴隸又ハ女奴隸ノ前所有者ハ商人(買主)ニ其支拂ツタ代價ヲ與フベシ。而シテ彼(前所有者)ハ其男奴隸又ハ女奴隸ヲ回復スベシ。

§ 282 (Col. XXXIX)

若シ奴隸ガ其主人ニ向テ「汝ハ私ノ主人デナイ」ト言フトキハ、其主人ガ自分ノ奴隸ナルコトヲ立證シタル場合ニハ、主人ハ奴

隸ノ耳ヲ切斷スベシ。

結文 (Col. XL—XLIV)

賢明ナル王 *Hammurabi* ハ其制定シタル正義ノ法律ヲ以テ、此地ノ堅固ナル基調ヲ定メ、善政ヲ行ツタ。朕ハ完全ナル王 *Hammurabi* デアル。朕ハ黒頭人ノコトヲ注意セザルモノデモナク、且ツ等閑ニ附スルモノデモナイ。其規則ハ *Bel* カラ賜ラレタモノデ、*Marduk* ガ朕ニ交付シタモノデアル。朕ハ彼等ニ平和ノ國ヲ定メタ。朕ハ困難ナル障害ヲ撤去シテ彼等ヲ救助シタモノデアル。*Za-má-má* ト *Nana* ガ朕ニ信託セル有力ナ武器ヲ以テ、*Ea* ガ朕ニ分與シタル觀察力ノ幅員ヲ以テ、*Marduk* ガ朕ニ與ヘタカヲ以テ、朕ハ敵ヲ北及南ニ驅逐シタ。朕ハ彼等ノ侵入ヲ杜絶シタ。朕ハ此地ニ健康ヲ齎シタ。朕ハ庶民ヲ平穩ニシタ。朕ハ彼等ヲ困惱スル者ヲ禁斷シタ。

偉大ナル諸神ガ朕ニ宣言シタ。而シテ朕ハ後見人的統治者デアル。其笏ハ正義ニ富メルモノデアル。且ツ其恩惠保護ハ朕ノ全市ニ及ンダ。朕ハ *Sumer* ト *Akkad* ノ地ノ民人ヲ朕ノ心腹ニ納メタ。朕ハ彼等ノ連中ヲ朕ノ保護ノ下ニ安定セシメタ。朕ハ朕ノ裁智ニ於テ彼等ヲ庇護シタ。以テ *Anu* ト *Bel* ガ其小塔ヲ建テタ都 *Babylon* ニ於テハ、强者ト弱者ガ對抗セヌ様ニシタ。孤兒ト寡婦ニ正義ヲ與フル様ニシタ。*Esagila* ニ於テハ寺院ノ基礎ハ天地ノ如ク確固タルモノデアル。此地ニ於ケル正義ヲ宣示

スル爲メニ、此地ニ對スル裁判ヲ決スル爲メニ、且ツ不正ヲ矯正スル爲メニ、朕ノ貴重ナル詞ヲ朕ノ記念碑ニ記シ、其前ニ正義ノ王トシテ朕ノ肖像ヲ表ハシタ。

朕ハ市王中ノ拔群ノ王デアアル。朕ノ詞ハ貴重デアアル。朕ノ智識ハ比類ナキモノデアアル。*Shamash* ノ指揮ニ依テ、天地ノ大法官ヲシテ此地ニ正義ノ光輝ヲ放タシム可シ。*Marduk* ノ命ニ依テ何人モ朕ノ肖像ヲ抹殺スルコトハナラヌ。朕ノ名ハ *Esagila* ニ於テハ永遠ニ記憶セラル可シ。

訴ヲ爲サントスル所ノ虐ゲラレタ者ハ正義ノ王トシテノ朕ノ肖像ノ前ニ來ル可シ。而シテ朕ノ記念碑ノ碑文ヲ讀ム可シ。而シテ朕ノ重要ナル詞ニ注意ヲ拂フ可シ。然ルトキハ朕ノ記念碑ハ事態ヲ明カニシ、彼ハ其事件ヲ了得スルニ至ル可シ。心ヲ安靜ニシテ次ノコトヲ唱フ可シ。[*Hammurabi* ハ實ニ彼レノ民人ニハ眞ノ父ノ如キ立法者デアアル、彼ハ其主 *Marduk* ノ詞ニ敬意ヲ拂ツタ、彼ハ *Marduk* ノ爲メニ北ト南ニ於テ、勝利ヲ制シタ、彼ハ其主 *Marduk* ノ心ヲ喜バシタ、彼ハ常ニ民衆ノ爲メニ繁榮ヲ企テ、此地ニ善政ヲ施行シタ] ト。此法典ヲ讀ミ、吾父ナル *Marduk* ト、吾母ナル *Zarpanit* (*Sarpanitum*) ニ全心ヲ以テ仕ヘヨ。*Esagila* ニ住ム主 (*pl.*) ト神 (*pl.*) トハ日々ニ吾父ナル *Marduk* ト吾母ナル *Zarpanit* ノ前ニ於テ、惠アラシム可シ。

自今來ル可キ永久ノ將來ニ於テ、此地ニアル王ハ朕ガ朕ノ記念碑ニ記シタ正義ノ詞ヲ注意ス可シ。彼ハ朕ガ宣示シタル此地

ノ裁判又ハ朕ガ下シタル此國ノ決定ヲ變更スルコトハナラス。
又タ彼ハ朕ノ浮彫ヲ抹殺シテハナラス。裁智アル者ハ、朕ガ朕
ノ記念碑ニ記シタル所ノ詞ニ注意ヲ拂フ可シ。然ルトキハ此ノ記
念碑ハ訴訟ト行政トニ付テ、朕ガ此地ノ爲メニ宣示シタル所ノ
裁判ト、朕ガ下シタル所ノ決定トヲ彼ニ明ラカニス可シ。而シ
テ黒頭人ヲ正當ニ支配ス可シ。彼ニ裁判ヲ宣示セシメ、決定ヲ
爲サシム可シ。邪惡、害毒ノ者ヲ此地ヨリ根絶セシム可シ。民
衆ノ福利ヲ増進セシム可シ。

朕ハ *Shamash* カラ正義ヲ得タ正義ノ王 *Hammurabi* デアル。
朕ノ詞ハ貴重ナルモノニシテ、朕ノ行爲ハ他ニ比類ナキモノデ
アル。

朕ハ上下ヨリ深ク且ツ高ク疾走スル旋風デアル。朕ガ朕ノ記
念碑ニ記録セル所ノ朕ノ詞ニ注意シ、朕ノ裁決ヲ破ラズ、朕ノ言
ニ背カズ、且ツ朕ノ浮彫ヲ損傷セザル者ハ、恰モ民衆ヲ正義ニ導
ク所ノ正義ノ王タル朕ガ繁榮スルガ如クニ、*Shamash* ハ彼ヲ繁
榮セシム可シ。

若シ朕ガ朕ノ記念碑ニ記録セル所ノ朕ノ詞ニ注意ヲ拂ハズ、
朕ノ呪咀ヲ忘レテ、神ノ呪咀ヲ恐レズ、朕ノ宣示セル裁決ヲ廢除
シ、朕ノ言ニ背キ、朕ノ浮彫ヲ損傷シ、其レニ記録サレタ朕ノ名
ヲ抹殺シテ、自己ノ名ヲ記録シ、又ハ之ヲ爲スニ付テノ呪咀ヲ恐
レテ、他人ニ爲サシメタ者ハ、王、主、僧首、又ハ貴人其他何人デ
アラウトモ、朕ノ主權ヲ定メタル所ノ諸神ノ父ナル大神ガ彼レノ

主權ノ榮譽ヲ褫奪シテ、彼レノ笏ヲ破壊シテ、彼レノ運命ヲ呪咀ス可シ。制シ得可カラザル運命ヲ決定シタリ、朕ノ領域ヲ擴大シタル所ノ主 *Bel* ハ、抵抗シ難キ叛亂ニ因テ彼ヲ其住居カラ驅逐シ、且ツ呪咀ハ彼ヲ破滅セシム可シ。彼ハ其運命トシテハ、嘆息ノ世、僅カナ日 (*pl.*)、飢饉ノ年 (*pl.*)、日光ナキ暗黒、衆人ノ前ニ於テノ死ヲ決ス可シ。彼レノ市ノ破滅、彼レノ民衆ノ離散、彼レノ領土ノ沒收、其地カラ彼レノ名ト記念ノ抹殺ヲ *Bel* ガ其有カナル指揮ヲ以テ命ズ可シ。

E-kur ニ於テ權勢アリ朕ノ計畫ヲ後援スル聖母 *Bclit* ハ正義ト法律ニ關スル彼レノ詞ヲ *Bcl* ノ前ニ致ス可シ。彼女ハ *Bel* ノ命令ニ依テ、彼レノ土地ヲ瓦解セシメ、民衆ヲ破滅セシメ、水ノ如ク彼レノ生命ヲ瀉スベシ。

其命令ノ卓越ナル、諸神ノ指導者ナル、萬事ヲ知り、朕ノ生命ヲ伸張スル所ノ大公 *Ea* ハ彼レノ智識ト才智トヲ褫奪ス可シ。又タ彼ヲ健忘性ニ附シ、彼レノ諸河ヲ其源泉ニ於テ堰キ止ム可シ。又タ民衆ノ生命タル穀物ハ彼レノ土地ニハ實ラセヌ。

萬有生物ヲ支配スル天地ノ大法官、救世主タル *Shamash* ハ彼レノ領地ヲ投棄シ、彼レノ權利ヲ是認セザル可シ。又タ彼ヲ迷路ニ陷レ、彼レノ軍隊ノ基礎ヲ破滅ス可シ。又タ彼レノ統治權ノ基礎ノ根絶ト彼レノ領土ノ沒收ノ毒惡ナル前兆ヲ彼レノ目前ニ出現セシム可シ。又タ *Shamash* ノ挫折的ナ呪咀ヲ速カニ彼ニ生ゼシム可シ。彼レノ生命ヲ此世ノ天地カラ斷絶ス可シ。彼

レノ水ノ恵ヲ褫奪ス可シ。諸神中ニ光彩ヲ發輝スル非凡ナル吾ガ造物者、天主 *Sin* ハ彼レカラ冠ト王位トヲ剝奪ス可シ。又タ彼ヲ其身カラ離レザル所ノ重罪且極刑ニ處ス可シ。又タ嘆息ト悲哀トヲ以テ彼レノ統治ノ日ト月トヲ終ラシム可シ。又タ彼レノ統治ノ負擔ヲ増加セシム可シ。又タ彼ニ死亡ト同様ニシタル生命ヲ運命トシテ授ク可シ。富ノ主、天地ノ執權、吾救援者ナル *Adad* ハ雨ヲ降ラシ、洪水ヲ起サシム可シ。又タ彼ハ缺乏ト飢餓ニ因テ彼レノ土地ヲ破壞セシム可シ。又タ彼レノ町ヲ猛烈ニ破壞ス可シ。而シテ旋風ニ因テ此地ノ群衆ヲ苦ム可シ。

戰場ニ於テ私ノ右手ニ立ツ所ノ *E-lru* ノ長子、英雄ナル *Zamdi-mé* ハ、戰場ニ於テハ彼ノ武器ヲ粉碎シ、彼ニ對シテハ晝ヲ夜ニ變ジテ、敵ニ勝利ヲ得サス可シ。

Ishkur ハ戰爭ト爭鬪ノ女神デアツテ、朕ノ武器ヲ供給シタル、慈悲深キ防禦ノ主君ニシテ、朕ノ治世ヲ愛スルガ、大ナル憤激ヲ以テ、憤怒ノ心ヲ以テ、彼レノ領土ヲ呪咀ス可シ。而シテ彼レノ爲メニハ善ヲ惡ニ變ズ可シ。

彼女ハ戰爭ト鬪爭ノ場面ニ於テハ彼レノ武器ヲ粉碎ス可シ。又タ彼女ハ彼ニ對シテハ混亂ト動亂トヲ生ゼシム可シ。又タ彼女ハ彼レノ諸勇士ヲ打倒シ地上ニ彼等ノ血水ヲ流ス可シ。又タ彼女ハ彼レノ諸勇士ノ死體ヲ戰場ニ累積セシム可シ。又タ彼女ハ彼レノ勇士ノ埋葬ヲ許サザル可シ。又タ彼女ハ彼ヲ其敵手ニ引渡ス可シ。而シテ敵ハ彼ヲ檢束シテ敵地ニ運搬ス可シ。

諸神中ノ有力者ニシテ比類ナキ勇士ニシテ、其偉大ナル權勢ニ依テ朕ニ勝ヲ得シムル *Neigal* ハ、蘆笛ノ中ニ於ケルガ如キ烈火ヲ以テ、彼レノ民衆ヲ焼拂フ可シ。又タ銳利ナル武器ヲ以テ彼ヲ切拂フ可シ。且ツ彼ノ肢體ヲ土製ノ偶像ノ如ク破壊ス可シ。

朕ヲ生シタ母ナル此地ノ崇婦 *Nin-tu* ハ彼レノ子ヲ否定ス可シ。又タ民衆中ニ於テ彼レノ名ヲ保存セシメザル可シ。且ツ彼レニ相續人ヲモ有セシメザル可シ。

E-kur ニ於テ朕ノ爲メニ福利ヲ計ル所ノ *Anu* ノ娘ナル *Nin-kur-ra-ak* ハ彼レノ生命ヲ制壓スル迄ハ、彼レノ肢體ニ對シテ不治ノ醫者ガ診斷スルコトノ出來ヌ、繃帶ヲ以テ鎮靜スルコトノ出來ヌ、死ガ咬ミ付イタ様ニ取拂フコトノ出來ヌ惡病、毒疾、悲痛ニ罹ラシム可シ。彼ハ其氣力ノ喪失ヲ哀哭スルニ至ル可シ。

天地ノ偉大ナル諸神即チ *Ê-bar-ra* (*Sippara* ニ於ケル *Shamash* ノ寺ニシテ此法典石塔ノ建テラレタ寺——譯者註) ノ建物ト其構内ヲ管理スル所ノ *Anunnaki* ハ諸共ニ悲酷ナル呪咀ヲ以テ、彼レノ統治ト、彼レノ土地ト、彼レノ軍人ト、彼レノ民人ト、彼レノ部下ヲ呪フ可シ。

Bel ハ變更ス可カラザル宣言ヲ以テ強力ナル呪咀ヲ爲シ、忽チニシテ彼ヲ制壓ス可シ。